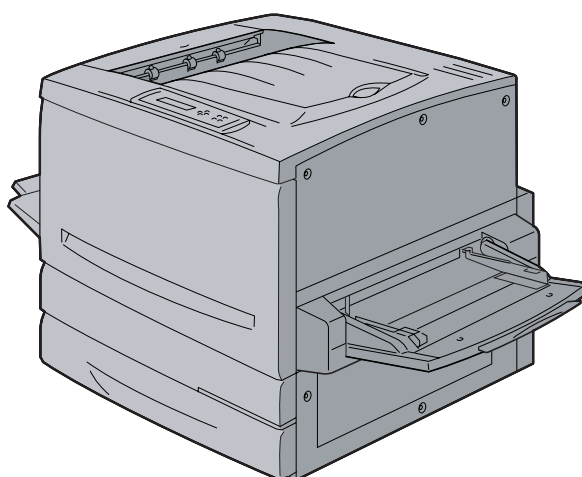
Color MultiWriter 9200C

カラーレーザープリンター

オンラインマニュアル

プリンターの設定と技術情報

808-895431-002-A
初版

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated社（アドビシステムズ社）の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用いかんにかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条
等

本書について

このマニュアルは、Color MultiWriter 9200Cの設定に関する情報や技術情報が記載されています。
操作パネルで設定する内容、印刷を行うためのソフトウエア「プリンタードライバー」の詳細、および印刷を効率的に行う機能「PrintAgent」について説明しています。
また、ユーザーズマニュアルには載っていない「制御コード」や「技術情報」についても説明しています。必要に応じて、それぞれのページをご覧ください。

本文中で使用の記号について

このマニュアルでは、3種類の記号を使用しています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

808-895431-002-A　初版

目次

オンラインマニュアルの使い方

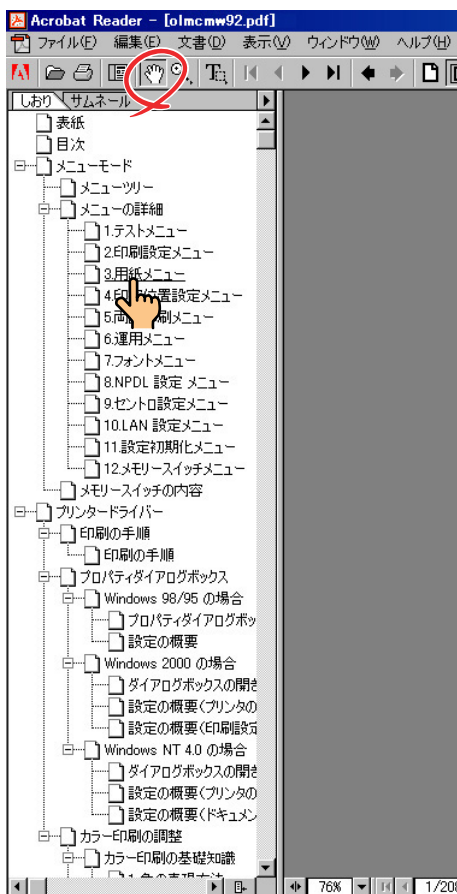
このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAcrobat Reader 4.0.5Jを使用して簡単に説明します。Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerオンラインガイド]をご覧ください。

目的のページを表示する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [しおり]タブをクリックし、しおりパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。
4. 表示させたいしおりを選びクリックする。

しおりの上へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[＋]、[—]の記号が表示されます。その下の階層は[＋]を押すと表示し、[—]を押すと非表示になります。

1　メニューモード　22

3. 用紙メニュー

1. ホッパ初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパーまたはトレーを選択します。
ホッパー2、3は増設ホッパー(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー1
- ホッパー2
- ホッパー3
- トレー

2. ホッパ1用紙種別

ホッパー1で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

3. ホッパ2用紙種別

ホッパー2で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

4. ホッパ3用紙種別

ホッパー3で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

5. トレー用紙種別

トレーで使用する用紙の種類を設定します。

- 普通紙
- 再生紙
- 厚紙
- 厚紙(裏)
- はがき
- はがき(裏)
- ラベル
- OHP
- 封筒
- コート紙

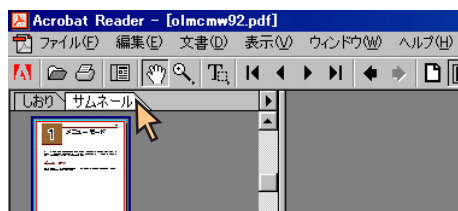
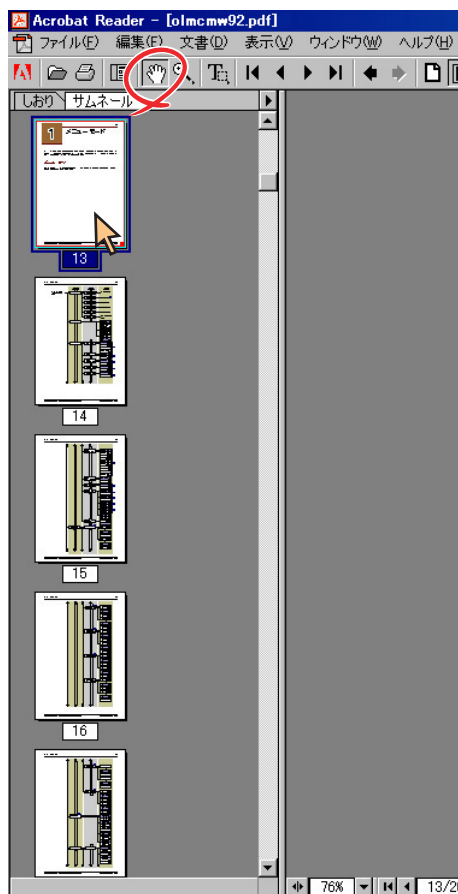
6. 光沢設定

トレーに設定した用紙に対して光沢モードを設定します。ただし、光沢モードが有効になるのは「厚紙」、「ハガキ」、「コート紙」だけです。

7. トレー定形外用紙

トレーでの定形外用紙の使用を有効、または無効にします。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合は、設定する必要はありません。

サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [サムネール]タブをクリックし、サムネールパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールをクリックする。
4. 表示させたいページのサムネールを選びダブルクリックする。

   サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると「矢印」の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。

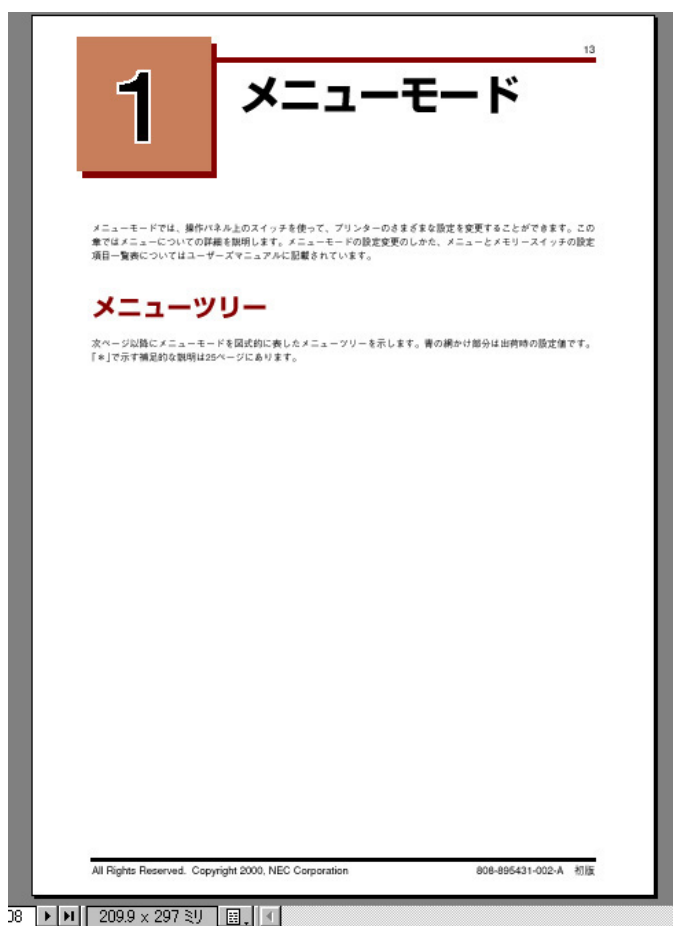
13

1 メニューモード

メニューモードでは、操作パネル上のスイッチを使って、プリンターのさまざまな設定を変更することができます。この章ではメニューについての詳細を説明します。メニューモードの設定変更のしかた、メニューとメモリースイッチの設定項目一覧表についてはユーザーズマニュアルに記載されています。

メニューツリー

次ページ以降にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。青の網かけ部分は出荷時の設定値です。「＊」で示す補足的な説明は25ページにあります。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation　808-895431-002-A 初版

リンクを使う

リンクはクリックすると、目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目次ページや文章内の青の下線文字にリンクの設定がしてあります。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

1　メニューモード　21

メニューの詳細

1. テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- サンプル印刷
- 連続印刷(テスト印刷)
- 16進ダンプ印刷
- ネットワーク1印刷(コンフィグレーションページを印刷)
- ネットワーク2印刷(外付けネットワークオプション装着時、コンフィグレーションページを印刷)

連続印刷(テスト印刷)は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押したあと、[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押してください。
プリント結果については「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。

5　技術情報　198

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

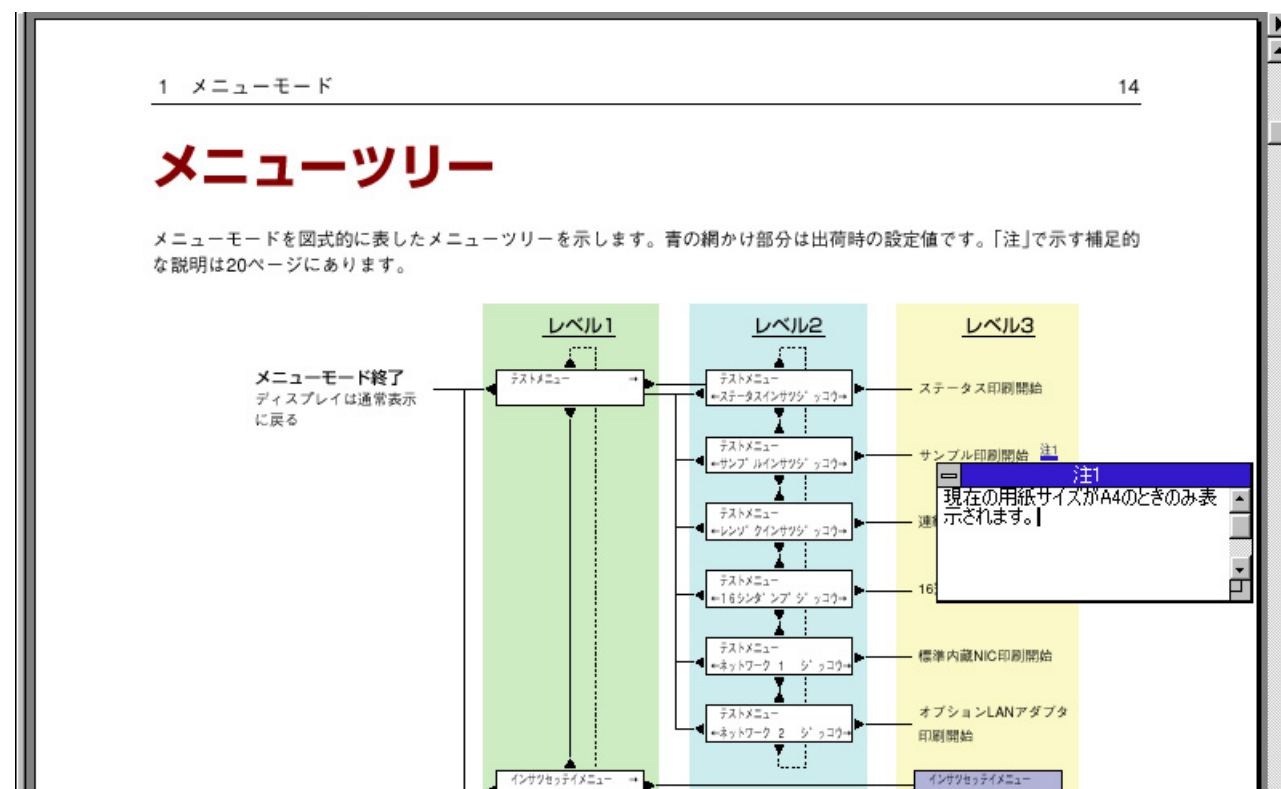
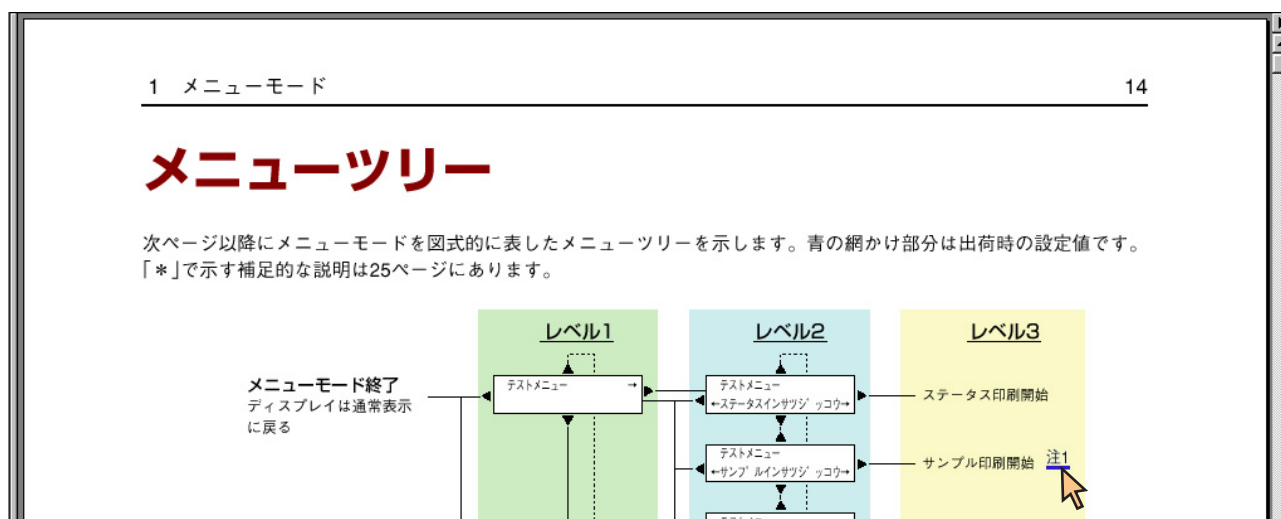
テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

注釈を読む

メニューツリーの説明(14〜19ページ)の注釈(注1)には「ノート」が添付されています。「ノート」とは付箋のようなものです。注釈(注1)をダブルクリックするとノートが開き、その記述に関する注釈を読むことができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。

2. 注釈(注1)のある場所をダブルクリックする。

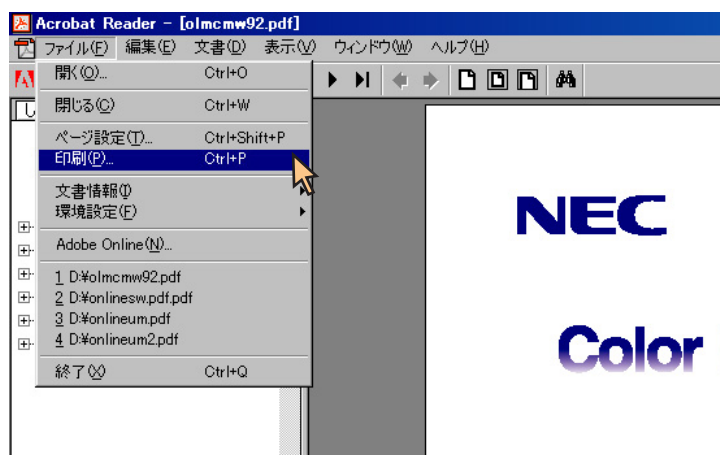
ノートが開きます。

ノートを閉じるときは左上の▭をクリックしてください。

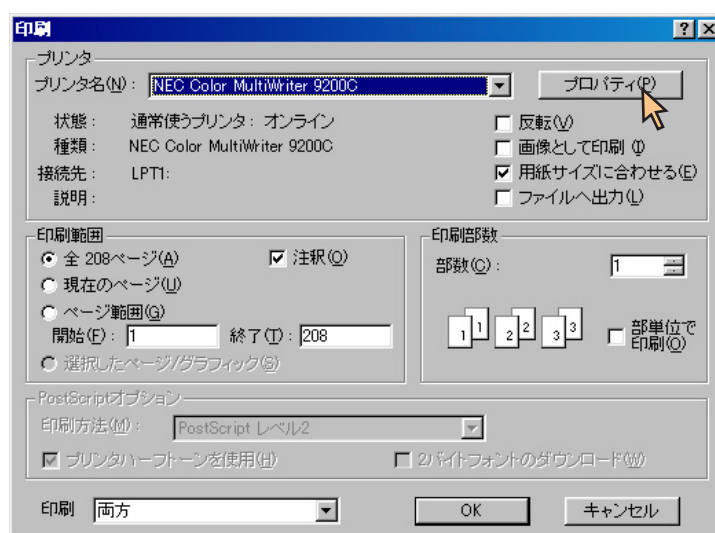
オンラインマニュアルを印刷する

このオンラインマニュアルはA4の大きさで作成されています。ここではWindows 98の環境でColor MultiWriter 9200Cを使ってオンラインマニュアルを両面で印刷する手順を説明します。

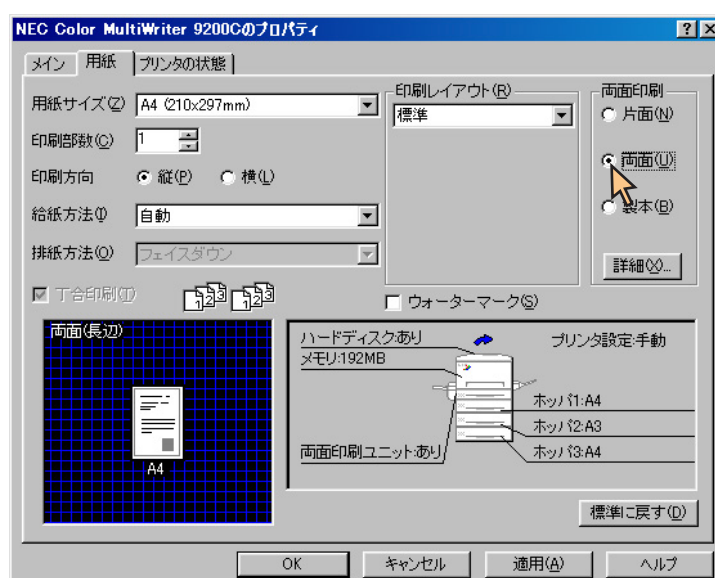
両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、両面印刷できません。手順4は読み飛ばしてください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3. [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

4. [両面]をクリックする。

5. [用紙サイズ]から[A4]を選択する。

6. 印刷部数を設定して[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

7. 印刷範囲を設定して[OK]をクリックする。

印刷を開始します。

ユーザーズマニュアルのように両面でオンラインマニュアルが仕上がります。両面印刷ユニットを搭載していない場合は、片面で印刷してください。

メニューモード

メニューモードでは、操作パネル上のスイッチを使って、プリンターのさまざまな設定を変更することができます。この章ではメニューについての詳細を説明します。

メニューモードでの設定変更のしかた

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。ここではメニューモードでの設定のしかたを簡単に説明します。

1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。

2. データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

3. [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”を表示します。

4. メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ：　このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

[設定変更]スイッチ：　押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

5. [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ホッパ゚          A4 ポ゚ート
フツウシ
```

メニューツリー

メニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。青の網かけ部分は出荷時の設定値です。「注」で示す補足的な説明は20ページにあります。

A
B
C
D
ヨウシメニュー
←トレー ヨウシシュベツ →
トレー ヨウシシュベツ ← フツウシ*
トレー ヨウシシュベツ ← サイセイシ*
トレー ヨウシシュベツ ← アツガミ*
トレー ヨウシシュベツ ← アツガミウラ*
トレー ヨウシシュベツ ← ハガキ*
トレー ヨウシシュベツ ← ハガキウラ*
トレー ヨウシシュベツ ← ラベル*
トレー ヨウシシュベツ ← OHP*
トレー ヨウシシュベツ ← フウトウ*
トレー ヨウシシュベツ ← コートシ*
注7
ヨウシメニュー
←トレー コウタクセッテイ→
トレー コウタクセッテイ ← OFF*
トレー コウタクセッテイ ← ON *
ヨウシメニュー
←トレー テイケイガイヨウシ→
トレー テイケイガイヨウシ ← OFF*
トレー テイケイガイヨウシ ← ON *
ヨウシメニュー
←リレーキュウシ セッテイ →
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ リレー ON *
注3
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ1 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ1 リレー ON *
注4
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ2 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ2 リレー ON *
注5
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ3 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ3 リレー ON *
注6
リレーキュウシ セッテイ ←トレー リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←トレー リレー ON *
ヨウシメニュー
←ハイシホウホウ →
ハイシホウホウ ← フェイスアップ*
ハイシホウホウ ← フェイスダウン*
注3
インジイチセッテイメニュー→
インジイチセッテイメニュー
←ホッパ ビチョウセイ→
ホッパ ビチョウセイ ←TM +3.9ミリ*
ホッパ ビチョウセイ ←TM 0ミリ*
ホッパ ビチョウセイ ←TM −3.9ミリ*
ホッパ ビチョウセイ ←LM +3.9ミリ*
ホッパ ビチョウセイ ←LM 0ミリ*
ホッパ ビチョウセイ ←LM −3.9ミリ*
E
F
G
H

E
F
G
H
注4
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
注5
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
注6
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
ホッパ゜3 ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
インジ゛イチセッテイメニュー
←トレー ビ゛チョウセイ→
トレー ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
トレー ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
トレー ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
トレー ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
トレー ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
トレー ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
I
J
K
L

I
J
K
L
注8
インジ゛イチセッテイメニュー
←オモテメン ビ゛チョウセイ→
オモテメン ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
オモテメン ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
オモテメン ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
オモテメン ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
オモテメン ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
オモテメン ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
注8
インジ゛イチセッテイメニュー
←ウラメン ビ゛チョウセイ→
ウラメン ビ゛チョウセイ
←TM +3.9ミリ*
ウラメン ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ*
ウラメン ビ゛チョウセイ
←TM −3.9ミリ*
ウラメン ビ゛チョウセイ
←LM +3.9ミリ*
ウラメン ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ*
ウラメン ビ゛チョウセイ
←LM −3.9ミリ*
注8
リョウメンインサツメニュー →
リョウメンインサツメニュー
←ショキセッテイ OFF*
リョウメンインサツメニュー
←ショキセッテイ ON *
リョウメンインサツメニュー
←トジ゛シロ ロング゛1*
リョウメンインサツメニュー
←トジ゛シロ ショート1*
リョウメンインサツメニュー
←トジ゛シロ ロング゛2*
リョウメンインサツメニュー
←トジ゛シロ ショート2*
リョウメンインサツメニュー
←ヨハク 0ミリ*
リョウメンインサツメニュー
←ヨハク 20ミリ*
リョウメンインサツメニュー
←クリップ゛ ON *
リョウメンインサツメニュー
←クリップ゛ OFF*
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー
←セツデ゛ンキノウ →
セツデ゛ンキノウ1
← ユウコウ*
セツデ゛ンキノウ1
← ムコウ*
セツデ゛ンキノウ1ジカン
← 5フン*
セツデ゛ンキノウ1ジカン
← 10フン*
セツデ゛ンキノウ1ジカン
← 30フン*
セツデ゛ンキノウ1ジカン
← 60フン*
M
N
O
P
Q

M
N
O
P
Q
セツデ゛ンキノウ2
← ユウコウ*
セツデ゛ンキノウ2
← ムコウ*
セツデ゛ンキノウ2ジカン
← 5フン*
セツデ゛ンキノウ2ジカン
← 10フン*
セツデ゛ンキノウ2ジカン
← 30フン*
セツデ゛ンキノウ2ジカン
← 60フン*
ウンヨウメニュー
←ジ゛ド゛ウ ハイシュツ →
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← ムコウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 5ビ゛ョウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 15ビ゛ョウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 30ビ゛ョウ*
フォントメニュー →
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
フォントメニュー
←ANK ヒョウジ゛ュン*
フォントメニュー
←ANK イタリック*
フォントメニュー
←ANK クーリエ*
フォントメニュー
←ANK ゴ゛シック*
フォントメニュー
←カンジ゛ ミンチョウ*
フォントメニュー
←カンジ゛ ゴ゛シック*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1978*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1983*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1990*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ ニッポ゜ン*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ アメリカ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ イギ゛リス*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ ド゛イツ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ スウェーデ゛ン*
NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー
←A4ポ゜ートレート ケタスウ→
A4ポ゜ートレート ケタスウ
← 78ケタ*
A4ポ゜ートレート ケタスウ
← 80ケタ*
NPDLセッテイメニュー
←エミュレーション →
エミュレーション
← 201 エミュレーション*
エミュレーション
←ペ゜ージ゛プ゜リンタモード゛*
NPDLセッテイメニュー
←136ケタモード゛ セッテイ→
136ケタモード゛ セッテイ
← ユウコウ*
136ケタモード゛ セッテイ
← ムコウ*
注9
R
S
T

R
S
T
136ケタモード セッテイ ←ヨウシイチ ヒダリ*
136ケタモード セッテイ ←ヨウシイチ チュウオウ*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ15*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 15*
注10
セントロセッテイメニュー →
セントロセッテイメニュー ←ドウサ ソウホウコウ →
ドウサ ソウホウコウ ← ニブル*
ドウサ ソウホウコウ ← ECP*
ドウサ ソウホウコウ ← ナシ*
LANセッテイメニュー →
LANセッテイメニュー ←ヒョウジュン セッテイ →
IPアドレス 000.000.000.000*
サブネットマスク 000.000.000.000*
注11
LANセッテイメニュー ←オプション セッテイ →
IPアドレス 000.000.000.000*
サブネットマスク 000.000.000.000*
セッテイショキカメニュー →
セッテイショキカメニュー ←ショキカ ジッコウ→
初期化実行
セッテイショキカメニュー ←LANショキカ ジッコウ→
LAN初期化実行
セッテイショキカメニュー ←ショキカオール ジッコウ→
初期化オール実行
セッテイショキカメニュー ←ヨビダシ ジッコウ→
呼び出し実行
セッテイショキカメニュー ←キオク ジッコウ→
記憶実行
メモリスイッチメニュー →
12345678 ←MSW1 00000000*
12345678 ←MSW2 00000000*
12345678 ←MSW3 00000000*
12345678 ←MSW4 00000000*
12345678 ←MSW5 00000000*
12345678 ←MSW6 00000000*
12345678 ←MSW7 00000000*
12345678 ←MSW8 00000000*
12345678 ←MSW9 00000000*
12345678 ←MSW10 00000000*

注1　現在の用紙サイズがA4のときのみ表示されます。
注2　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーが増設されていなければホッパー1を「ホッパ」と表示します。
注3　ホッパーが1段のときのみ表示されます。
注4　ホッパーが2段以上のときのみ表示されます。
注5　ホッパー2が装着されているときのみ表示されます。
注6　ホッパー3が装着されているときのみ表示されます。
注7　普通紙/再生紙以外が選択されている場合は、排紙方向の設定に関わらずフェイスアップで排紙されます。
注8　両面印刷装置が装着されているときのみ表示されます。
注9　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
注10　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。
注11　オプションのLANアダプターを接続しているときのみ表示されます。

メニューの詳細

1. テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- サンプル印刷
- 連続印刷（テスト印刷）
- 16進ダンプ印刷
- ネットワーク1印刷（コンフィグレーションページを印刷）
- ネットワーク2印刷（外付けネットワークオプション装着時、コンフィグレーションページを印刷）

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押したあと、[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押してください。
プリント結果については「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。

2. 印刷設定メニュー

1. コピー枚数
   コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
   プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数を優先します。

2. 黒トナー節約
   黒トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。（NPDLモード用）

トナー節約機能を使用するため、「クロトナーセツヤク」をONに設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3. SET
   SET（Sharp Edge Technology）を使用するか、しないかを選択します。SETとは印刷画像のエッジ部分を滑らかにする技術です。

3. 用紙メニュー

1. ホッパ初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパーまたはトレーを選択します。
ホッパー2、3は増設ホッパー（オプション）が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー1
- ホッパー2
- ホッパー3
- トレー

2. ホッパ1用紙種別

ホッパー1で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

3. ホッパ2用紙種別

ホッパー2で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

4. ホッパ3用紙種別

ホッパー3で使用する用紙の種類を設定します。
「普通紙」か「再生紙」を選択できます。

5. トレー用紙種別

トレーで使用する用紙の種類を設定します。

- 普通紙
- 再生紙
- 厚紙
- 厚紙（裏）
- はがき
- はがき（裏）
- ラベル
- OHP
- 封筒
- コート紙

6. 光沢設定

トレーに設定した用紙に対して光沢モードを設定します。ただし、光沢モードが有効になるのは「厚紙」、「ハガキ」、「コート紙」だけです。

7. トレー定形外用紙

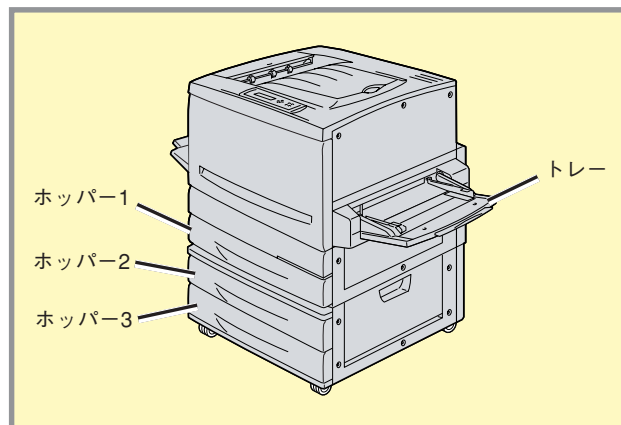
トレーでの定形外用紙の使用を有効、または無効にします。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合は、設定する必要はありません。

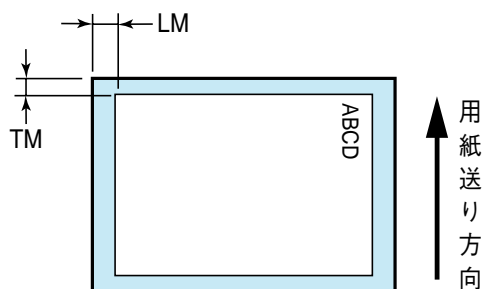
8. リレー給紙設定

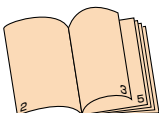
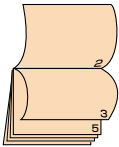
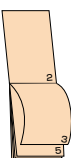
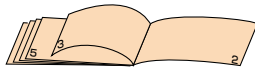
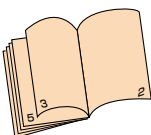
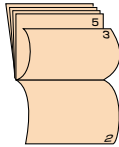
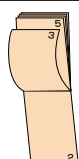
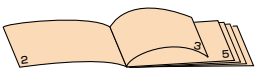
リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかトレーに同じサイズ（「A4」など）の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやトレーの内、2つ以上に同じサイズの用紙をセットしている。

9. 排紙方法設定

印刷面を下にして排紙（フェイスダウン）するか、印刷面を上にして排紙（フェイスアップ）するかを設定します。フェイスダウンにした場合、用紙はスタッカーに、フェイスアップにした場合、用紙はフェイスアップトレイに排紙されます。

4. 印字位置設定メニュー

ホッパー、トレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。
調整できる範囲は、「-3.9ミリ」~「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
設定変更スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
この機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。
また、用紙送り方向に対し、印刷領域が用紙をはみ出して設定するような設定はできません。用紙をはみ出すような設定をした場合は、用紙端に印刷領域が入るところまでしか移動しません。

5. 両面印刷メニュー

このメニューは両面印刷に関する設定を行うもので、オプションの両面印刷ユニットが装着されているときのみ表示されます。

1. 初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. 綴じ代（とじしろ）

綴じ代を付加する位置を設定します。

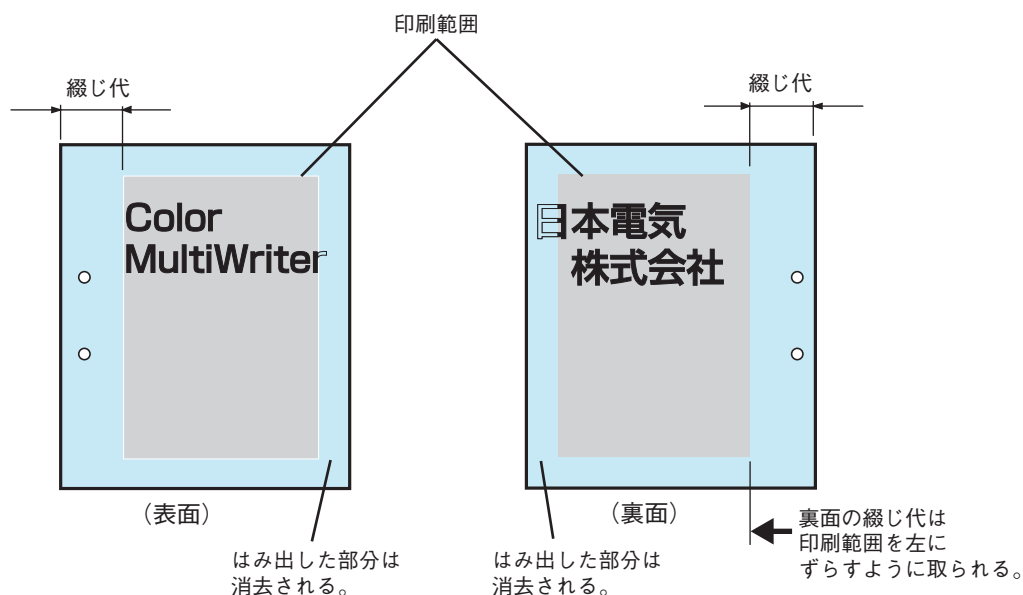
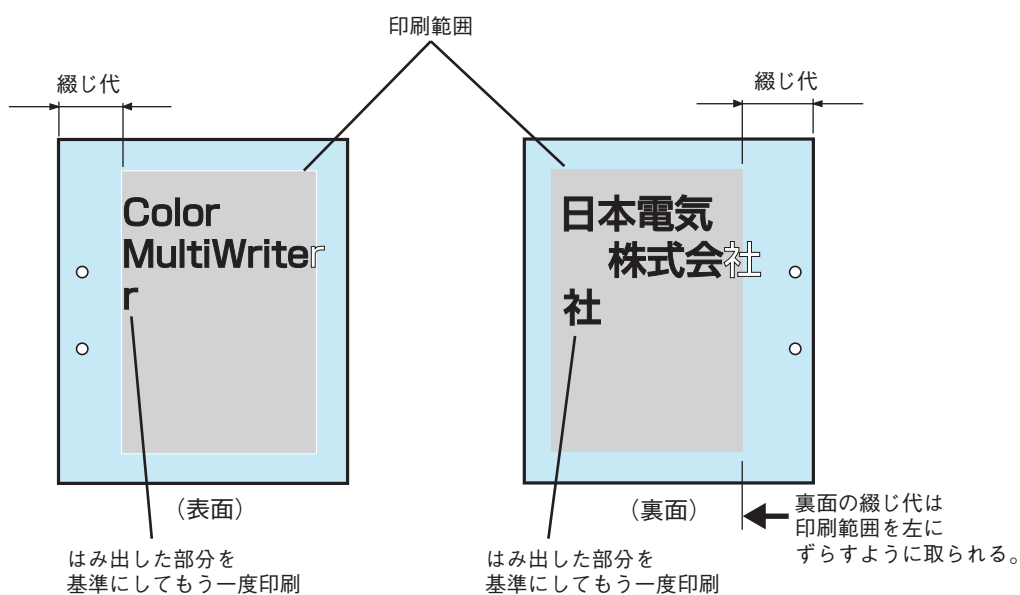
綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ	上綴じ
ショート1	上綴じ	右綴じ
ロング2	右綴じ	下綴じ
ショート2	下綴じ	左綴じ

3. 余白

綴じ代を付加する量を設定します。設定範囲は0～20mmで、1mm単位で設定できます。

4. クリップ

余白(とじしろ)を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行、または次のページに印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのページを印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFF にすると、はみ出した印刷データを次のページに引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1 ページずつずれることになります。(アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります)。「クリップ」をON にすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

- クリップON

- クリップOFF

6. 運用メニュー

1. 節電機能

節電機能を使用するかしないか、節電機能に入るまでの時間を選択します。

プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を30W以下の状態に節約できる機能です。節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。
本プリンターでは、節電機能1と節電機能2の2つのモードがあります。節電機能2が有効になった場合に上記のようになります。節電機能1は節電機能2と比較するとウォームアップに必要な時間が短くてすみますが、消費電力は大きくなります。

2. 自動排紙

自動排紙の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

7. フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」をご覧ください。NPDLを使用したモノクロ印刷のみで有効です。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合、本設定は印刷結果に反映されません。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0̸）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0̸）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体/ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6. 国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

8. NPDL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

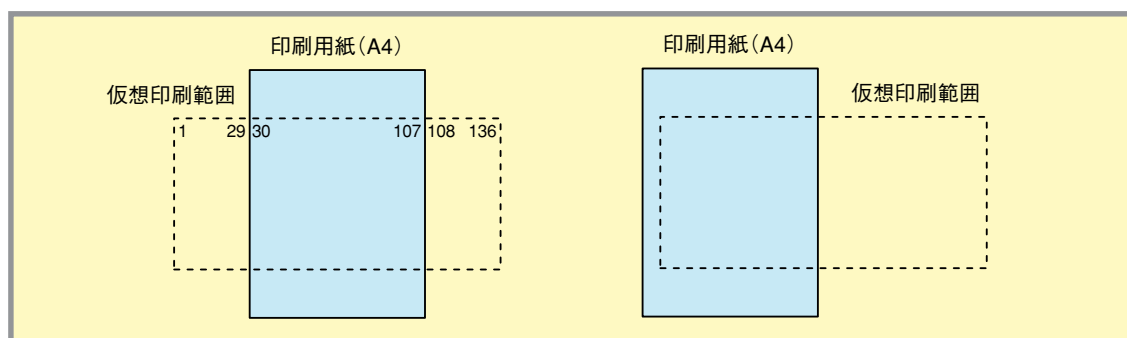
2. エミュレーション

ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。
- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  ◇ 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  ◇ 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、下の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

9. セントロ設定メニュー

セントロニクスインターフェースの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 100%互換機
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。電源再投入時に有効となります。

10. LAN設定メニュー

IPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
「オプション　セッテイ」は、オプションのLANアダプターを装着時のみ設定できます。

11. 設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したトレー用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後ただちにメニューモードを終了します。

- 初期化実行
- LAN初期化実行
- 初期化オール実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定と[トレー]スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

「LAN設定」メニューで設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANボードまたはLANアダプターへ記憶されますので設定初期化実行しても設定された内容は初期化されません。IPアドレス、サブネットマスクを初期化する場合には、LAN初期化実行を行ってください。初期化オール実行を行うと初期化実行とLAN初期化実行を同時に行います。また、IPアドレス、サブネットマスクの情報は、記憶実行では記憶されません。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定(1/2)

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
黒トナー節約	無効
SET	ON
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー1
ホッパー1の用紙種別	普通紙
ホッパー2の用紙種別	普通紙
ホッパー3の用紙種別	普通紙
トレーの用紙種別	普通紙
光沢設定	OFF
トレーの定形外用紙設定	OFF
リレー給紙設定	無効
排出方向	無効
印字位置設定メニュー	
ホッパー1微調整	0（TM、LM）
ホッパー2微調整	0（TM、LM）
ホッパー3微調整	0（TM、LM）
トレー微調整	0（TM、LM）
両面印刷時の表ページの微調整	0（TM、LM）
両面印刷時の裏ページの微調整	0（TM、LM）
両面印刷メニュー	
両面印刷の初期設定	無効
綴じ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
運用メニュー	
節電機能1	有効
節電機能1時間	10分
節電機能2	有効
節電機能2時間	30分
自動排出	無効
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り換え	標準
漢字フォントの切り換え	明朝
文字セットの切り換え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

メニューモードの項目と初期設定（2/2）

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
NPDL設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
ディフォルトエミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード： 無効 用紙位置： 左 微調整： 0
セントロ設定ニュー	
動作双方向	ニブル
メモリースイッチメニュー	
次ページの一覧表を参照してください。	

12. メモリースイッチメニュー

メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表で＜赤字＞は工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの内容」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（1/2）

番号	機　能	0（OFF）	1（ON）	メニューモードとの重複
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。＜すべて0（日本語）＞		○
1-2				
1-3				
1-4	（未使用）			—
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	＜有効＞	無効	—
1-6	自動復帰改行の切り替え	＜復帰改行＞	復帰のみ	—
1-7	印刷指令の切り替え	＜CRのみ＞	CR＋その他	—
1-8	CR機能の切り替え	＜復帰のみ＞	復帰改行	—
2-1	1バイトコード系のゼロの字形の切り替え	＜0＞	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	＜201PLエミュレーション＞	ページプリンタ（NPDL）	○
2-3	グラフィックモードの切り替え	＜ネイティブモード＞	コピーモード	—
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	＜8ビット＞	7ビット	—
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	＜78桁＞	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	＜4/5倍＞	2/3倍	—
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定 （136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）＜すべて0（0インチ）＞		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	＜左＞	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	＜左端合わせ＞	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	＜無効＞	有効	○
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	＜有効＞	＜無効＞	—

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(2/2)

番号	機　能	0（OFF）	1（ON）	メニューモードとの重複
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しない の切り替え	＜初期化する＞	初期化しない	－
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しない の切り替え	＜出力する＞	出力しない	－
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	＜反時計回り＞	時計回り	－
5-1	同期コード	＜無効＞	有効	－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	＜使用する＞	使用しない	－
6-2	FBオーバー時の動作	＜エラー表示して停止＞	解像度を落として印刷	－
6-7	節電機能1、2を使用する／しないの切り替え	＜使用する＞	使用しない	○
7-1	データストローブのデータラッチタイミング	＜前縁ラッチ＞	後縁ラッチ	－
7-2	データストローブのデータラッチタイミング	＜前縁ラッチ＞	後縁ラッチ	－
7-4	ホッパー2 に装着した増設ホッパーの種類*	増設ホッパ250	＜増設ホッパ500＞	－
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類*	増設ホッパ250	＜増設ホッパ500＞	－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを 表示する／しないの切り替え	＜表示する＞	表示しない	－
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しない の切り替え	＜自動縮小する＞	自動縮小しない	－
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY—ACK）のタイミング（増設ネットワークボードインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY—ACKのタイミングを切り替えます。 ＜タイミングA （8-1：0、8-2：0）＞		－
8-3 8-4	アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え （増設ネットワークボードインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 ＜1μs（8-3：0、8-4：0）＞		－
8-5 8-6	ビジィアクノリッジ（BUSY—ACK）のタイミング（背面セントロニクスインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY—ACKのタイミングを切り替えます。 ＜タイミングA （8-5：0、8-6：0）＞		－
8-7 8-8	アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え （背面セントロニクスインターフェース）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 ＜1μs（8-7：0、8-8：0）＞		－
9-1	同期コードの無効／有効の切り替え （増設ネットワークボードインターフェース）	＜無効＞	有効	－
9-2	同期コードの無効／有効の切り替え （背面セントロニクスインターフェース）	＜無効＞	有効	
9-7	（未使用）			－
10-1 ～10-5	（未使用）			－

＊　本装置で増設可能なホッパーは、「増設ホッパ（500）」のみです。本設定は必ず「1（ON）」を選択してください。

メモリースイッチの内容

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

- 表中の＜赤文字＞は工場設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」をご覧ください。

1-4　グレースケールの網点の切り替え

グレースケールのパターンを示します。どちらに設定してもグレースケールの網点は変わりません。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード（FS f）を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1〜3-4　レフトマージン量の設定

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。印刷位置がずれた場合の用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次ページの表をご覧ください。

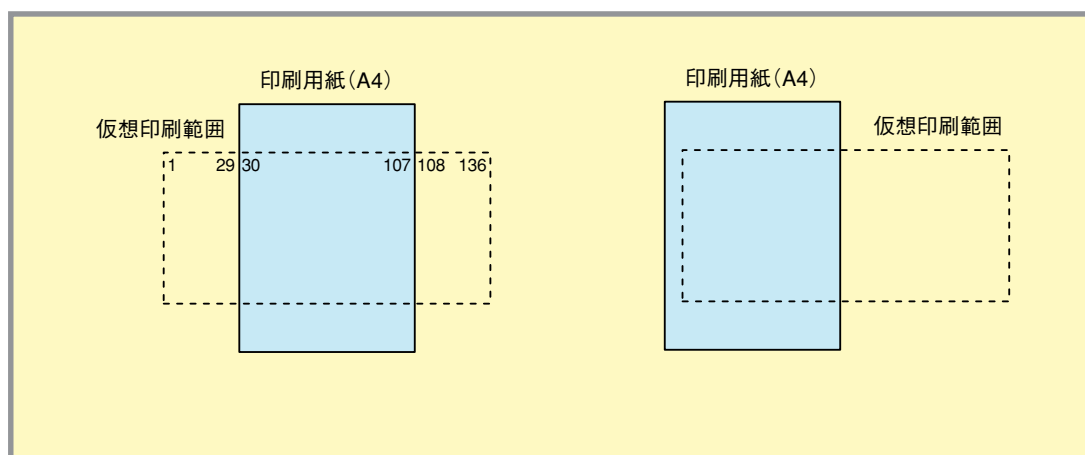
レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜赤文字＞は工場設定を示します。

3-5　用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）で、201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-6　用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効で、201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-7　136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8　ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

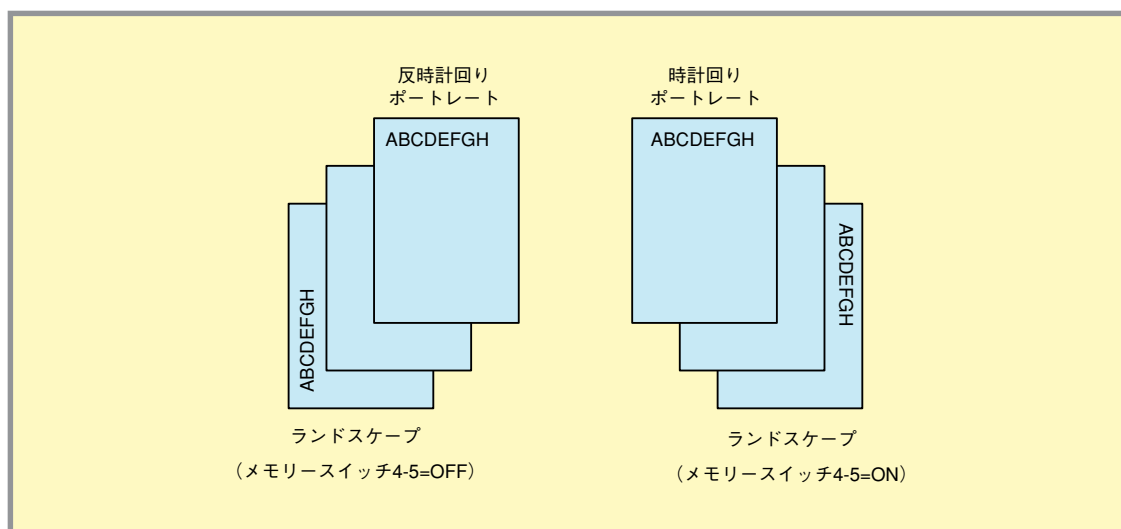
4-3　ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリースイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4　FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5　ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1 同期コードの有効／無効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。
PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチを1(同期コード有効)にする必要があります。

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

本メモリースイッチが0(同期コード無効)の場合でもメモリースイッチ9-1、9-2が1(各インターフェースに対する同期コード有効)であれば、メモリースイッチ9-1、9-2の機能が有効になります。

6-1 SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2 メモリーオーバー時の動作指定

メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0(OFF)にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可]スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。
1(ON)にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

本設定は、NPDLコマンドのみに有効です。添付のWindowsドライバーから印刷する場合には、解像度を下げて印刷することはできません。

6-7 節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1 データストローブ信号のデータラッチタイミング

前面のセントロニクスインターフェースポートのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-2 データストローブ信号のデータラッチタイミング

背面のセントロニクスインターフェースポートのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-1、または7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-4 ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ(250)、または増設ホッパ(500)のどちらがホッパー2に装着されているかを設定します。本装置では、必ず「増設ホッパ(500)」を選択してください。

7-5 ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ(250)、または増設ホッパ(500)のどちらがホッパー3に装着されているかを設定します。本装置では、必ず「増設ホッパ(500)」を選択してください。

7-7　FS fコマンドでの指定サイズなしを表示する／しないの切り替え

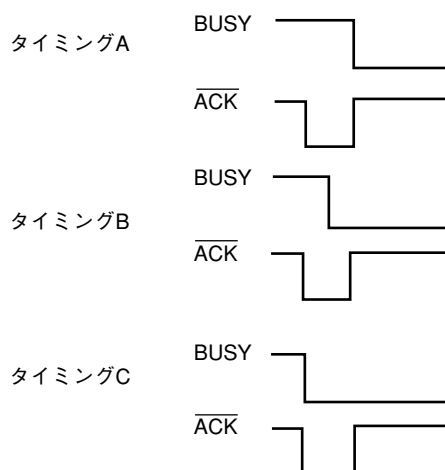
FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2　ビジィアクノリッジ(BUSY－$\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、前面のセントロニクスインターフェースのBUSY―$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜OFF＞	＜OFF＞
タイミングB	ON	OFF
タイミングC	OFF	ON
タイミングA	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

8-3、8-4　アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、前面のセントロニクスインターフェースの$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。

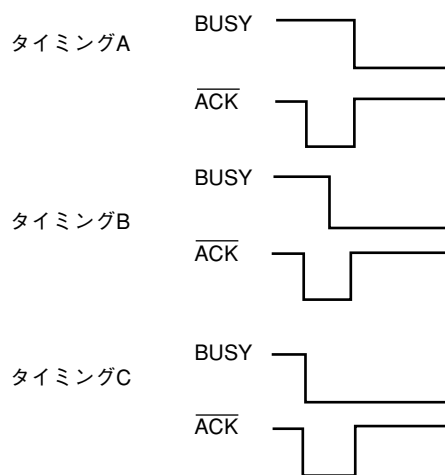
$\overline{\text{ACK}}$の幅	8-3	8-4
4μs	ON	OFF
＜1μs＞	＜OFF＞	＜OFF＞
2μs	OFF	ON
10μs	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

$\overline{\text{ACK}}$の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、$\overline{\text{ACK}}$の幅を長くして使用してください。

8-5、8-6 ビジィアクノリッジ(BUSY－$\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、背面のセントロニクスインターフェースのBUSY－$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$のタイミング	8-5	8-6
＜タイミングA＞	＜OFF＞	＜OFF＞
タイミングB	ON	OFF
タイミングC	OFF	ON
タイミングA	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

8-7、8-8 アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、背面のセントロニクスインターフェースの$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$の幅	8-7	8-8
4μs	ON	OFF
＜1μs＞	＜OFF＞	＜OFF＞
2μs	OFF	ON
10μs	ON	ON

＜赤文字＞は工場設定を示します。

$\overline{\text{ACK}}$の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、$\overline{\text{ACK}}$の幅を長くして使用してください。

9-1、9-2 同期コードの無効/有効の切り替え

前面のセントロニクスインターフェースの同期コードを無効とするか有効とするかを切り替えます。PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチを1(同期コード有効)にする必要があります。

本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

本メモリースイッチは、メモリースイッチ5-1が0(同期コード無効)の場合でも有効となります。

プリンタードライバー

プリンタードライバーはColor MultiWriter 9200Cで印刷を行うためのソフトウエアです。この章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

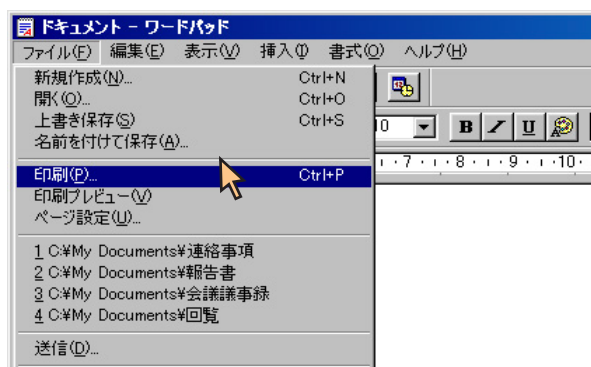
印刷の手順

ここでは、一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

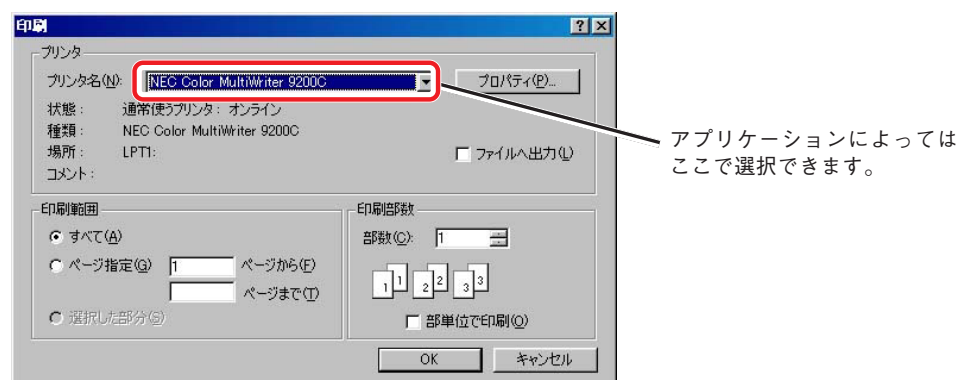
ここでは、Windows 98/95に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します（Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります）。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷をする

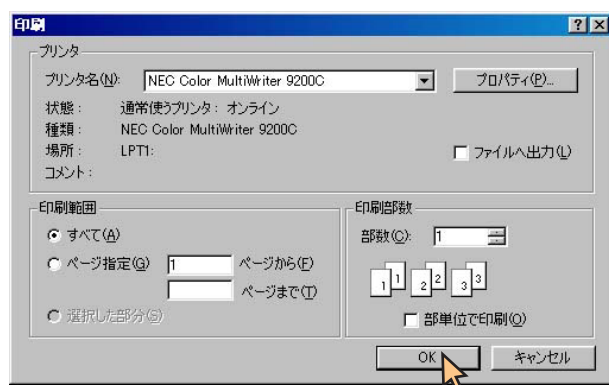
1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

2. 使用する［プリンタ名：］として［NEC Color MultiWriter 9200C］が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

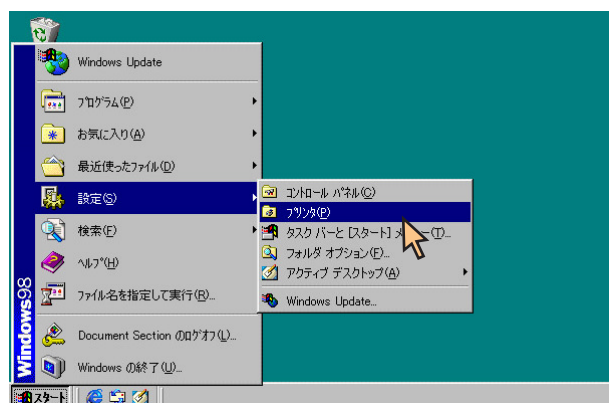
選択方法については「［通常使うプリンタ］として設定する」を参照してください。

3. 印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。

印刷が開始されます。用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]をクリックし、設定変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

印刷をするために、あらかじめColor MultiWriter 9200Cを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

[NEC Color MultiWriter 9200C]アイコンが[プリンタ]フォルダー内に表示されます。(表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。)

2. ［NEC Color MultiWriter 9200C］アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。

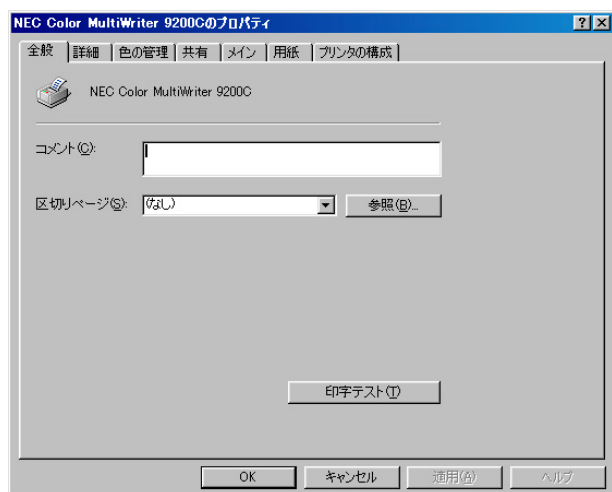
3. メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。

プロパティダイアログボックス

Color MultiWriter 9200Cでは[プロパティダイアログボックス]と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要を各OSに分けて説明します。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは次のようなプロパティシートで構成されています。

- [全般]シート*1
- [詳細]シート
- [色の管理]シート*2
- [共有]シート*3
- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの構成]シート

*1 お使いのシステムによっては[情報]シートと表示されることがあります。
*2 Windows 98のみ表示されます。
*3 システムによっては表示されないことがあります。

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

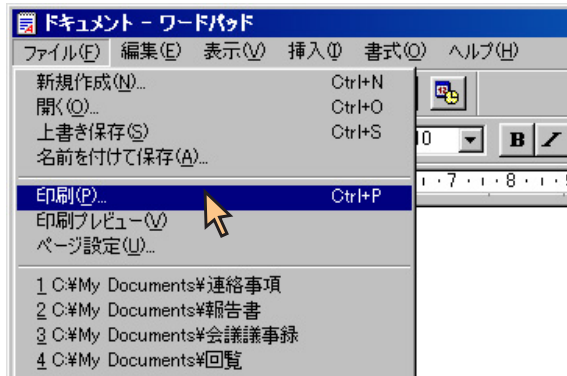
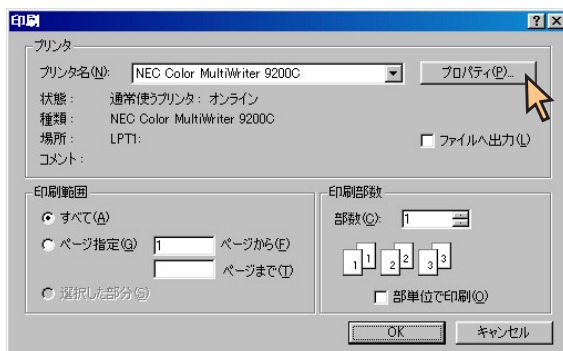
- デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

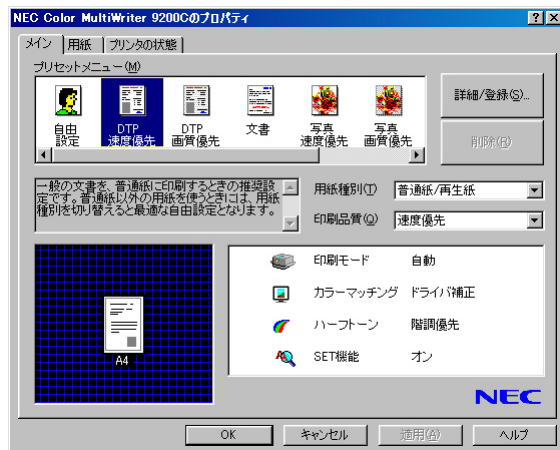
アプリケーションからプロパティダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

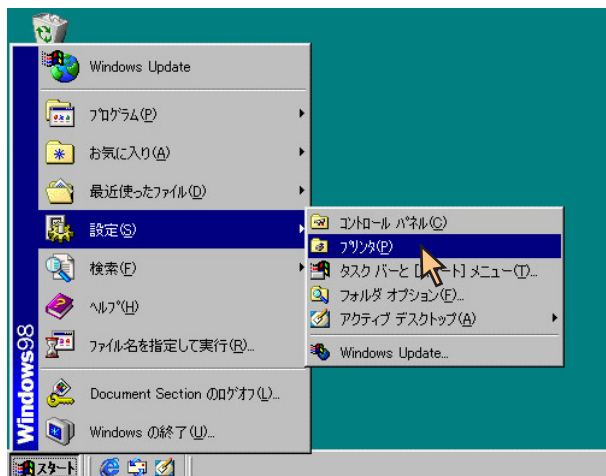
ここではWindows 98/95に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

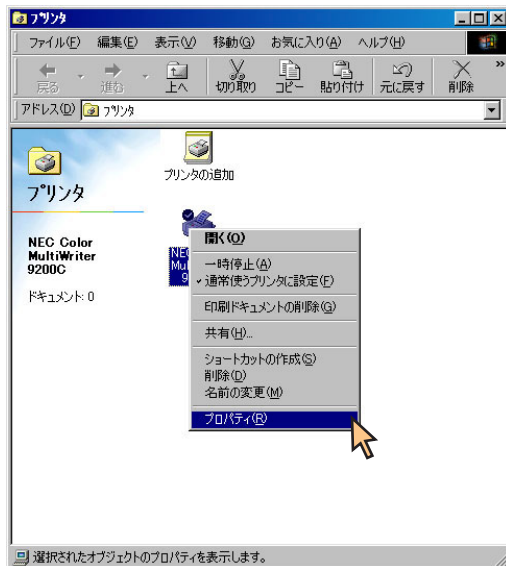
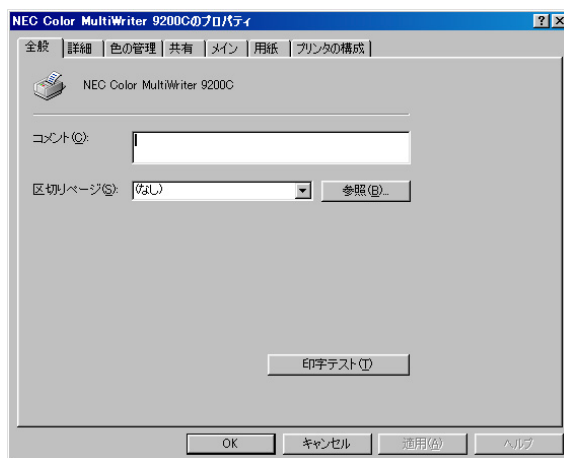
[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

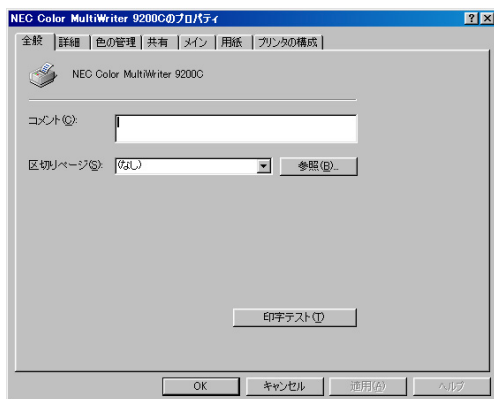
各プロパティシートについては「設定の概要」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [スタート]ボタンから[設定]ー[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダーを開く。

2. ［NEC Color MultiWriter 9200C］アイコンを右クリックする。

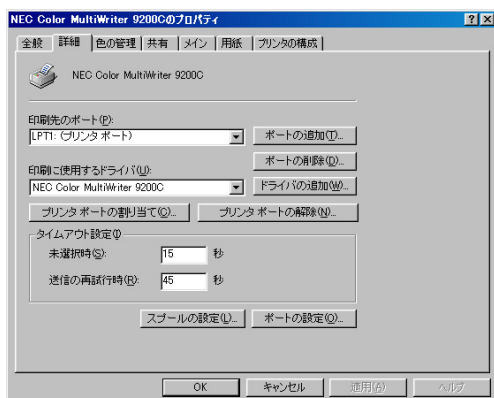
プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

3. メニューの［プロパティ］をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

設定の概要

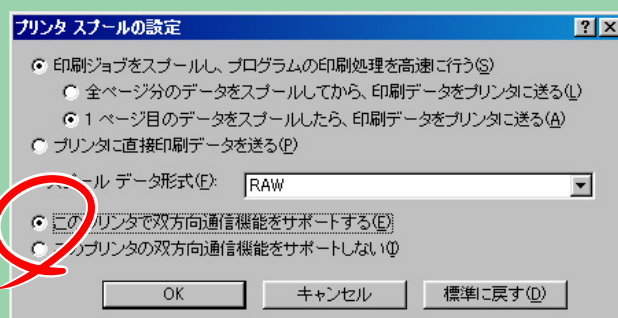
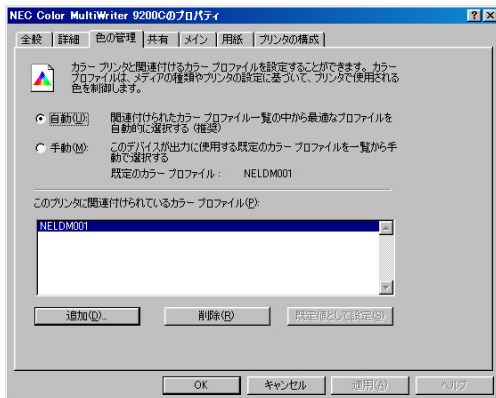
プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

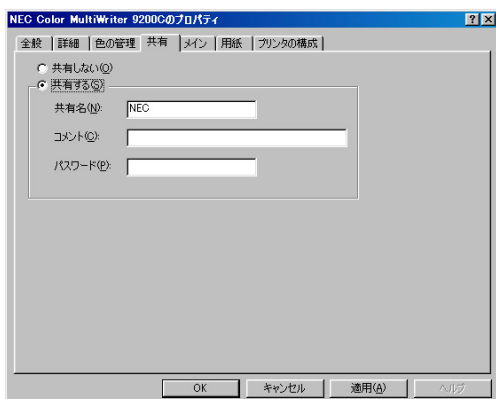
[全般]シート

このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。）

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

[詳細]シート

このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択してください。

[色の管理]シート

このプロパティシートは色の管理を行うシートです。Windows 98 日本語版の場合のみ表示されます。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 98/95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に表示されます。(Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

[メイン]シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます(登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照)。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙(裏)」、「はがき(裏)」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム(OHPフィルムセット(A4):PR-L9200C-TP)に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙(裏)
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき(裏)
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されることがあります。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元(ホッパ/手差しトレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ(先頭ページから)
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ(最終ページから)
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行う　ため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

Windows 98/95ではクライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。ローカル接続、またはNetPrint接続で双方向通信を行っている場合には、このような設定をしなくても丁合い印刷を使用できます。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

[拡大縮小印刷]

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。[詳細]をクリックすると[拡大縮小印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  50～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

[複数ページレイアウト]

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。[詳細]をクリックすると[複数ページレイアウト印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9200C-DL）を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0〜20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

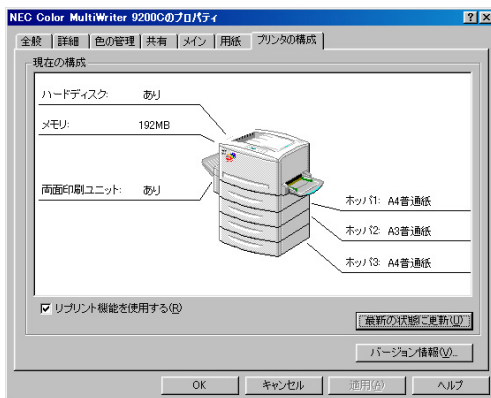
製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通り選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「ウォーターマーク」

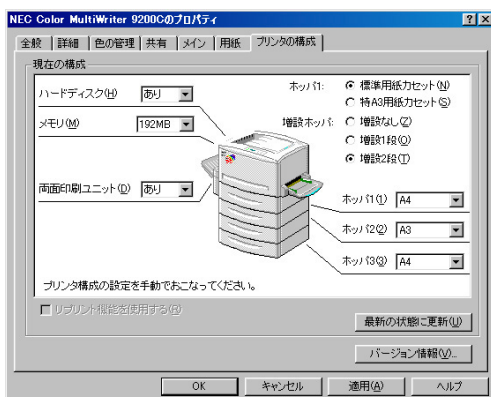
ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー、トレー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリント機能を使用するかどうかを選択することができます。

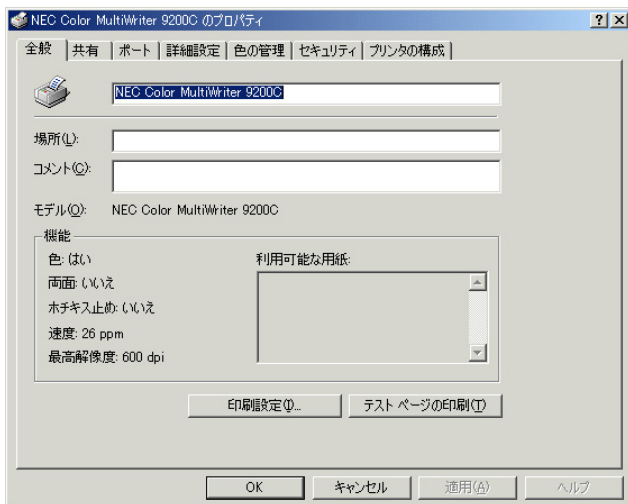
- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

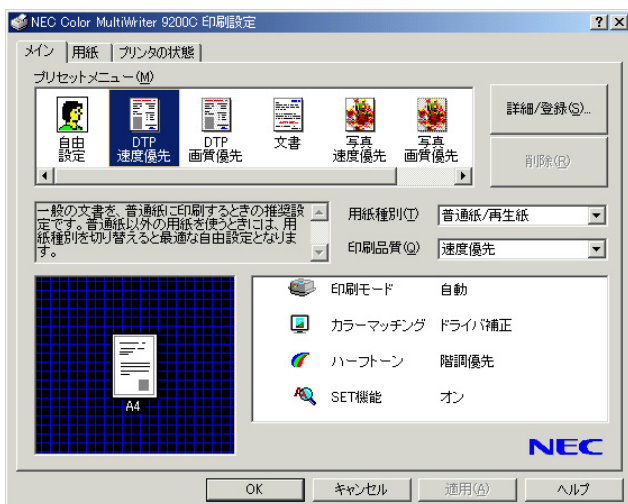
Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細な設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [色の管理]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの構成]シート

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。また、ダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます(ユーザーズガイドの「プリセットメニュー」参照)。

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

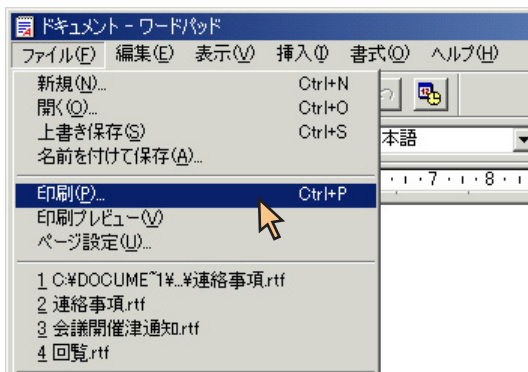
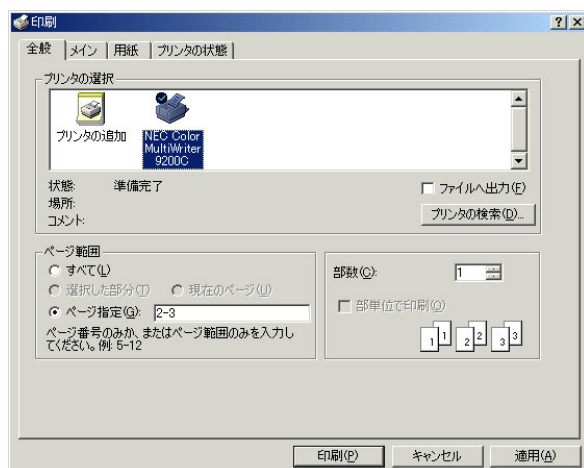
- タスクバー上の[スタート]から開く方法

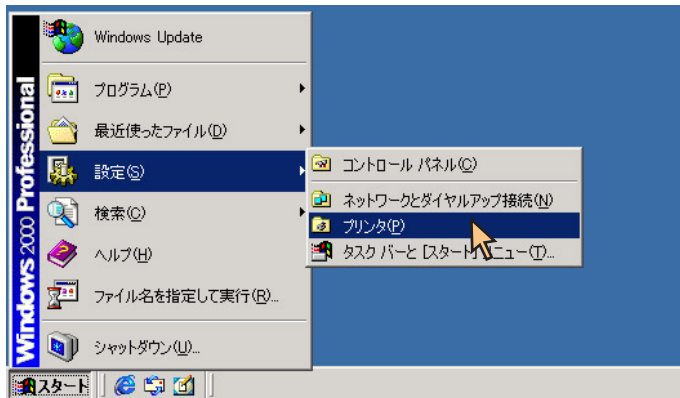
  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

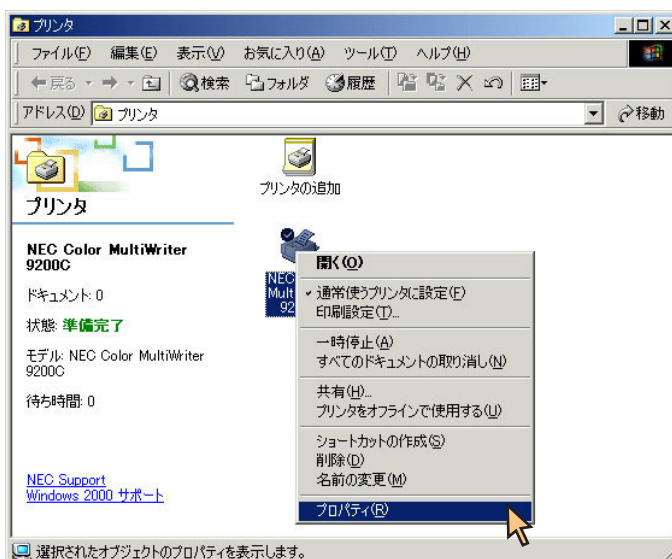
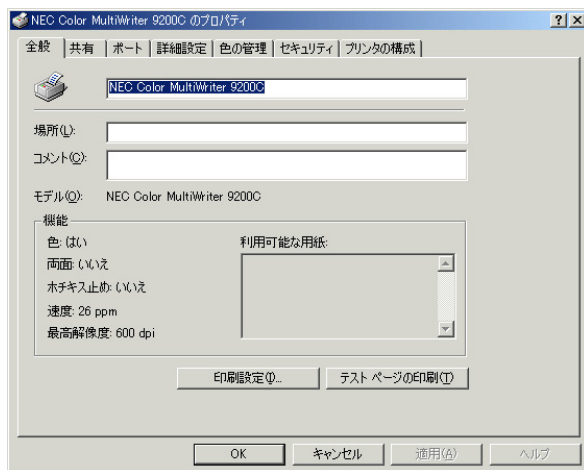
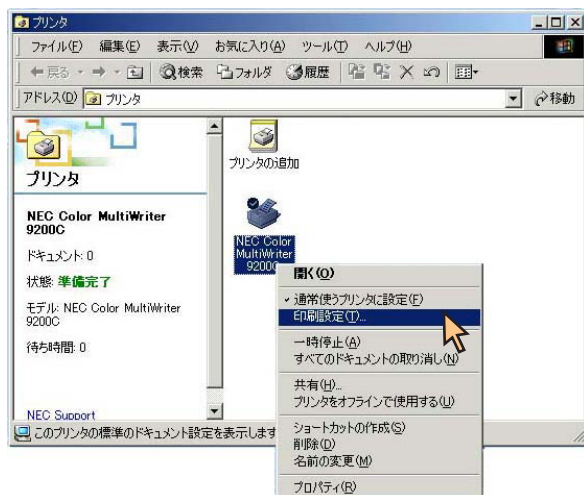
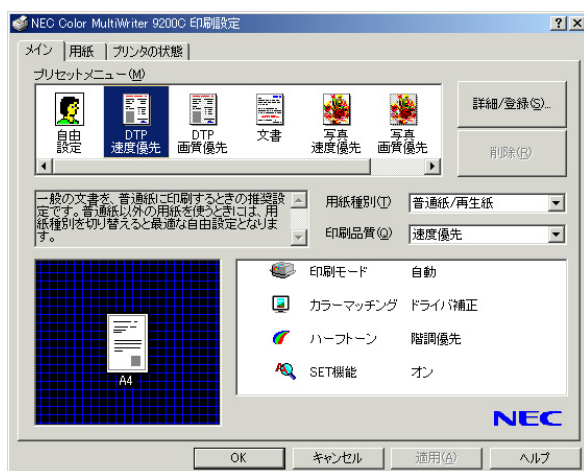
ここではWindows 2000に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[印刷設定]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

以下のような[印刷]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

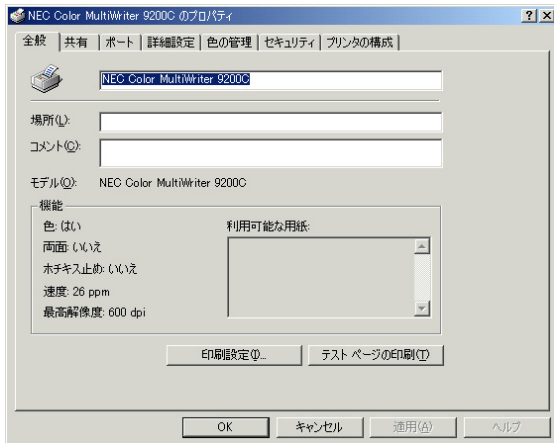
1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC Color MultiWriter 9200C]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

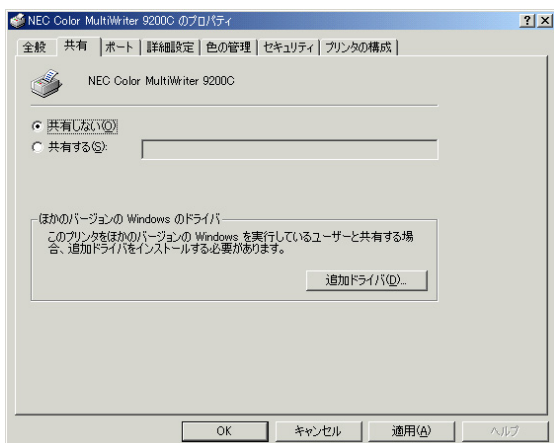
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[印刷設定]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

以下のような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。

4. [印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。

以下のような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。

設定の概要（プリンタのプロパティ）

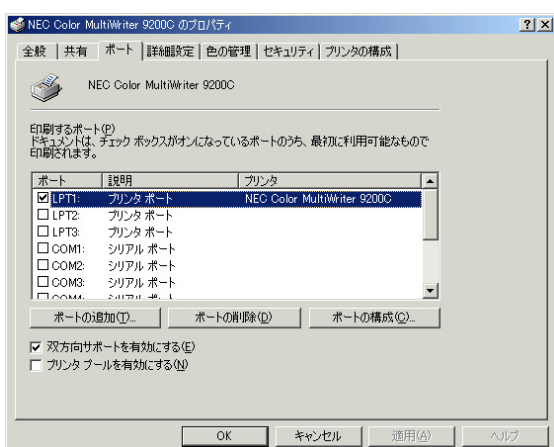
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

［全般］シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

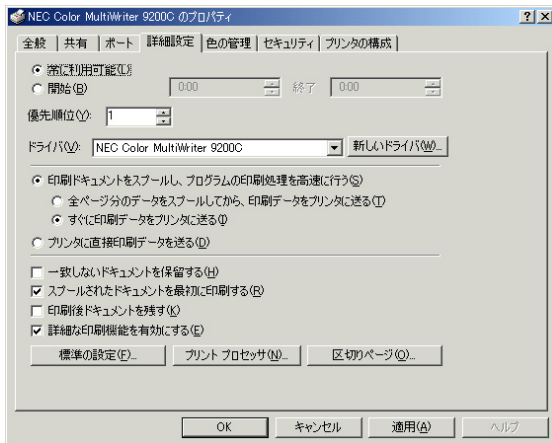
［共有］シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

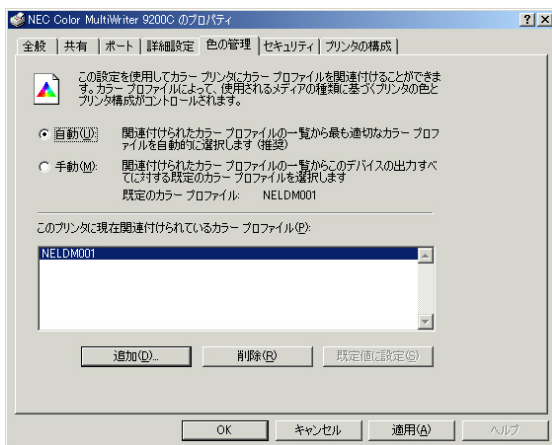
［ポート］シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

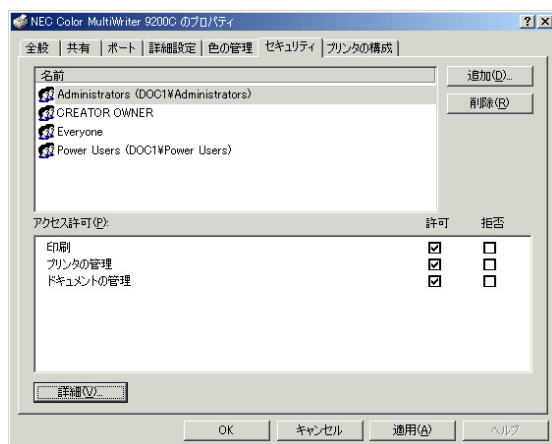
通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

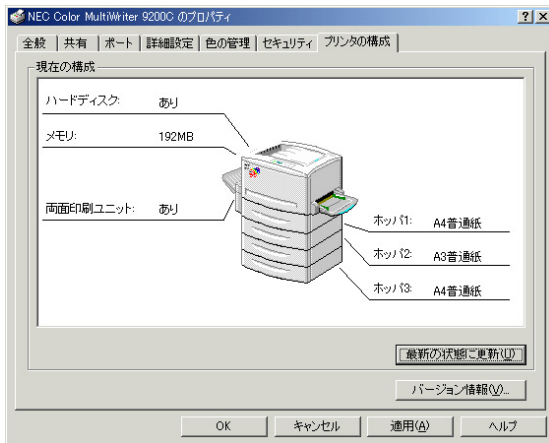
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

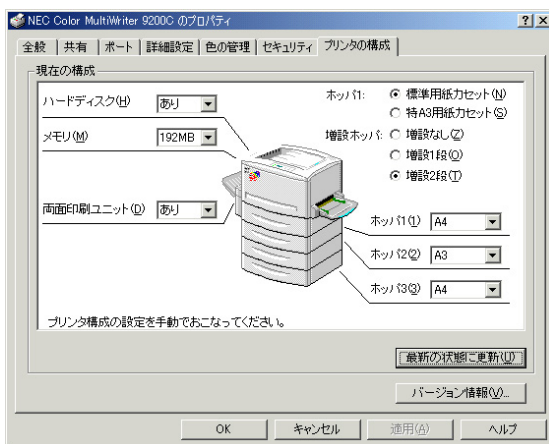
[色の管理]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

ICMプロファイルの設定を行うシートです。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー、トレー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要(印刷設定)

[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

[メイン]シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます(登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照)。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

チェック

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元(ホッパ/手差しトレー)をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

チェック

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ(先頭ページから)
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ(最終ページから)
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

Windows 98/95ではクライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。ローカル接続、またはNetPrint接続で双方向通信を行っている場合には、このような設定をしなくても丁合い印刷を使用できます。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

[拡大縮小印刷]

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。[詳細]をクリックすると[拡大縮小印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  50～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

[複数ページレイアウト]

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。[詳細]をクリックすると[複数ページレイアウト印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9200C-DL）を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること、または手差しトレーに設定されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷します。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通り選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］を選択すると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。 ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー、トレー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

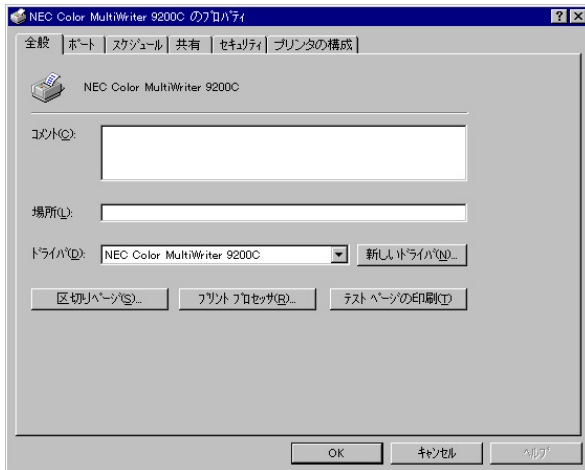
次の条件が満たされているとリプリントの機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

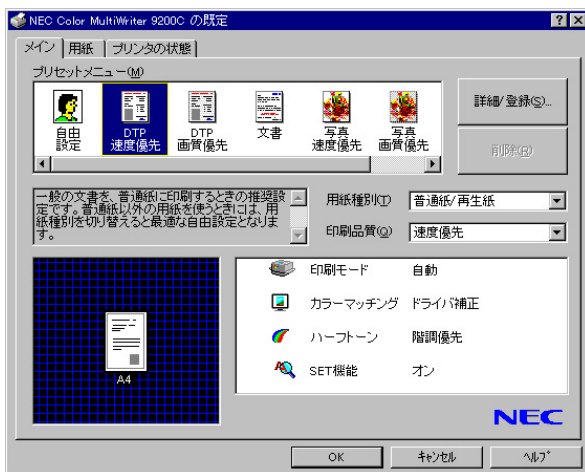
Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [プリンタの状態]シート

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

- デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法

  ダイアログボックスの設定は[プリンタのプロパティ]、[ドキュメントプロパティ]、ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

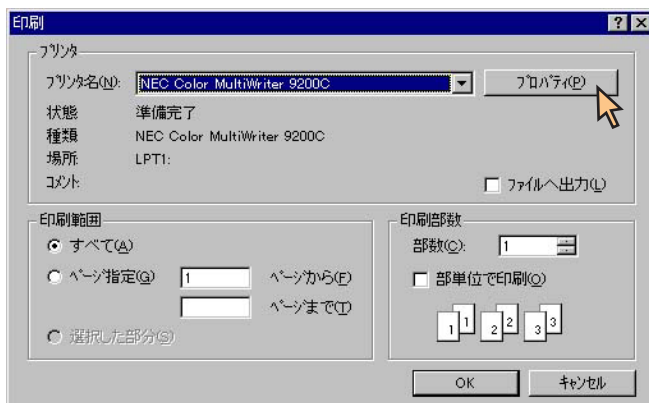
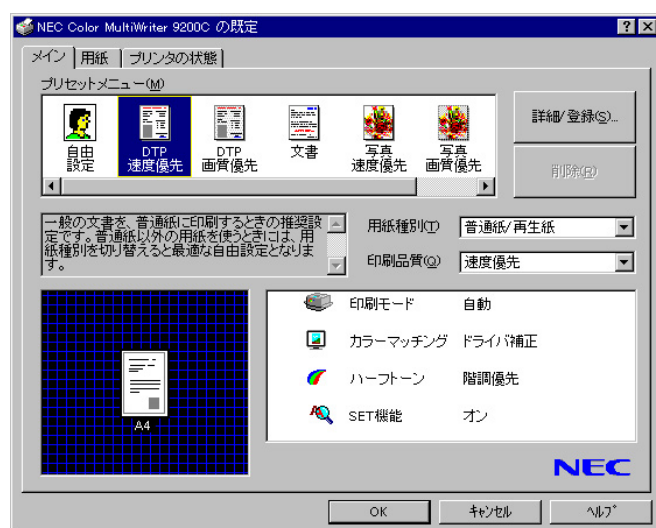
アプリケーションから開く

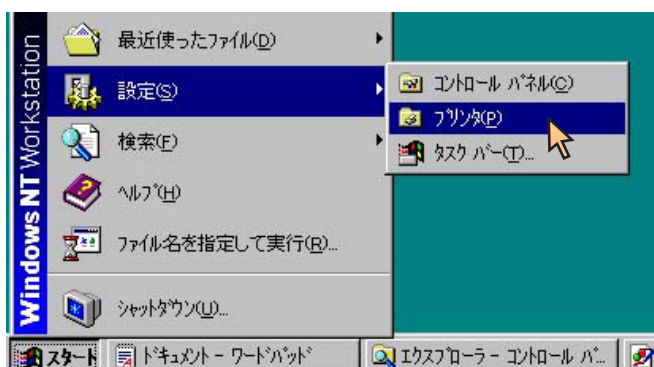
アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows NT 4.0に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

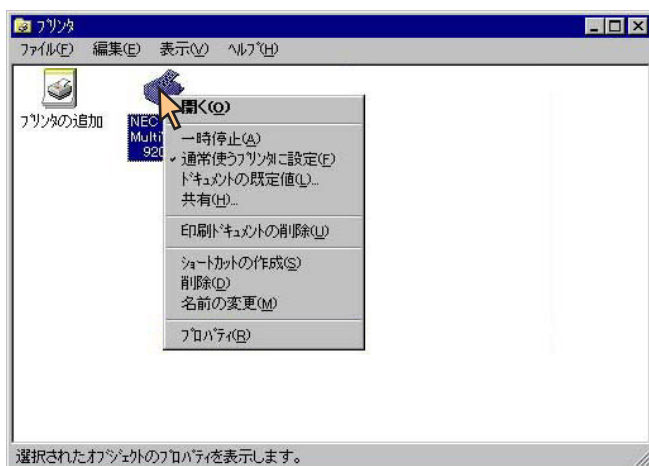
1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

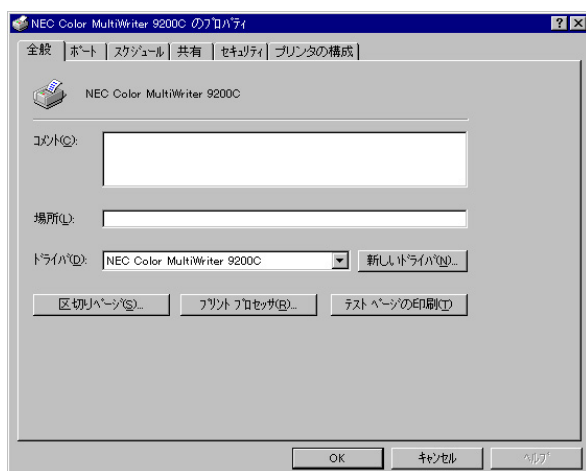
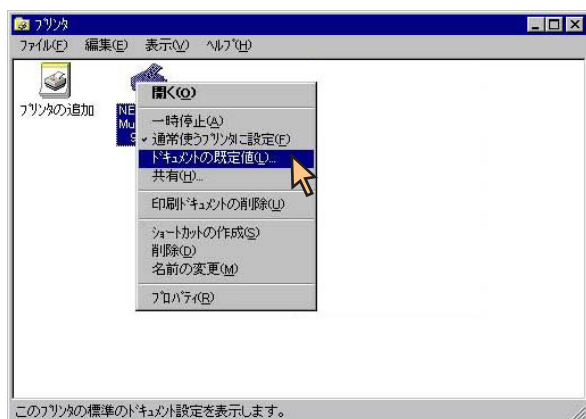
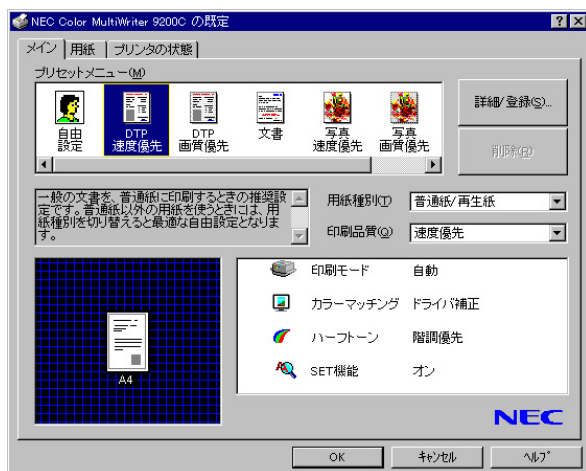
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2. [プロパティ]をクリックする。

以下のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

[スタート]から開く

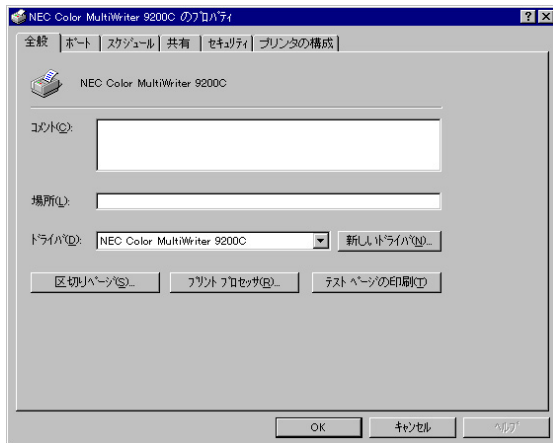
1. [プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC Color MultiWriter 9200C]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

以下のような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(プリンタのプロパティ)」を参照してください。

4. [ドキュメントの既定値]をクリックして、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く。

以下のような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

［全般］シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

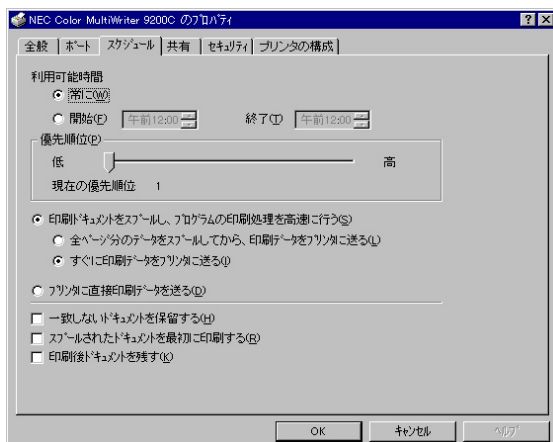
通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［ポート］シート

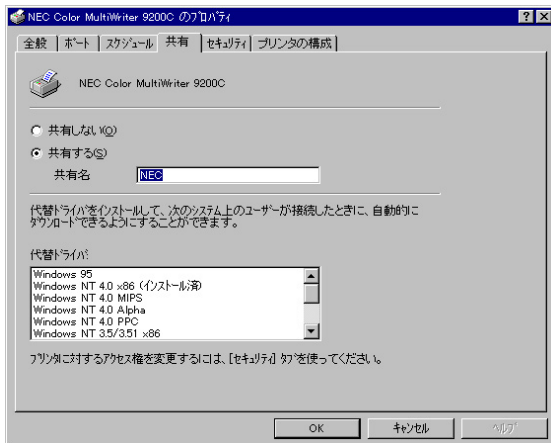
このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

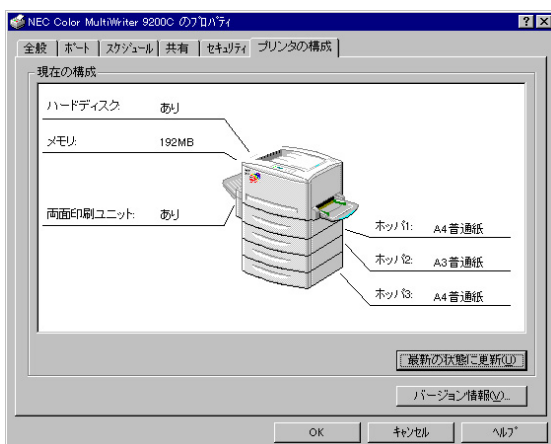
［スケジュール］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

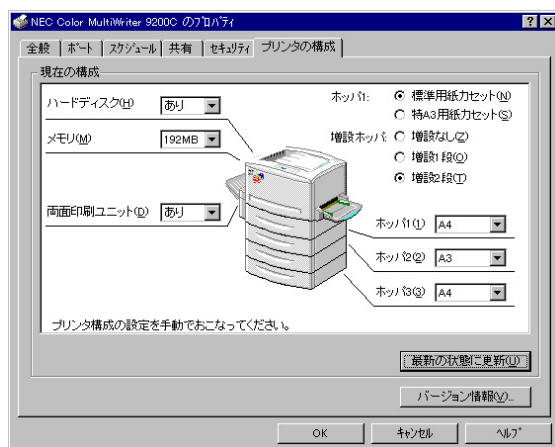
プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

[プリンタの構成]シート

双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー、トレー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（ドキュメントプロパティ）

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

［メイン］シート

このプロパティシートは用紙の種類、および印刷の品質などの以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 用紙種別
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は右下の設定情報表示エリアに表示されます。

- DTP　速度優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- DTP　画質優先
  一般的なイラストや写真を含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 文書
  普通紙に文字を高品質に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　速度優先
  写真画像を多く含んだ文書を普通紙に高速に印刷する場合に適した設定です。
- 写真　画質優先
  写真画像を多く含んだ文章を普通紙に高品質で印刷する場合に適した設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー印刷の調整」、「プリセットメニューの設定内容」をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法についてはユーザーズマニュアルの「プリセットの登録・削除」参照）。

「用紙種別」

以下の用紙種別を選択することができます。一度印刷した厚紙やはがきの裏面に印刷を行う場合には、それぞれ「厚紙（裏）」、「はがき（裏）」を選択してください。

- 普通紙/再生紙
  市販のコピー用紙や再生紙などに印刷する場合に選択します。
- 厚紙
  厚紙に印刷する場合に選択します。
- コート紙
  コート紙に印刷する場合に選択します。
- はがき
  はがきに印刷する場合に選択します。
- ラベル紙
  ラベル紙に印刷する場合に選択します。
- OHP
  OHPフィルム（OHPフィルムセット（A4）：PR-L9200C-TP）に印刷する場合に選択します。印刷品質は「文字優先」に設定されます。
- 封筒
  封筒に印刷する場合に選択します。
- 厚紙（裏）
  一度印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- はがき（裏）
  一度印刷したはがきの裏面に印刷する場合に選択します。

- [普通紙/再生紙]以外の用紙種別が選択されると給紙・排紙方法の変更を確認するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックすると給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。
- 用紙種別と印刷品質によって、選択できるハーフトーンは変更されます。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 速度優先
  速度を優先して印刷します。通常の設定です。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値
- 文字優先
  文字を優先して印刷します。文書などの印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：二値

印刷モードが「カラー」の場合、SETが選択できなくなります。

- 画質優先
  画質を優先して印刷します。配付文書などの清書印刷にお使いください。
  解像度：600×600dpi
  階調値：多値
- トナーセーブ
  トナーを節約して薄い色で印刷します。原稿などのテスト印刷にお使いください。
  解像度：300×300dpi
  階調値：多値

用紙の種類によって印刷品質や給紙方法、排紙方法などが制限されます。以下の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	給紙方法	排紙方法	両面印刷	製本印刷
普通紙／再生紙	○	○	○	○	○
厚紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
コート紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
ラベル紙	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
OHP	文字優先	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
封筒	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
厚紙（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×
はがき（裏）	○	手差しトレー	フェイスアップ	×	×

○：選択できる
×：選択できない

［用紙］シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷部数
- 印刷方向
- 給紙方法
- 排紙方法
- 丁合印刷
- 印刷レイアウト
- 両面印刷
- ウォーターマーク

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズを選択します。[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスが表示されます。給紙方法は「手差しトレー」となります。

チェック

はがき、往復はがき、または封筒を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」、排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。また、B5より小さいサイズを定義した場合も排紙方法は「フェイスアップ」に変更されます。

「印刷部数」

印刷する枚数を選択します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

チェック

給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。

- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。 両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合印刷が指定されます。

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

Windows 98/95ではクライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは[共有プリンタを利用する]、サーバーでは[共有プリンタを提供する]をチェックしておく必要があります。ローカル接続、またはNetPrint接続で双方向通信を行っている場合には、このような設定をしなくても丁合い印刷を使用できます。

「印刷レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 拡大縮小印刷
- 複数ページレイアウト
- 分割拡大印刷

[拡大縮小印刷]

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定できます。通常使用される拡大・縮小率を指定できます。[詳細]をクリックすると[拡大縮小印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- 拡大/縮小率
  50～200%の範囲で設定できます。
- クイック設定
  定形用紙から拡大／縮小を設定します。
- 出力用紙サイズ
  印刷する用紙サイズを選択します。

[複数ページレイアウト]

複数ページレイアウトは、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。[詳細]をクリックすると[複数ページレイアウト印刷]ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。

- ページ配置
  ページの配置順を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷］

分割拡大印刷は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。

- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

このプロパティシートは両面印刷と製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し詳細な設定ができます。

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「拡大縮小印刷」、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット(型番：PR-L9200C-DL)を装着していること
- ［メイン］シートの用紙種別で「普通紙/再生紙」が選択されていること、または手差しトレーに設定されていること
- 設定されている用紙サイズが特A3、A5、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷します。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0〜20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように2つ折りの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。

- 製本印刷
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。すべてのページに配置する、右ページのみに配置する、左ページのみに配置するの3通りから選択できます。
- 印刷の順序
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］を選択すると右開きの本(和書)になります。通常は左開き(洋書)の順番です。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。 ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関してはユーザーズマニュアルの「ウォーターマークの登録」を参照ください。

- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態(オプション、ホッパー、トレー)を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合[最新の状態に更新]をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリントの機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

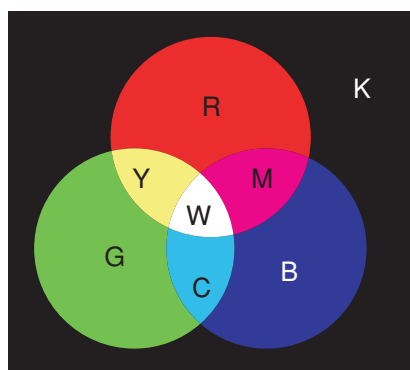
カラー印刷の調整

印刷を行う際には、カラー印刷に関するさまざまな設定ができます。設定は、[メイン]シートの[プリセット詳細/登録]をクリックし、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上で行います。ここではWindows 98 日本語版の環境で説明します。

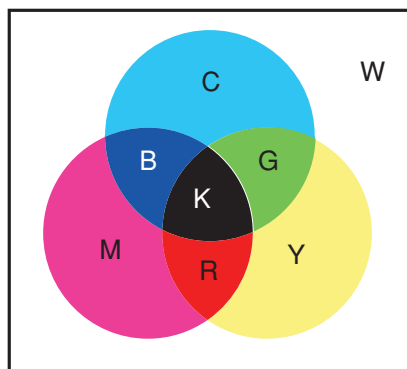
カラー印刷の基礎知識

色の表現方法

ディスプレイでの色の表現方法

ディスプレイ、スキャナなどの機器では、色を表現するのに、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)の光の3原色を使用しています。下に示すようにR、G、B、3色を混ぜ合わせることによりC(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)という別の3色を得ることができます。光の3原色を混ぜ合わせることにより、様々な色を表現できることから加法混色と呼びます。加法混色の場合、RGB100%強度の光をすべて混ぜ合わせると白に、R、G、Bの光ををまったく使用しないと黒になる性質を持っています。

上記では、RGB100%強度の光を混ぜ合わせる場合を示していますが、実際にはRGBそれぞれ256階調の色の強度を表現できることが一般的です。RGBそれぞれ256階調の色の強度を表現でき、それぞれを混ぜ合わせることで別の色を表現できるので、256×256×256=約1670万色の表現が可能ということになります。

プリンターでの色の表現方法

プリンター、印刷機などの機器では、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の3原色を使用して色を表現します。例えば、印刷物にCを印刷するとRの光を吸収します。同様に、YはBをMはGを吸収する性質を持ち、この特性を利用することにより色を表現していきます。光を吸収することにより色を表現するため、減法混色と呼びます。減法混色の場合、CMYすべてを100%印刷すると、すべての光を吸収して黒となります。また、何も印刷しないと光を全く吸収せず、白となります。

上記は、CMYを100%印刷した場合を示していますが、各色毎に階調を有しています。Color MultiWriter 9200Cの場合には各色とも256階調の階調性を有しているので、256×256×256=約1670万色の印刷が可能となっています。また、Color MultiWriter 9200Cの場合には、黒を正しく再現するため等の理由により、CMYの3原色以外に、K（ブラック）を加えて色を表現しています。

カラーマッチングについて

前項で説明したように、ディスプレイとプリンターとでは、色の表現方法が異なります。したがって、プリンターで印刷する色をディスプレイで表示されている色に合わせるには、カラーマッチングと呼ばれる手法を用いてRGB色とCMY色のマッチングを行う必要があります。RGB色による色再現範囲とC、M、Y色による色再現範囲は異なっています。異なる色再現範囲に対してカラーマッチングを行うわけですが、 Color MultiWriter 9200Cでは、様々なカラーマッチング手法を選択して色合わせを行うことができます。

ここでは、 Color MultiWriter 9200Cがサポートしているカラーマッチングの中から、以下の2つを説明します。

● sRGB

同じRGBを使用したディスプレイでもディスプレイごとに表現できる色は微妙に異なります。sRGBは、平均的なディスプレイのRGB色再現領域をCIE XYZ*という表色系で数値的に規定したものです。プリンターの色再現領域をこのsRGBの色空間に対応させることにより、平均的なディスプレイの色との色合わせを実現することができます。

＊　CIE（国際照明委員会）にて、定められた表色系で、CIE 1931標準表色系と呼ばれています。RGB表色系がデバイス毎に色再現領域が異なるのに対して、デバイスに依存しない表色系です。

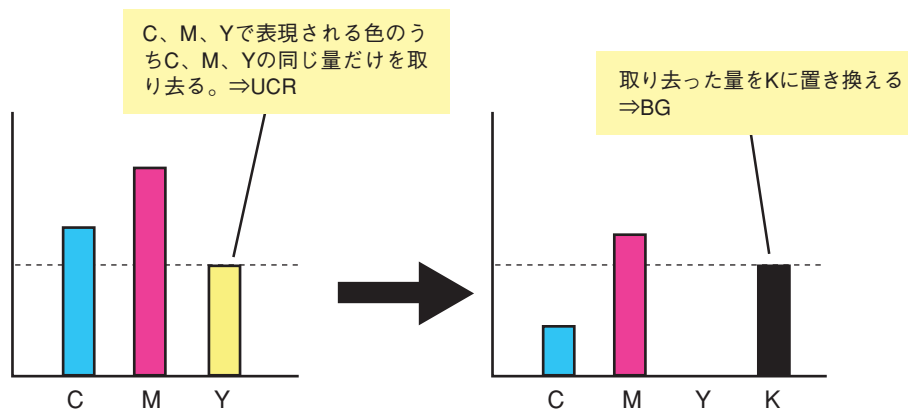
● ICM

Windows 95/98/2000にてサポートしているカラーマッチングシステムで、Image Color Matchingを意味します。写真のようなビットマップイメージに対してのみ有効なカラーマッチングシステムで、Windowsが持つカラーマッチングシステムにプリンターの特性を書き込んだプロファイル（ICC Profile）を与えることでプリンターに最適なカラーマッチングを行います。

UCR/BGについて

「色の表現方法」で説明したように、プリンターなどの機器ではCMYを3原色として色を表現していますが、Color MultiWriter 9200Cでは、CMYKの4色を使用して色を表現しています。C、M、Yを重ね合わせることにより理論的にはKを表すことができるにもかかわらず、Color MultiWriter 9200CでKを使用しているのは主に以下の理由からです。

- C、M、Yトナーにわずかな不純物が含まれるため、C、M、Yを重ね合わせても純粋なKとはならず、Kを使用した方が高品質に印刷することが可能となるため
- C、M、Yの重ね合わせをK1色で置き換えることができるため、トータルのトナー消費量を抑えることができ、ランニングコストが安くできるため

このような理由からColor MultiWriter 9200Cでは、UCR(Under Color Removal)とBG(Black Generation)という手法を用いてC、M、Y、Kの4色で色を表現しています。単純なUCR/BGは、以下のようになります。

実際には、このUCR/BGによって再現できる色が異なり、単純にCMYをKに置き換えるだけではきれいな印刷結果を得ることはできません。Color MultiWriter 9200Cでは、写真向けに階調の連続性を重視したUCR/BGとグラフ／ドキュメント向けにグレー色の再現性を重視したUCR/BGを使い分けることにより、それぞれの印刷物に適した色再現を実現しています。

ハーフトーンについて

Color MultiWriter 9200Cは、CMYK各色に256階調の色再現性を持ち、約1670万色フルカラーの印刷結果を実現しています。階調表現にはハーフトーンスクリーンという手法を用いています。ハーフトーンスクリーンとは、階調の表現に数個のドットを1つの階調表現の単位として色表現を行う手法です。

この階調表現の単位は、ハーフトーンセルと呼ばれます。一般的に、ハーフトーンセルが大きいとドットの数が多くできるため階調表現能力が有利になりますが、その反面ハーフトーンセルの間隔が大きくなるためドットの目立つ粒状感が悪い印刷結果となります。逆に、ハーフトーンセルが小さいとドットは目立たなくなり粒状感は向上しますが、階調表現能力が不利になります。

Color MultiWriter 9200Cでは、NEC独自の階調表現技術により小さいハーフトーンセルで圧倒的な階調表現力を実現し、粒状感と階調表現能力を両立した階調優先ハーフトーン(約200lpi*)と階調優先ハーフトーンよりさらにハーフトーンセルを小さくして色文字の再現性にこだわった解像度優先ハーフトーン(300lpi*)を用意し、印刷物にあった印刷環境を提供しています。

* lpi(line per inch)とは、ハーフトーンセルの細かさを表す単位で、25.4mm(1インチ)の長さに何個のハーフトーンセルが存在するかを示します。数字が大きいほどハーフトーンセルが細かく、粒状感が少なく、細部まで正確に表現できることを示します。

きれいに印刷するためのこつ

印刷ドキュメントに適した印刷モードで印刷する

Color MultiWriter 9200Cは、色々な印刷に対応できるように様々なカラーマッチング、UCR/BG、ハーフトーンを用意しています。最適な印刷モードを選択して印刷してください。印刷モードの詳細は、カラー調整を参照してください。

印刷する写真データの解像度を確認する

写真データを印刷する場合には、元になるデータの解像度が重要となります。一般に、ハーフトーンセルの解像度の倍の解像度があれば、十分にきれいに印刷することが可能であると言われています。Color MultiWriter 9200Cの場合には、階調優先のハーフトーンセルは、約200lpiですので、400dpi程度の解像度の写真データであれば、十分きれいに印刷できます。400dpi以上の解像度のデータでもきれいに印刷することはできますが、印刷データが非常に大きくなるため、印刷速度の低下につながる可能性があり、おすすめできません。逆に、印刷データの解像度が小さすぎると印刷速度は速くなりますが解像度不足のため、ガタガタとしたジャギーのある印刷結果となってしまいます。

印刷速度と印刷品質の両方を考えるのであれば、150dpi～400dpiを目安として画像の解像度を調整していただくことをお奨めします。

印刷モードについて

印刷モードは、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上にあります。次の設定が行えます。

- 印刷モードが「自動」、または「カラー」に選択された状態でカラー調整が「ドライバ補正」以外の設定になっている場合、印刷モードを「モノクロ」に変更するとカラー調整の設定は自動的に「ドライバ補正」に変更されます。
- 「自動」に設定しておくことで、印刷するページがカラーかモノクロかを自動的に判別して最適な印刷処理を選択します。通常は「自動」に設定しておくことをお勧めします。

- 自動
  印刷するページに含まれる描画データに応じてカラー／モノクロ描画処理を自動で切り替えて印刷します。描画の切り替えはページ毎に行います。データによってはカラー／モノクロの描画の切り替えがうまくいかない場合があります。カラーデータの少ないページもカラーモードで印刷されることがあるため、印刷ログではカラーとして扱われることがあります。初期設定では、この設定になっています。

- モノクロ
  印刷するページに含まれる描画データに関係なく、モノクロ描画処理を行います。印刷ページがカラーの場合、モノクロに変換して印刷します。

- カラー
  すべてのページをカラーモードで印刷します。カラーデータのないページもカラーモードで印刷されるため、印刷ログではカラーとして扱われます。

カラー調整

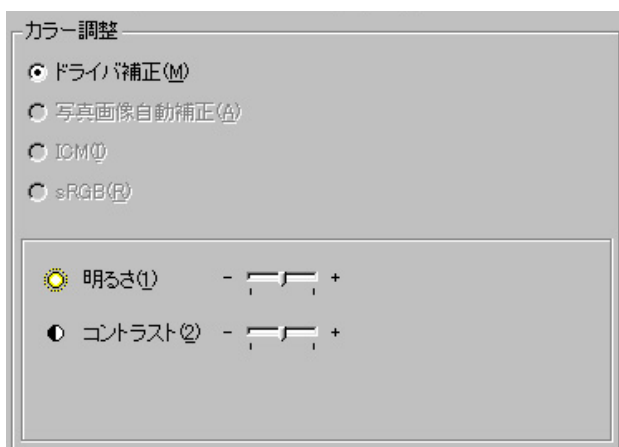
カラー調整は、[プリセット詳細/登録]ダイアログボックス上にあります。印刷するジョブに補正する場合に設定します。すべてのOSと共通していますが、ここではWindows 98 日本語版の環境で説明します。

ドライバ補正

印刷モードが自動、カラーの場合

印刷データの色補正をドライバーが行います。

補正方法(写真画像、またはグラフ／ドキュメント)、明るさ、コントラスト、彩度、赤・緑・青のカラーバランスを手動で調整できます。画像を主体とした印刷対象を補正する場合は「写真画像」を選択し、グラフや文字を主体とした印刷対象を印刷する場合は「グラフ／ドキュメント」を指定してください。

通常は、このモードを選択していれば、さまざまなドキュメントをきれいに印刷することができます。

印刷モードがモノクロの場合

印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、設定できる項目が制限されます。

ドライバ補正を選択すると次のような画像の編集ができます。

明るさ(＋)

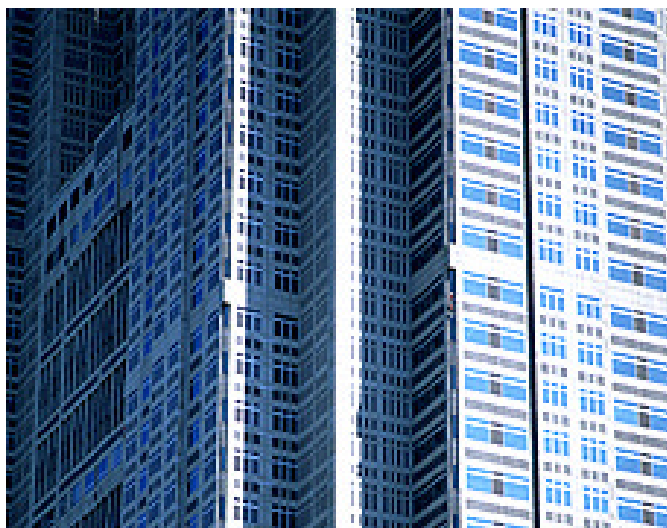
● 明るさ

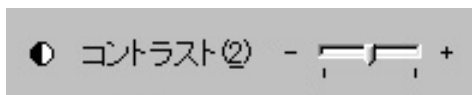
印刷結果の「明るさ」を±5段階で調整できます。実際の画像の「明るさ」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。

標準状態

明るさ(ー)

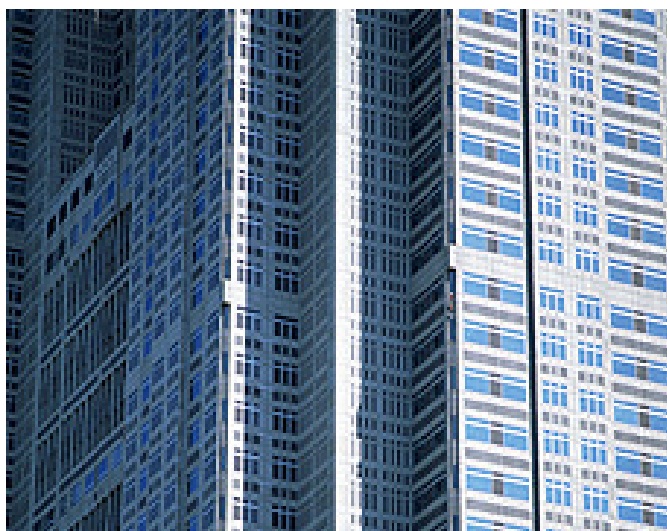
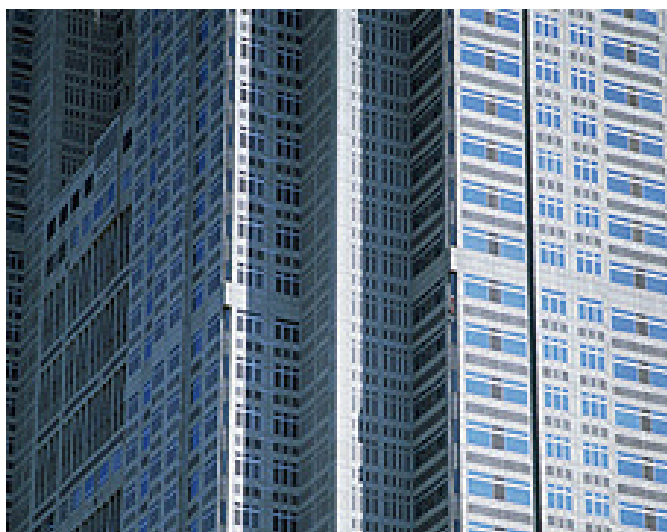
コントラスト(＋)

標準状態

コントラスト(－)

● コントラスト

コントラスト(2)　－　＋

印刷結果の「コントラスト」を±5段階で調整できます。実際の画像の「コントラスト」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。

彩度（＋）

標準状態

彩度（－）

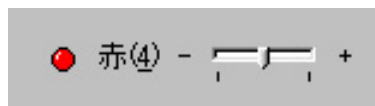
● 彩度

印刷結果の「彩度」を±5段階で調整できます。実際の画像の「彩度」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

赤（＋）

標準状態

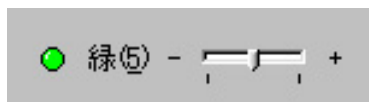
赤（－）

● カラーバランス（赤）

印刷結果の「カラーバランス（赤）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（赤）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

緑(＋)

標準状態

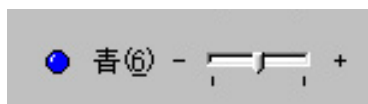
緑(ー)

- カラーバランス(緑)

印刷結果の｢カラーバランス(緑)｣を±5段階で調整できます。実際の画像の｢カラーバランス(緑)｣が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

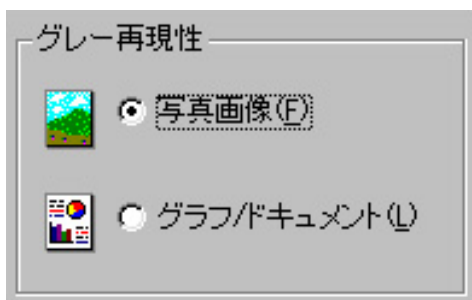
真ん中が標準状態、上が｢＋｣に調整した場合、下が｢ー｣に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが｢モノクロ｣に設定されている場合は、編集できません。

青(＋)

標準状態

青(ー)

● カラーバランス(青)

印刷結果の「カラーバランス(青)」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス(青)」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。

● グレー再現性
UCR/BGの設定を変更します。この設定を変更することで、ドキュメントの特徴に応じて最適な印刷を行うことができます。

◇ 写真画像
印刷ドキュメントに写真が多く含まれている場合に選択します。階調表現の連続性を重視したUCR/BGを行います。

◇ グラフ／ドキュメント
印刷ドキュメントに文字／グラフなどが多く含まれる場合に選択します。グレー色の再現性を重視したUCR/BGを行います。

印刷モードが「モノクロ」、用紙種別が「OHP」、または印刷品質が「トナーセーブ」に設定されている場合は、設定できません。

写真画像自動補正

自動補正前

自動補正後

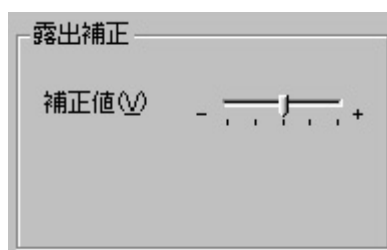
印刷する写真画像を解析し、自動的に画像を調整して印刷します。原画像が暗いなどの理由で美しく印刷できない場合に適した印刷モードです。

写真は自動補正を行う前後の印刷結果のイメージを示します。

露出補正のスライダーバーで補正の強度を微調整できます。スライダーバーが中央にある場合は、自動的に補正の強度を調整します。補正したい画像が暗い場合は、スライダーバーを左に移動させると印刷結果が明るくなります。補正したい画像が明るい場合は、スライダーバーを右に移動させると印刷結果が暗くなります。
通常は中央に設定しておいてください。
自動的に画像を判別するため、処理に時間がかかる場合があります。

ICMによる補正

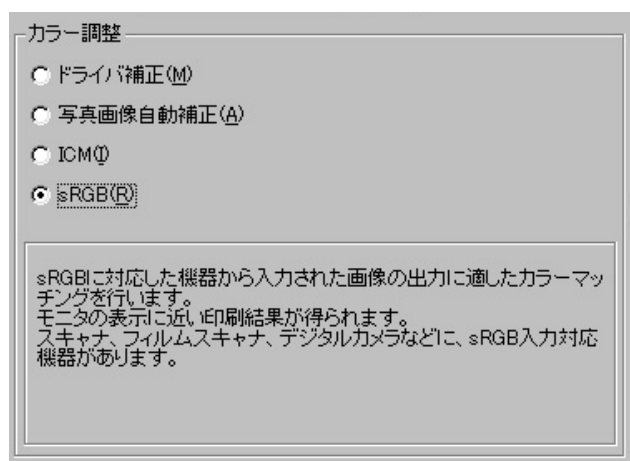
カラー調整
- ドライバ補正(M)
- 写真画像自動補正(A)
- ICM(I)
- sRGB(R)

Windowsに搭載されたICM(Image Color Matching)を使用してカラーマッチングを行います。

印刷データの補正をWindowsが提供する補正機能を使って行います*。下段枠内にICMに関する説明が表示されます。Windows NT 4.0では未サポートのため、本設定は表示されません。

＊ ICMによるカラーマッチングは写真などのイメージに対してのみ有効です。

sRGBによる補正

カラー調整
- ドライバ補正(M)
- 写真画像自動補正(A)
- ICM(I)
- sRGB(R)

sRGBに対応した機器から入力された画像の出力に適したカラーマッチングを行います。
モニタの表示に近い印刷結果が得られます。
スキャナ、フィルムスキャナ、デジタルカメラなどに、sRGB入力対応機器があります。

sRGBに準拠したカラーマッチングを行います。ティスプレイの表示に近い印刷を行う場合に選択します。
下段枠内にsRGBに関する説明が表示されます。

ハーフトーン指定

ハーフトーンの処理方法を設定します。用紙種別と印刷品質の組み合わせにより異なります。また、用紙種別と印刷品質の組み合わせを変更することにより、現在選択しているハーフトーンがサポートされなくなる場合は、デフォルト(階調優先)のハーフトーンを選択し、それ以外の場合はそれまでのハーフトーンを選択し続けます。設定できるハーフトーン指定は以下のとおりです。

● 階調優先

印刷品質が「速度優先」、「画質優先」の場合に選択できます。粒状感と階調表現を両立したハーフトーンです。写真画像、グラフィック、文字などが混在したドキュメントを印刷する場合に適しています。

● 解像度優先

印刷品質が「速度優先」、「画質優先」の場合に選択できます。ハーフトーンセルの大きさを小さくすることにより、色のついた文字などを印刷する場合に適しています。

● パターン

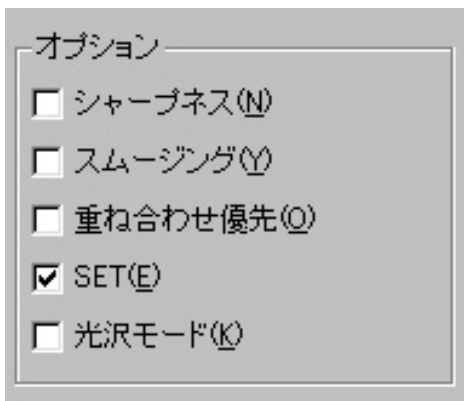
印刷品質が「文字優先」、「トナーセーブ」の場合、および用紙種別が「OHP」の場合にはそれぞれの印刷モードに適したハーフトーンが自動的に選択されます。設定変更はできません。

用紙種別と印刷品質によるハーフトーンの組み合わせは次の表のとおりです。

用紙種類	印刷品質	パターン	階調優先	解像度優先
普通紙／再生紙、厚紙、コート紙、はがき、ラベル紙、封筒	速度優先	−	○	○
	文字優先	◎	−	−
	画質優先	−	○	○
	トナーセーブ	◎	−	−
OHP	文字優先	◎	−	−

○：ハーフトーンで選択できる。
◎：自動的に選択される。

オプション

オプション
- シャープネス(N)
- スムージング(Y)
- 重ね合わせ優先(O)
- SET(E)
- 光沢モード(K)

オプションでは以下の設定ができます。

- シャープネス
  フルカラービットマップ画像に輪郭強調処理を行います。輪郭強調処理により、ピンボケの写真などの印刷結果が改善されます。
- スムージング
  フルカラービットマップ画像を拡大・縮小する場合に、平滑化処理を行います。解像度が小さいビットマップや解像度が大きすぎるビットマップを印刷する場合、より美しく印刷されます。
  ただし、ビットマップ画像をプリンターの解像度まで拡大して印刷するため、転送データが増えるので、印刷時間が長くなることがあります。
- 重ね合わせ優先
  印刷処理で画像の重ね合わせ処理を優先させます。印刷結果の文字やグラフィックオブジェクトの色合いや模様が画面上と大きく異なったり、抜け落ちたりする場合に指定します。
- SET機能
  SET（Sharp Edge Technorogy）機能を使用してテキストやグラフィックスの印刷品質を向上させます。

印刷品質が「文字優先」で印刷モードが「カラー」の場合、および印刷品質が「トナーセーブ」の場合は設定できません。すでに、SETが設定されている状態で印刷品質と印刷モードが変更された場合はSETの指定は解除され、設定できなくなります。

- 光沢モード
  光沢感のある印刷を行います。写真のように光沢感のある印刷を行う場合に指定します。特定の用紙種別で有効になります。

用紙種別が「厚紙」、「コート紙」、「はがき」が選択されている場合に設定できます。すでに、光沢モードが設定されている状態で用紙種別が変更された場合は光沢モードの指定は解除され、設定できなくなります。

プリセットメニューの設定内容

本プリンタードライバーのプリセットメニューには、すでに7個の設定が登録されています(自由登録を含む)。それぞれの設定内容について以下の表に示します。プリセットメニューは、最大で20個まで登録できます。

プリセットメニューの設定内容(1/2)

タイトル	設定項目	既定値
DTP速度優先	用紙種別	普通紙/再生紙
	印刷品質	速度優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ:0 コントラスト:0 彩度:0 カラーバランス:0 グレー再現性:グラフ/ドキュメント
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET:ON
DTP画質優先	用紙種別	普通紙/再生紙
	印刷品質	画質優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ:0 コントラスト:0 彩度:0 カラーバランス:0 グレー再現性:グラフ/ドキュメント
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET:ON
文書	用紙種別	普通紙/再生紙
	印刷品質	文字優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ:0 コントラスト:0 彩度:0 カラーバランス:0 グレー再現性:グラフ/ドキュメント
	ハーフトーン	パターン
	オプション	SET:OFF

プリセットメニューの設定内容(2/2)

タイトル	設定項目	既定値
写真速度優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	速度優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：写真画像
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
写真画質優先	用紙種別	普通紙／再生紙
	印刷品質	画質優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	写真画像自動補正
	イメージ設定	露出補正：0
	ハーフトーン	階調優先
	オプション	SET：ON
OHP	用紙種類	OHP
	印刷品質	文字優先
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0
	ハーフトーン	パターン
	オプション	SET：OFF

PrintAgent

この章ではPrintAgentが正常に機能するための注意事項、PrintAgentが提供する各機能の設定方法を説明します。なお、説明はWindows 98の画面を使っています。OSによる機能の違い、制限事項があった場合はそのつど説明を付け加えています。

ソフトウエアの起動

PrintAgentはローカルプリンターの印刷、管理に加えネットワークプリンターで印刷される方とネットワークプリンターを管理される方のためにさまざまな機能を提供します。PrintAgentの機能は次のソフトウエアを使ってご利用になれます。

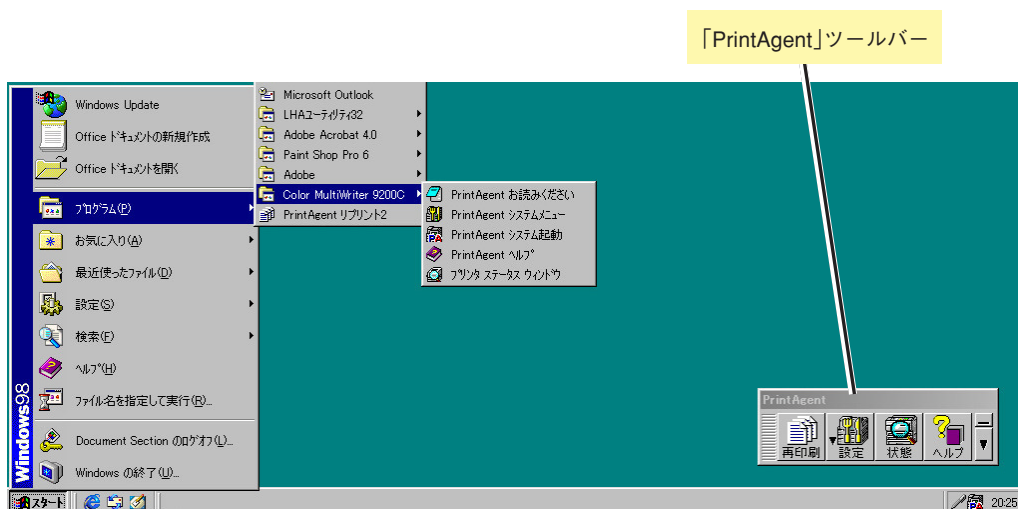
これらのソフトウエアはOSのデスクトップ上([スタート]ボタン、またはタスクバーのアイコン)から呼び出すことができます。

[スタート]ボタンから

- **PrintAgentシステムメニュー**
  「PrintAgentシステムメニュー」ダイアログボックスが起動されます。このダイアログボックスではPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。

- **PrintAgentシステム起動**
  PrintAgentのシステムを起動させます。通常はOSが立ち上がると自動的に起動する設定になっています。

- **プリンタステータスウィンドウ(PSW)**
  現在使用しているプリンターの状態(用紙なしやカバーオープンなど)や印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声*で確認することができます。「PrintAgent」ツールバーから起動することもできます。

- **PrintAgent リプリント2**
  一度印刷したドキュメントをアプリケーションの再起動をすることなく、再印刷することができるアプリケーションです。

[Color MultiWriter 9200C]のメニュー

- **プリンター覧***
  お使いのコンピューターにインストールされているプリンターを一覧形式で表示し、各プリンターの使用状況が確認できます。

- **プリンタ管理ユーティリティ**
  お使いのコンピューターが利用できるプリンターを一覧形式で表示し、プリンターやLANボード、およびLANアダプターを設定・管理できます。プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールした方のみご利用になれます。

＊ 標準ではインストールされません。

［PrintAgent管理ツール］フォルダー

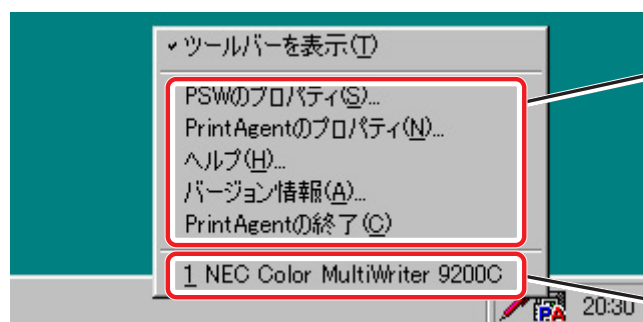
タスクバーのアイコンから

- ツールバーを表示
  「PrintAgent」ツールバーを表示させることができます。「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能をボタン化してひとまとめにし、より便利になったリプリント「PrintAgent リプリント2」を追加したものです。

- プリンタステータスウィンドウ（PSW）
  プリンターの状態（用紙なしやカバーオープンなど）や印刷の進行状況をコンピューターの画面や音声＊で確認することができます。現在ご使用になっていないプリンターのPSWも起動することができます。ご使用のコンピューターでPSWの対象となっているPrintAgent対応プリンターが列挙されますので希望のプリンターをクリックすることによって該当のプリンターのPSWを起動できます。

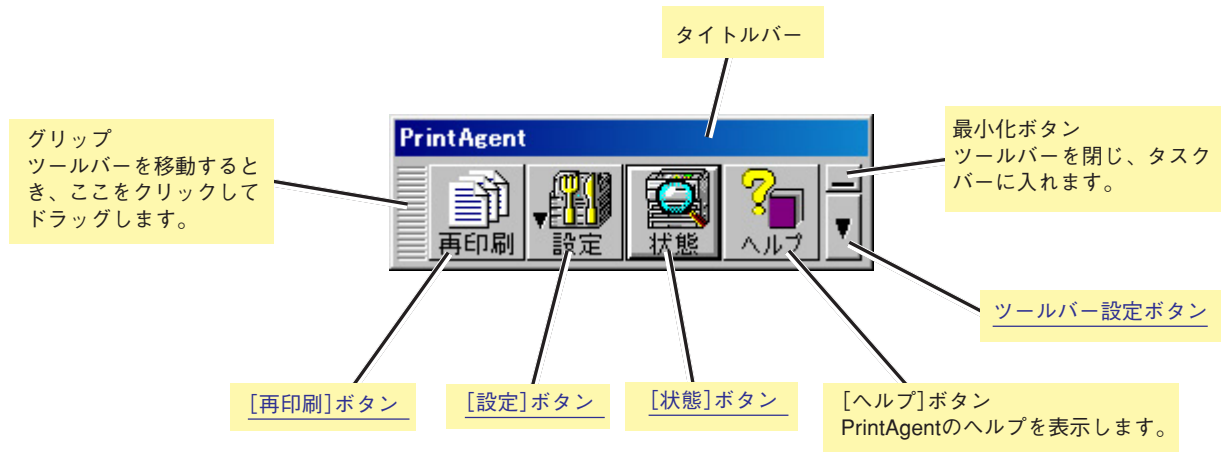
  ＊ 標準ではインストールされません。

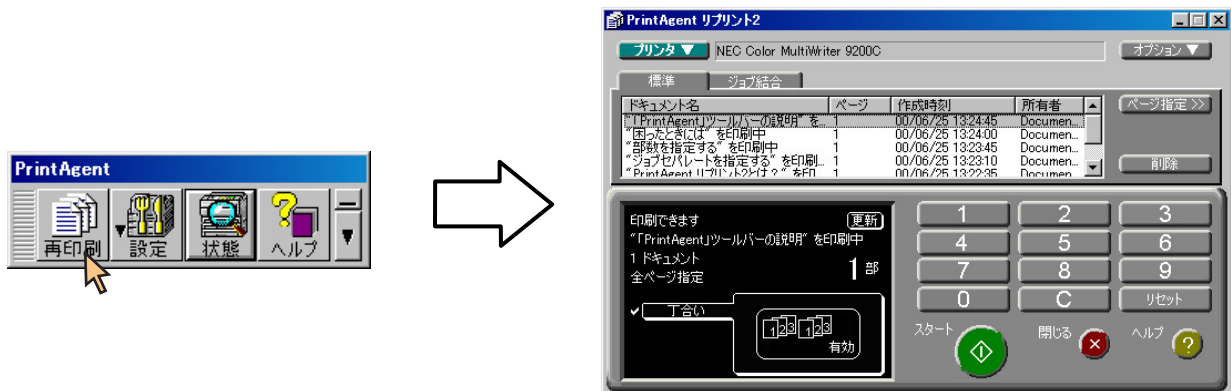
- システムメニュー
  PrintAgentをネットワークで効率よく運用していただくための設定ダイアログボックスを直接起動します。またPrintAgentシステムを直接終了することができます。

タスクバーのアイコン（左クリック）

タスクバーのアイコン（右クリック）

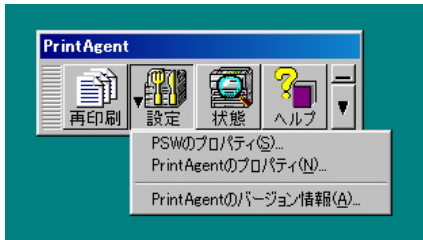
「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能のうち「再印刷」、「設定」、「状態」、「ヘルプ」に関する4項目をボタン化し、ツールバーにまとめたものです。それぞれのボタンをクリックするだけで簡単に各機能を呼び出すことができます。

「PrintAgent」ツールバーはタスクバーのアイコンをダブルクリックするかタスクバーのアイコンのメニューから呼び出すことができます。

再印刷ボタン

このボタンをクリックすると[PrintAgent リプリント2]が起動され、再印刷を行うことができます。このウィンドウを使うとPSWから起動するリプリント機能よりさらに便利な機能がご利用になれます。詳細は「PrintAgentリプリント2」をご覧ください。

[PrintAgentリプリント2]ダイアログボックス

設定ボタン

PrintAgentの設定に関するコマンドを表示します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

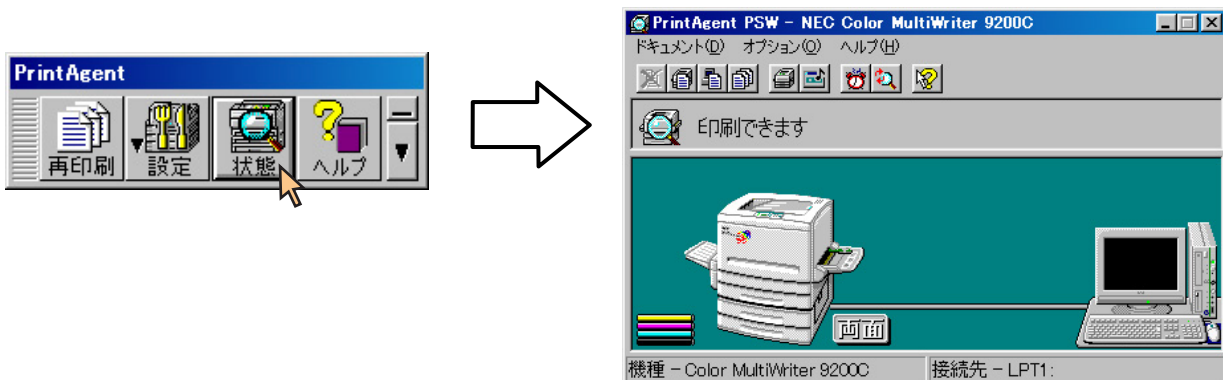
PrintAgentのプロパティ

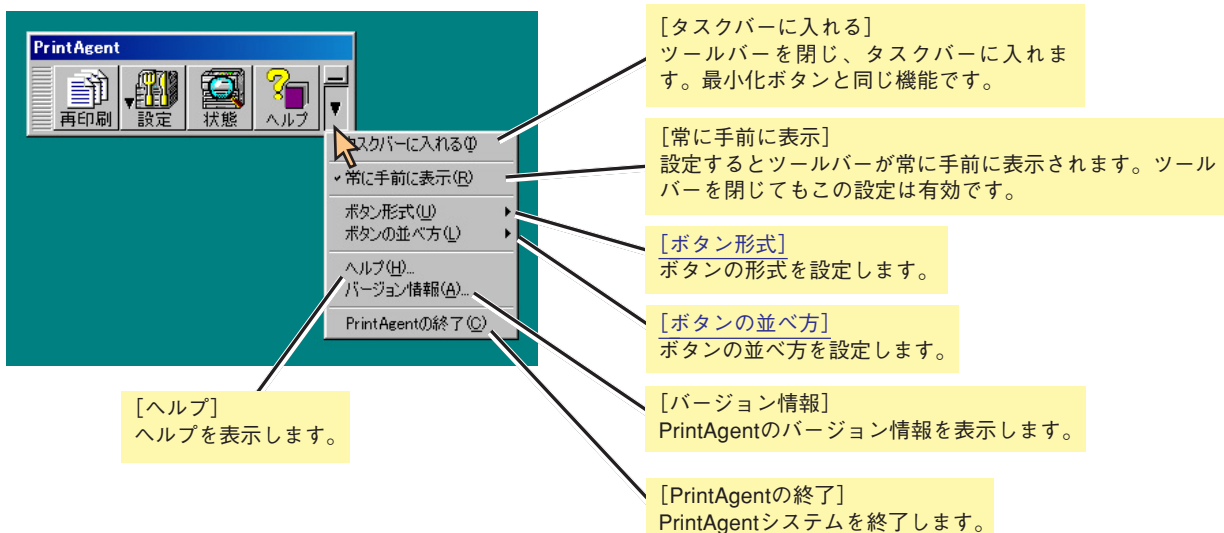
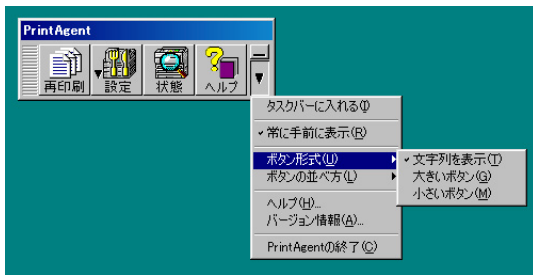
[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

PrintAgentのバージョン情報

PrintAgentのバージョンが表示されます。

状態ボタン

このボタンをクリックするとPrintAgentに対応しているプリンターをリスト表示します。希望のプリンター名をクリックするとプリンタステータスウィンドウが表示されます。

ツールバー設定ボタン

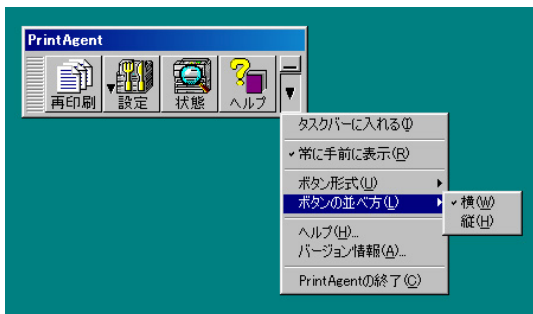
このボタンをクリックするとツールバーの表示形式などを設定するコマンドのメニューが表示されます。

ボタン形式

ボタンの形式を次の3種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

- 文字列を表示

- 大きいボタン

- 小さいボタン

「大きいボタン」、「小さいボタン」で表示した場合、またはツールバーを移動する場合はグリップをクリックしてドラッグします。

ボタンの並べ方

ボタンの並べ方を次の2種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

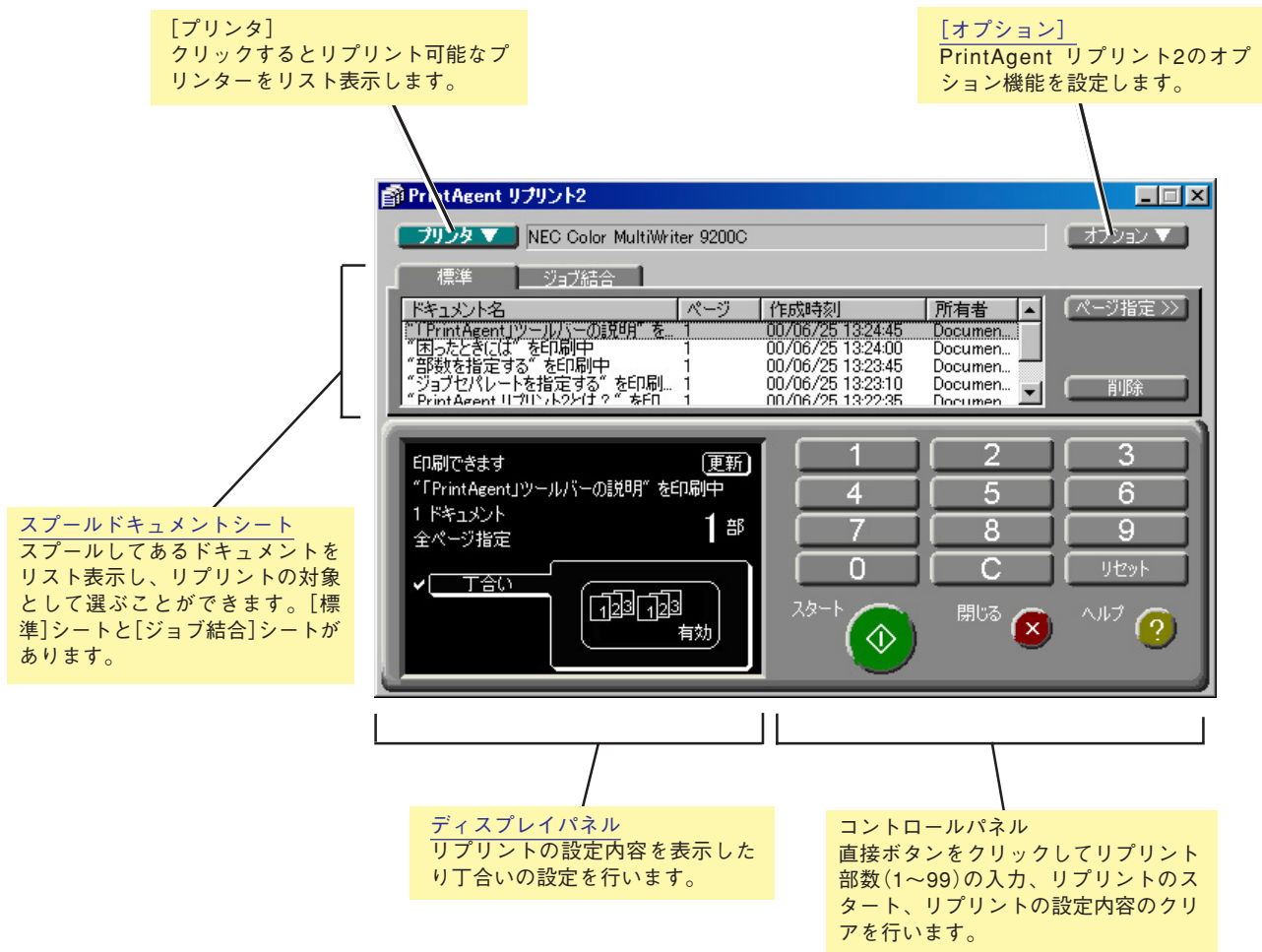
- 横

- 縦

PrintAgent リプリント2

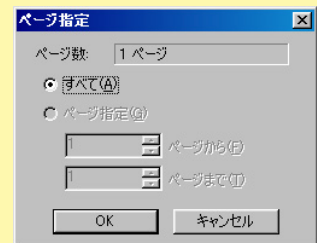
PrintAgentリプリント2は「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックしたときに起動されるソフトウエアです。[スタート]メニューの[プログラム]フォルダーからも起動することができます。

このソフトウエアを使うと、一度印刷したスプールファイルに保存されているドキュメントを組み合わせることができます(ジョブ結合)。また、スプールしてあるドキュメントを丁合い機能を使って再印刷することもできます。

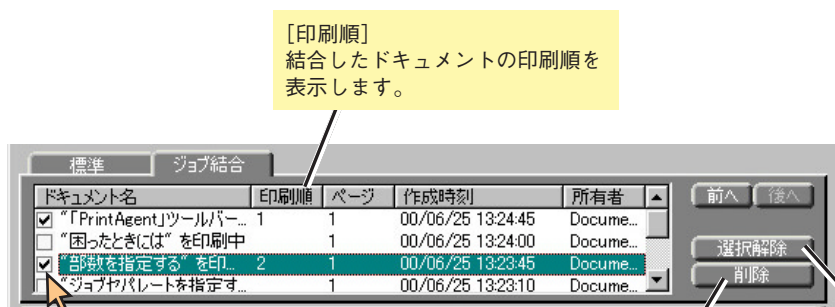
スプールファイルの制限や格納するフォルダなどリプリント機能の設定に関してはPSWから起動するリプリント機能と同じです。ここでは、PrintAgentリプリント2ソフトウエアの概要を説明します。このソフトウエアを使った実際の手順はユーザーズマニュアルをご覧ください。

スプールドキュメントシート

このシートは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスの設定に従って保存してあるドキュメントをリスト表示し、再印刷するドキュメントの選択、結合、印刷順の変更などを設定することができます。

標準シート

リスト中の希望するドキュメントを直接クリックし、ハイライト表示させることでリプリントするドキュメントとして選択することができます。

＊　[所有者]の項目は、クライアントコンピューターのときは表示されません。お使いになっているWindows環境がWindows 2000/NT 4.0の場合、Administrators権限がないユーザーは[所有者]の項目が表示されません。

ジョブ結合シート

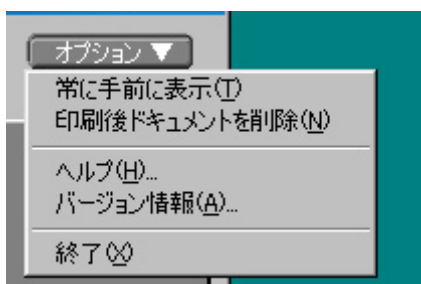
リスト中の希望するドキュメントのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けることでジョブ結合するドキュメントを選択することができます。

ディスプレイパネル

ディスプレイパネルはリプリントの設定内容を表示し、リプリント文書に対して丁合いの設定をすることができます。

[標準]シートで1ドキュメントを選択したときの画面

[ジョブ結合]シートで2ドキュメントを選択し、丁合い機能を有効にしたときの画面

［オプション］

［オプション］メニューはPrintAgent リプリント2のオプション機能を設定します。

常に手前に表示

設定するとPrintAgent リプリント2ウィンドウが常に手前に表示されます。

PrintAgent リプリント2を閉じても、この設定は有効です。

印刷後ドキュメントを削除

設定するとリプリント実行後、選択されていたファイルを削除します。

PrintAgent リプリント2を閉じても、この設定は有効です。

ヘルプ

PrintAgent リプリント2のヘルプが表示されます。

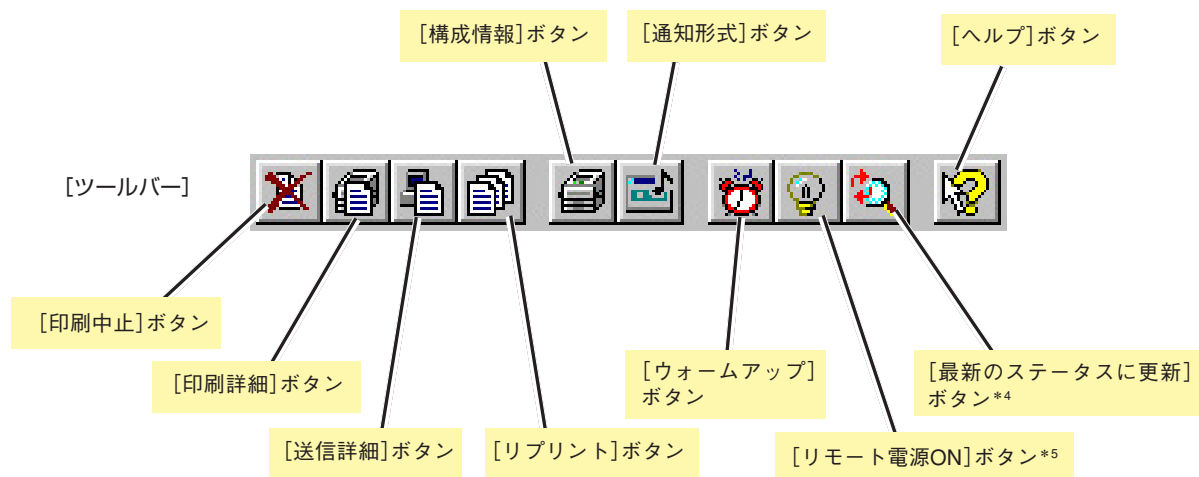
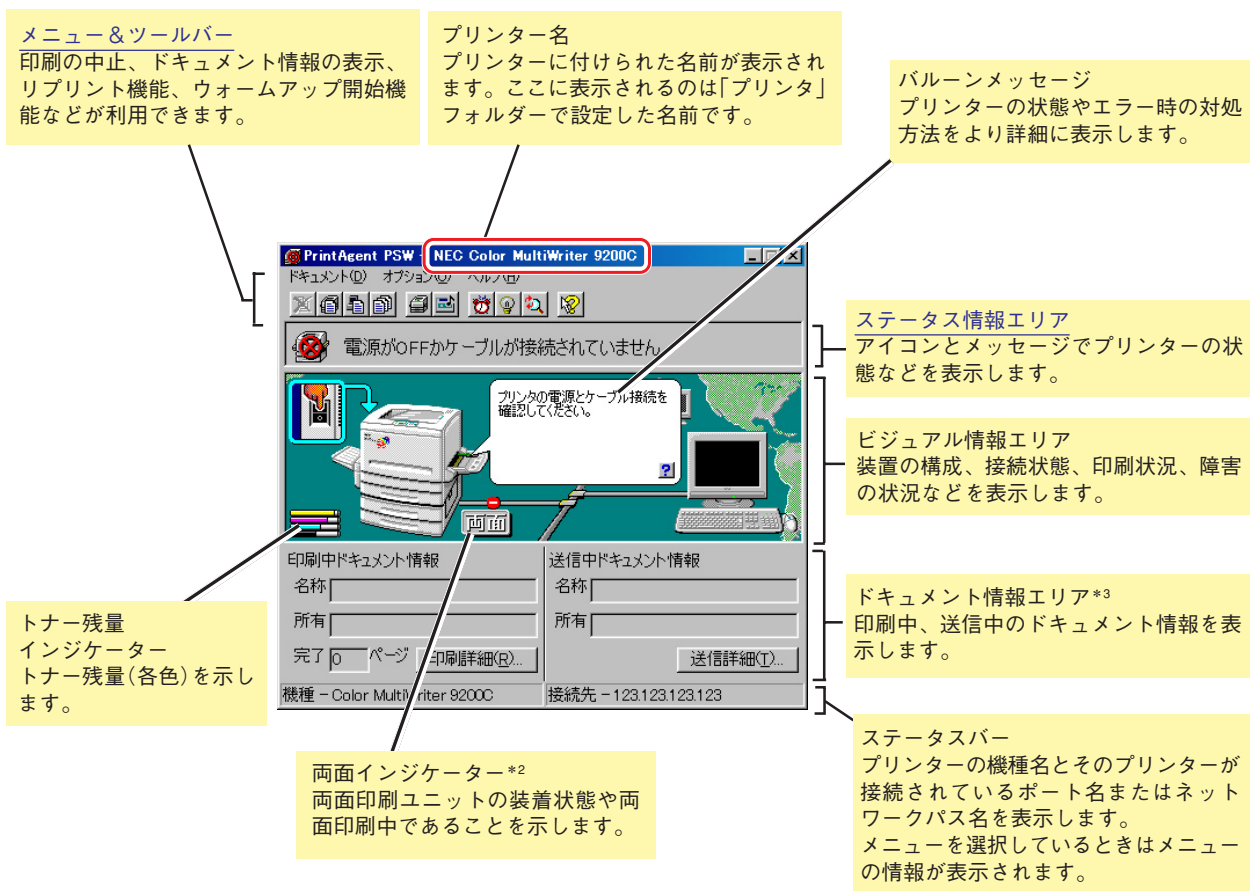
バージョン情報

PrintAgent リプリント2のバージョンが表示されます。

終了

PrintAgent リプリント2を終了します。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウ(PSW)は印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*1によるメッセージで通知します。また、印刷の中止の指示もこのウィンドウから行うことができます。

*1 音声機能は標準ではインストールされません。

*2 両面印刷ユニット(オプション)を装着したときのみ表示されます。

*3 初期設定では表示されません。ドキュメント情報エリアを表示させるには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[ドキュメント情報]をチェックしてください(「通知形式を変更する」参照)。

*4 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください(「通知形式を変更する」参照)。

*5 プリンターがリモート電源制御対応LANアダプター(型番PR-NP-03TR2)に接続されている状態で電源制御の設定が有効な状態に表示されます。

メニュー&ツールバー

メニューとツールバーを使うと印刷の中止、ドキュメント情報の表示、リプリント機能、ウォームアップ開始機能などが利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

ドキュメントを制御する

印刷の中止

ツールバーの[印刷中止]ボタンをクリックするか、[ドキュメント]メニューの[印刷中止]を選択すると送信中のドキュメントの印刷中止を行います。

PrintAgentをご使用の環境での印刷中止は、この「ジョブキャンセル」機能を使うことをお勧めいたします。ジョブキャンセルは、送信中の印刷データを削除し、印刷を取りやめることができます。すでに送られた印刷データは削除することができません。

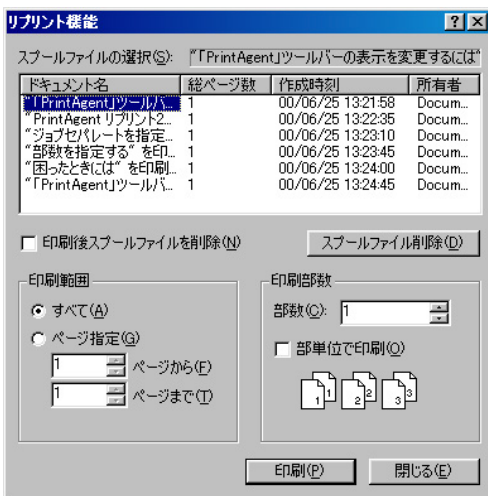
印刷中ドキュメントの表示

ツールバーの[印刷詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷詳細]を選択すると印刷中、印刷待ち、および受信中のドキュメント一覧を表示します。

送信中ドキュメントの表示

ツールバーの[送信詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[送信詳細]を選択すると送信中、送信待ちのドキュメント一覧を表示します。

リプリント機能を使う

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、PSWのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。

ツールバーのリプリントボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると[リプリント機能]ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使ってリプリントするドキュメントの設定を行います。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2 をご利用になると、より高機能な使い方ができます。リプリントはPrintAgent リプリント2 をお使いになることをお勧めします。

[スプールファイルの選択]

リプリントを行うドキュメントを選択します。

[印刷後スプールファイルを削除]

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

[印刷範囲]

[スプールファイルの選択]で選択されたドキュメントの印刷範囲を指定します。

[スプールファイル削除]

クリックすると[スプールファイルの選択]で選択したドキュメントを削除します。

[部数]

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます(1～99枚まで設定可能)。

[部単位で印刷]

印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷(丁合い印刷)するかどうかについて指定します。

[印刷]

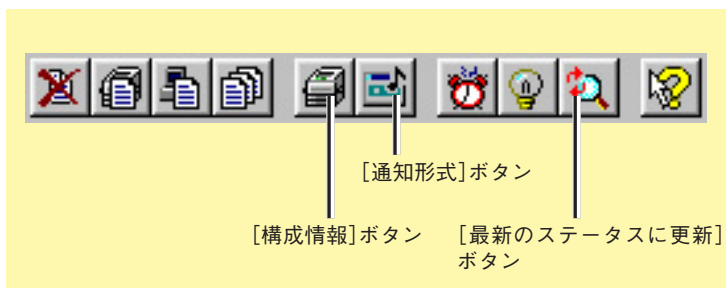
クリックすると再印刷を実行します。

[閉じる]

クリックすると再印刷を実行せずに、[リプリント機能]ダイアログボックスを閉じます。

すでに他のPrintAgent対応プリンターをご使用になり、PrintAgentをインストールしている場合に、Color MultiWriter 9200CのPrintAgentをインストールすると、リプリント機能のスプールファイルの「ドキュメント数」は、すでにインストールされているPrintAgentの設定値が10未満の場合は10、10以上の設定がされている場合はその設定値となります。

プリンターの構成情報を見る

ツールバーの[構成情報]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択するとプリンターの給紙構成、トナー残量、オプション、メモリーの情報を表示します。

常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

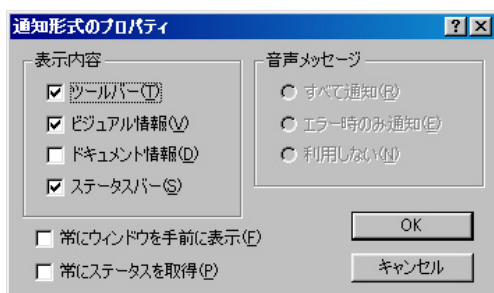
最新の情報に更新するにはツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

常に最新情報を取得したい場合はツールバーの[通知形式の設定]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[通知形式]を選択すると表示される[通知形式のプロパティ]ダイアログで[常にステータスを取得]をチェックしてください(「通知形式を変更する」参照)。

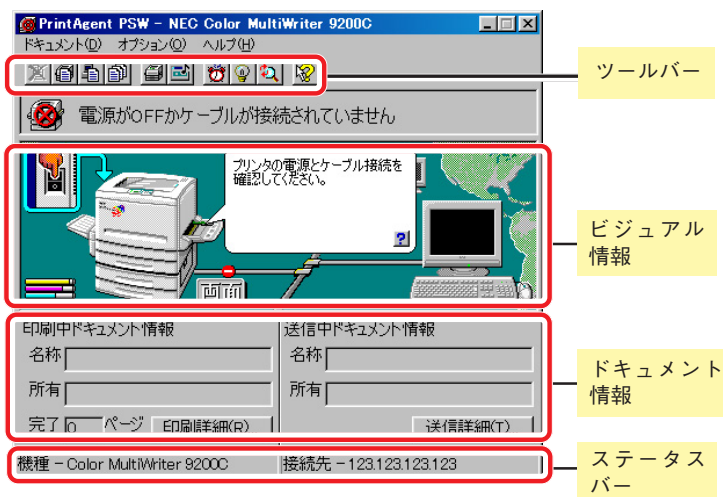
チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときはプリンターの構成情報が正しく表示されません。

通知形式を変更する

ツールバーの[通知形式]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択するとプリンタステータスウィンドウ(PSW)の通知形式を変更することができます。

表示内容を必要とする項目だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができたり、常にステータスを取得するかどうかなどを設定できます。

[表示内容]

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。初期設定では[ドキュメント情報]がオフになっています。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報*
- ステータスバー

* 初期設定では表示されません。

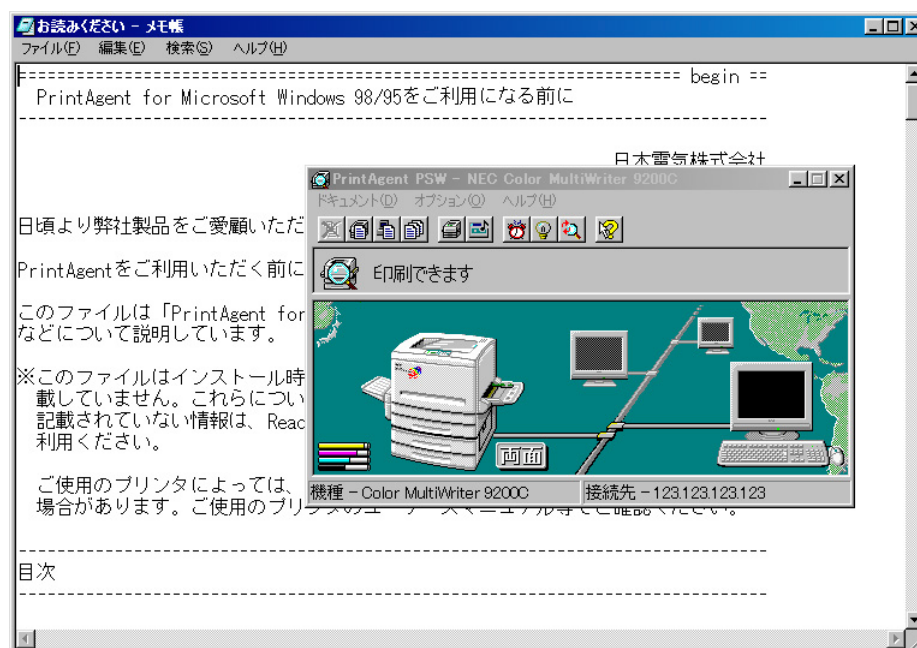
[音声メッセージ]

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない

- 音声メッセージ通知はインストール時に選択しないとご利用になれません。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は[音声メッセージ]で[利用しない]を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については「システムメニュー」をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

[常にウィンドウを手前に表示]

この項目をチェックしておくと一番手前にPSWが表示されるので、プリンタの状態を常に確認できます。

[常にステータスを取得]

この項目をチェックしておくと印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。ネットワーク共有プリンターの場合はサーバーで設定してください。

Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限を持つユーザーのみが設定を変更できます。

ウォームアップを行う

ツールバーの[ウォームアップ]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが、印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。さらに、通常状態で[ウォームアップ]ボタンを押すと節電状態に入るまでの時間をリセットすることができます。

ヒント

節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間は、プリンターの操作パネルによるメニューモードの[運用メニュー]で設定できます。

プリンターの電源をONする

ツールバーの[リモート電源ON]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONすることができます。

チェック

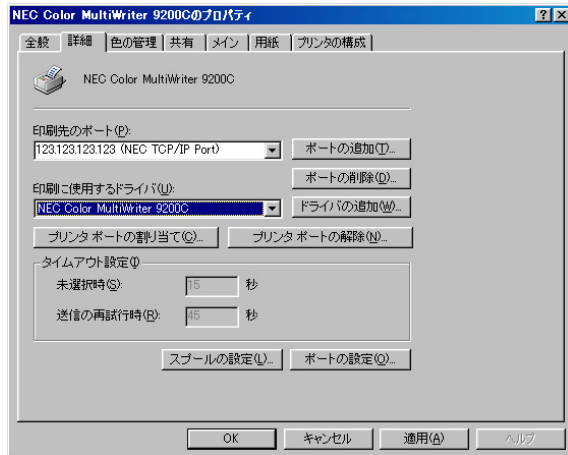
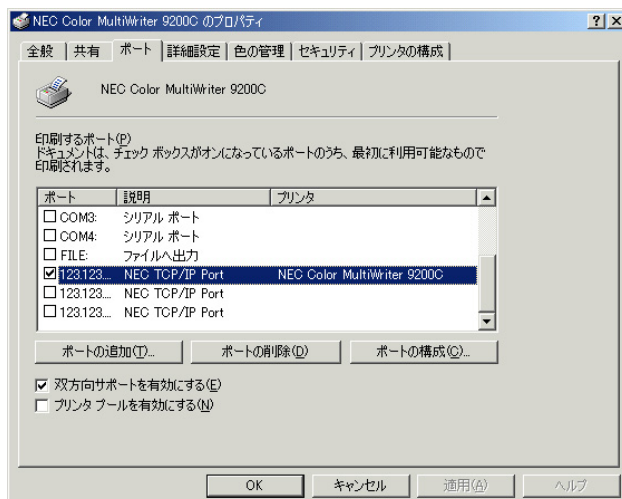
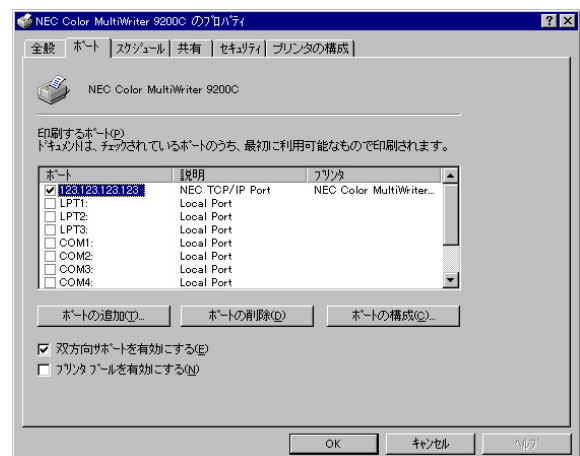
プリンターがリモート電源制御対応のLANアダプター(型番PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ利用できます。

PSWからはプリンターの電源をOFFすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンタ管理ユーティリティをご利用ください。詳しくはプリンタ管理ユーティリティのマニュアルをご覧ください。

PSWでリモート電源制御機能を利用するには

印刷先のポートとしてNEC TCP/IP Portを直接指定している場合は、以下の設定を行ってください。

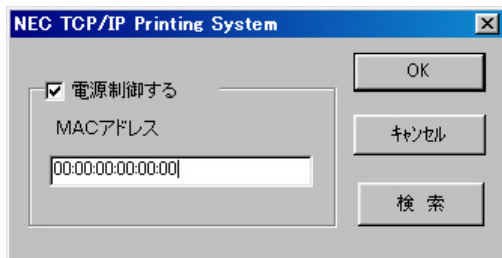
1. [プリンタ]フォルダーから対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、Windows 98/95の場合は[詳細]タブ、Windows 2000/NT 4.0の場合は[ポート]タブをクリックする。

それぞれ、以下のシートが表示されます。

Windows 98/95の場合

Windows 2000の場合

Windows NT 4.0の場合

2. Windows 98/95の場合は[ポートの設定]、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[ポートの構成]をクリックする。

Windows 98/95の場合は[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[NEC Network Port]ダイアログボックスが表示されます。

3. [電源制御する]をチェックする。

Windows 98/95の場合

Windows 2000/Windows NT 4.0の場合

4. [MACアドレス]を入力し[OK]をクリックする。

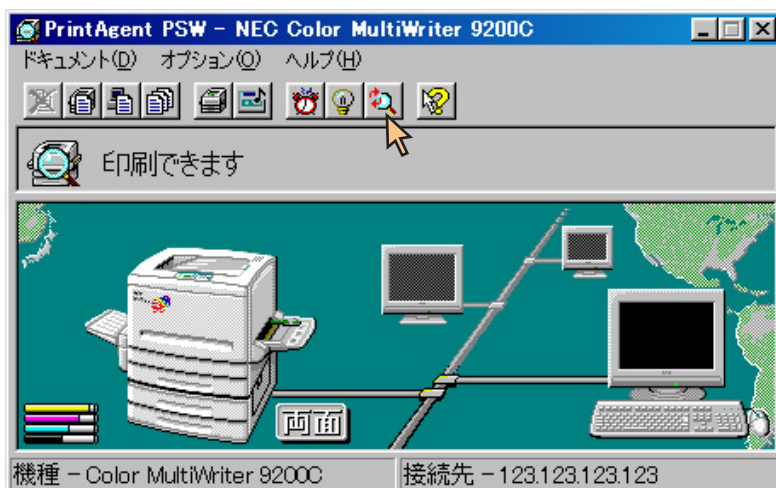
[検索]をクリックすると自動的にMACアドレスを検索できますが、プリンター本体およびLANアダプターの電源が入っている必要があります。

本機能はプリンターがリモート電源制御対応LANアダプター(型番：PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。

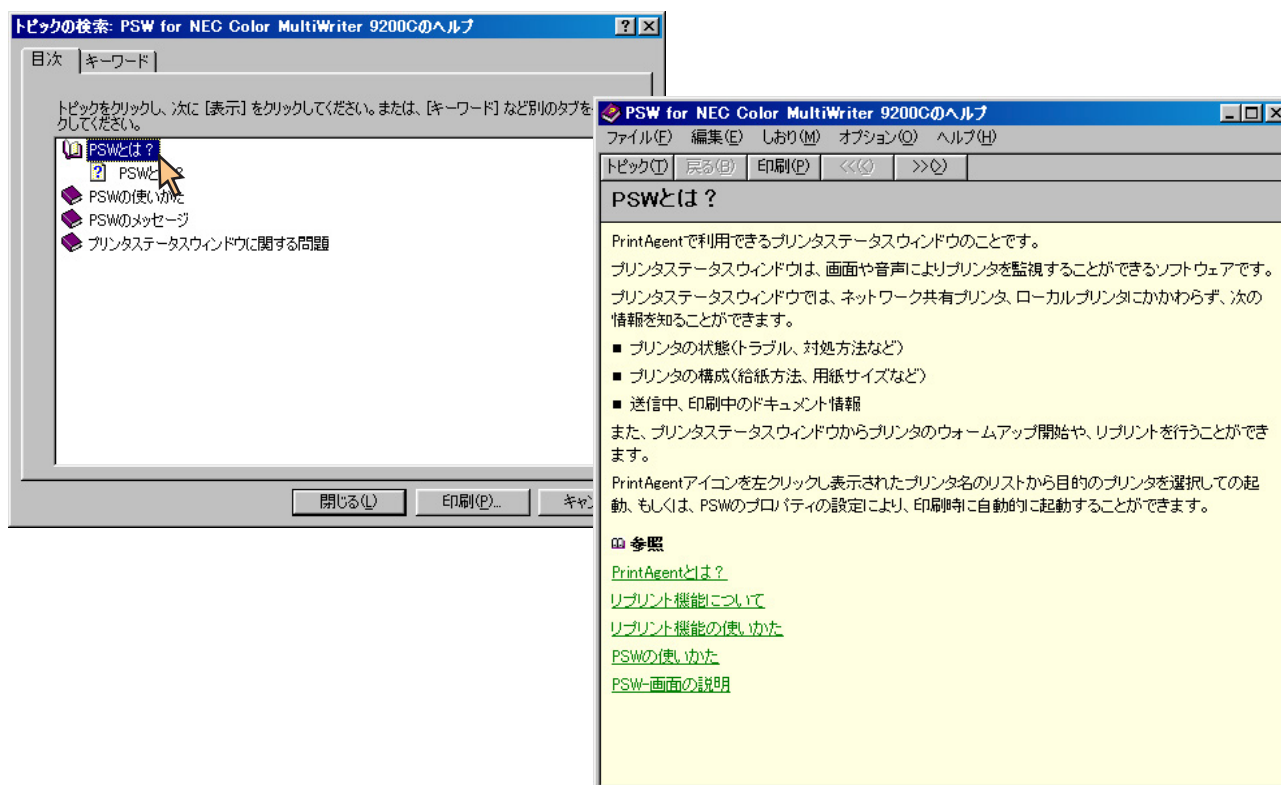
Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限のユーザーのみが設定できます。

最新のステータスに更新する

ツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択するとプリンターのステータスを取得することができます。

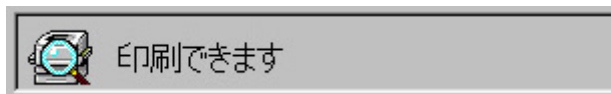
通常は印刷中以外のプリンターのステータス情報を監視していませんので、最新のプリンターステータス情報を表示するには、ステータスの更新を行ってください。

ヘルプを見る

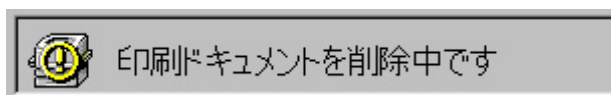
ヘルプを見るためには[？]ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックするか、[ヘルプ]メニューの[目次]をダブルクリックし、[トピックの検索]を表示させます。

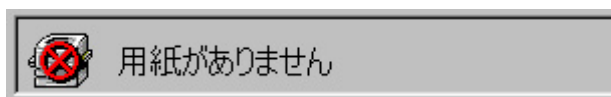
［？］ボタンから表示するヘルプ

［トピックの検索］ダイアログボックス

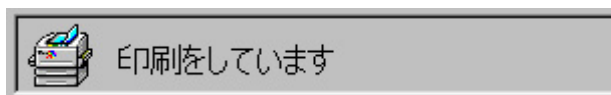
ステータス情報エリア

5種類のアイコンでプリンターの状態を表示し、文字と音声によるメッセージが付随します。

通常状態

通常に印刷できる状態、または処理中の表示です。

通知状態

「印刷ドキュメントの削除」など現在の状態を表示します。

エラー状態

「用紙切れ」など印刷を再開するために必要な情報を表示します。

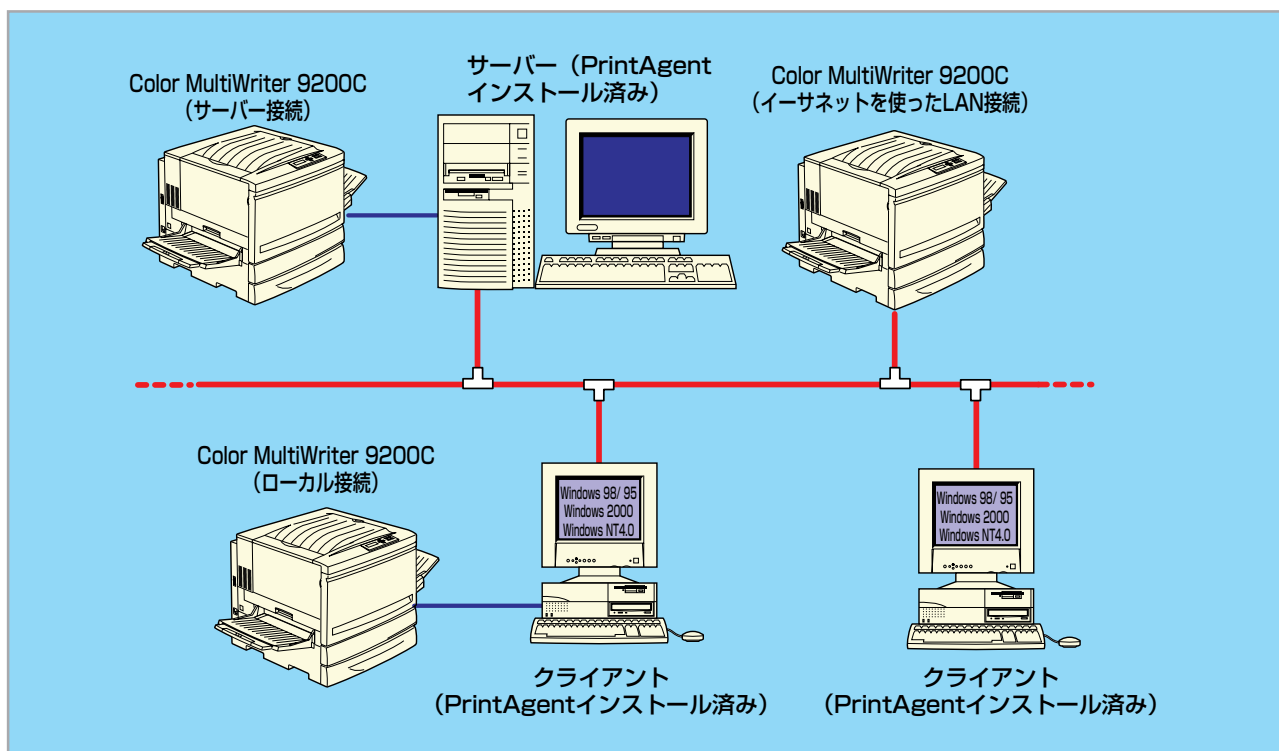
印刷中

プリンターが印刷中に表示されます。

ウォーミングアップ中

プリンターがウォーミングアップ中に表示されます。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)の通知一覧

プリンタステータスウィンドウは、プリンターがローカル接続されているかサーバー接続されているかによって利用できる機能や通知できる内容に違いがあります。

サーバー接続プリンターの場合、ネットワークプロトコルはTCP/IPのときに、プリンタステータスウィンドウがご利用になれます。

プリンタステータスウィンドウの利用できる機能

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
タイトルバー		
プリンタ名の表示	○	○
［ドキュメント］メニュー		
印刷中止	○	○*1
印刷詳細	○	○
送信詳細	○	○
リプリント機能	○	○
［オプション］メニュー		
プリンタの構成情報	○	○
通知形式	○	○
ウォームアップ開始	○	○
電源をONにする	×	○*3
最新のステータスに更新	○	○
［ヘルプ］メニュー		
目次	○	○
バージョン情報	○	○
ツールバー		
［印刷中止］ボタン	○	○*1
［印刷詳細］ボタン	○	○
［送信詳細］ボタン	○	○
［リプリント］ボタン	○	○
［構成情報］ボタン	○	○
［通知形式］ボタン	○	○
［ウォームアップ開始］ボタン	○	○
［リモート電源ON］ボタン	×	○*3
［最新のステータスに更新］ボタン	○	○
［ヘルプ］ボタン	○	○
「ステータス情報」エリア*2	○	○
「ビジュアル情報」エリア		
バルーンメッセージ	○	○
ステータスヘルプボタン	○	○
トナー残量インジケーター	○	○
両面インジケーター	○	○
音声メッセージ	○	○*2
「ドキュメント情報」エリア		
［印刷中ドキュメント情報］	○	○
［送信中ドキュメント情報］	○	○
ステータスバー		
［機種］	○	○
［接続先］	○	○

*1 実行可能ですが実行後、印刷データが残ったままになることがあります。
*2 表示・通知がプリンターの動作、状態により若干遅れることがあります。
*3 外付けLANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）との接続時のみご使用になれます。

ステータス情報エリアの表示(1/2)

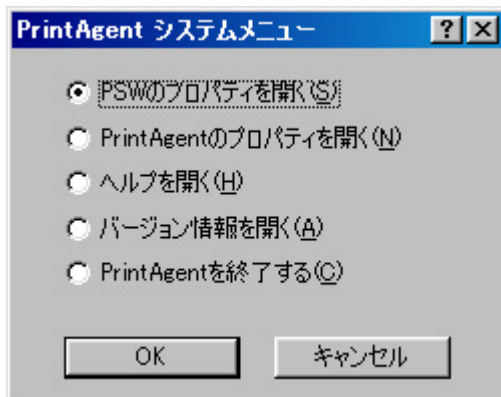
ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル・サーバー接続	LAN接続
通常	印刷できます	ーーーーーーーー	○	○
	印刷ドキュメントを準備中です	ーーーーーーーー	○	○
	印刷をしています	印刷を開始します 印刷が再開されました	○	○
	プリンタは節電状態になっています	ーーーーーーーー	○	○
通知	印刷ドキュメントを削除中です	印刷を取りやめました	○	○
	プリンタはウォーミングアップ中です	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタのもう一方のポートで印刷しています	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品の交換時期です	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタの情報を取得中です	ーーーーーーーー	○	○
	定期保守の時期です	ーーーーーーーー	○	○
	テスト印刷を実行中です	ーーーーーーーー	○*1	×
	給紙口異常です	ーーーーーーーー	○	○
	16進ダンプ印刷を実行中です	ーーーーーーーー	○*2	×
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	トナーの濃度を調整しています	ーーーーーーーー	○	○
	ネットワークプリンタの情報は取得できません	ーーーーーーーー	○*3	×
	ネットワークプリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○*3	×
	ネットワーク関連の内部エラーです	ーーーーーーーー	○*3	○
エラー	ネットワークプリンタの状態が不明です*4	ーーーーーーーー	○*3	×
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	電源がOFFかケーブルが接続されていません	プリンタの応答がありません	○	○
	印刷可スイッチが押されていません	印刷可スイッチが押されていません	○	○
	接続されているプリンタはサポートされていません	このプリンタはサポートしていません	○	○
	ドキュメントの印刷を一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	プリンタは一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	用紙がありません	用紙がありません	○	○
	指定サイズと異なる用紙がセットされています	正しい用紙がセットされていません	○	○
	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	○	○
	紙づまりです	紙づまりです	○	○
	ドラムカートリッジが異常です	プリンタで障害が発生しました	○	○
	OHPシートが正しくセットされていません	正しい用紙がセットされていません	○	○
	定期保守の時期です	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品の交換時期です	プリンタで障害が発生しました	○	○
	消耗品の交換時期です	ーーーーーーーー	○	○
	給紙口異常が発生しました	プリンタで障害が発生しました	○	○
	給紙口異常です	ーーーーーーーー	○	○
	消耗品が装着されていません	ーーーーーーーー	○	○

ステータス情報エリアの表示（2/2）

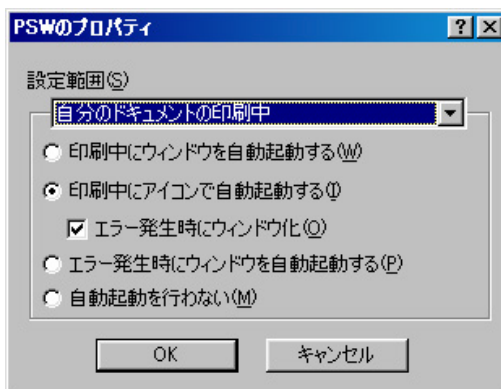
ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル/サーバー接続	LAN接続
エラー	プリンタのカバーが開いています	プリンタのカバーが開いています	○	○
	プリンタのメモリが不足しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	ネットワークプリンタはオフライン作業中です*5	オフライン作業中です	○*3	×
	状態が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタで障害が発生しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	用紙カセットが入っていません	用紙がありません	○	○

*1　「印刷可スイッチが押されていません」と通知されることがあります。
*2　「印刷できます」と通知されることがあります。
*3　ローカル接続のときは通知されません。
*4　Windows 2000/NT 4.0のときのみ通知されます。
*5　Windows 98/95のときのみ通知されます。

システムメニュー

システムメニューはPSWとPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。システムメニューでは以下のようなPrintAgentの設定項目を選ぶことができます。

- PSWのプロパティを開く
- PrintAgentのプロパティを開く
- ヘルプを開く
  PirntAgentのヘルプを起動します。
- バージョン情報を開く
  PrintAgentのバージョン情報ダイアログを開きます。
- PrintAgentを終了する
  PrintAgentを終了します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスはプリンタステータスウィンドウをいつ自動起動(表示)させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。

[設定範囲]

- **自分のドキュメントを印刷中**
  画面枠内の設定は、自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。
- **自分のドキュメントを印刷していないとき**
  自分が印刷していない場合(ネットワーク上でプリンターを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む)のPSWの自動起動に関して設定できます。

特定のクライアントで、プリンターを管理する場合等は、[自分のドキュメントを印刷していないとき]を選択し、自動起動を行うようにすれば便利です。

[印刷中にウィンドウを自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

[印刷中にアイコンで自動起動する]

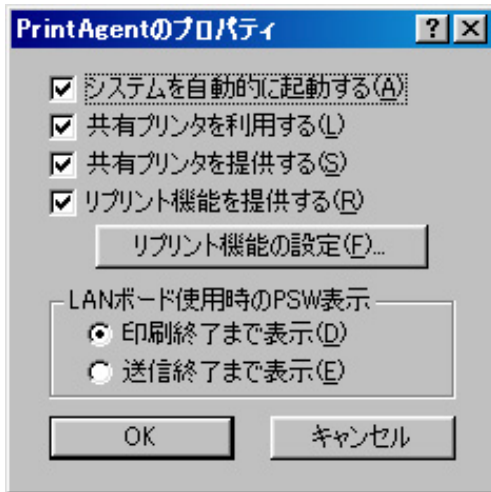
印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをタスクバー上に表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、[エラー発生時にウィンドウ化]をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示され、エラー状態が解除されるとアイコン表示に戻ります。

[エラー発生時にウィンドウを自動起動する]

なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

[自動起動を行わない]

印刷時やエラー発生時も含めて自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスでは、おもにネットワークでPrintAgentを使ってColor MultiWriterを効率よく運用していただくために必要な項目が設定できます。

[システムを自動的に起動する]

Windowsの起動時にPrintAgentシステムが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時(Windows 98/95)またはログオン時(Windows 2000、Windows NT 4.0)から有効となります。

[共有プリンタを利用する]

他のコンピューター(プリントサーバー)がネットワーク共有プリンターとして提供しているColor MultiWriter 9200Cに対してPrintAgentの機能を利用できるようになります。

この設定は、共有プリンターに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていても印刷自体は可能です。

設定が有効になるためには、プリントサーバー側のPrintAgentのプロパティで「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。

[共有プリンタを提供する]

お使いのコンピューターに接続されているColor MultiWriter 9200Cを共有プリンターとして他のコンピューターに対して提供する場合に、他のコンピューターからPrintAgentの機能を利用できるようにします。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていてもクライアントから共有プリンターに印刷することはできます。また、共有プリンターを提供するコンピューターがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピューターからPrintAgent機能は利用可能です。

共有プリンターの利用/提供について

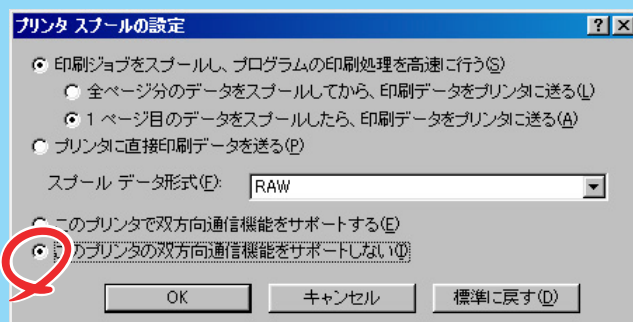
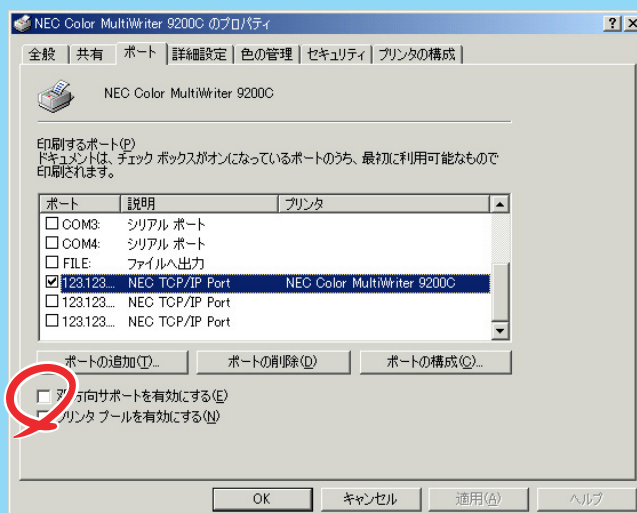
本項目は、Windows 2000、Windows NT 4.0をお使いの場合、提供はAdministrators権限のある方のみが設定を変更することができ、利用についてはAdministrators権限を持たなくても設定を変更することができます。[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。
- 課金されるネットワークを使っている
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合にも、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ◇ ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合。

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンタについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- コンピューターの処理能力が十分でない
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

以下の設定を行うとPrintAgent機能は使用できません。

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューターがWindows 98/95の場合は[プリンタのプロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択する。

サーバーコンピューターがWindows 2000、Windows NT 4.0の場合は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。以下はWindows 2000 日本語版の場合です。

[リプリント機能を提供する]

チェックすると、一度印刷されたデータがコンピューター上に保管(スプール)が可能になります。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPrintAgent リプリント2 やPSWのダイアログボックスからリプリント(再印刷)できるようになります。ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーにスプールされます。

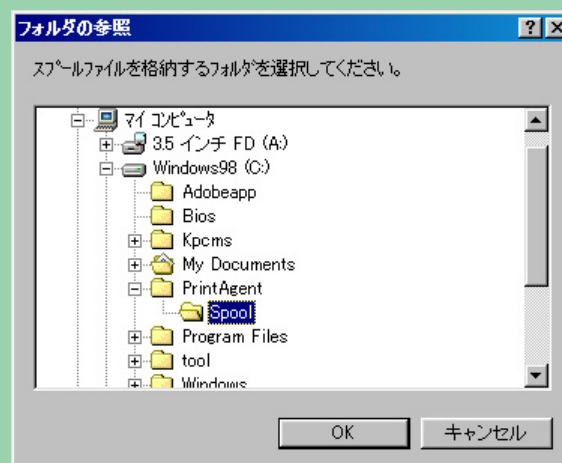
[リプリント機能の設定]

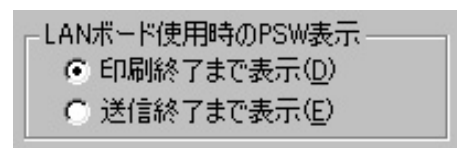
リプリント機能の設定(F)...

このボタンをクリックすることにより、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。

[リプリント機能の設定]ダイアログボックスはリプリントで用いるスプールファイルについて設定をするダイアログボックスです。

スプール先について

空き容量が不足した場合には、[変更]をクリックし、以下の[フォルダの参照]ダイアログボックスにより、スプールするフォルダーを変更できます。ただし、ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

［LANボード使用時のPSW表示］

LANボード使用時のPSW表示
印刷終了まで表示(D)
送信終了まで表示(E)

LANボードやLANアダプターを使用している時に、プリンターで印刷中のドキュメント情報をPSWで表示させるか設定します。LANボードを使用してネットワーク接続されたプリンターで「印刷ログ出力機能」を利用したい場合は［印刷終了まで表示］に設定する必要があります。

ネットワーク共有プリンターの場合、リプリントとLANボードの設定はサーバーで行ってください。また、Windows 2000、Windows NT 4.0環境ではAdministratorsの権限が必要です。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定・管理することができます。

- プリンターの使用状況の確認
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
- ネットワーク関連の設定（NEC製のLANボード・LANアダプターを使用している場合）
- プリンタステータスウィンドウの起動

プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定・管理します。ここではウィンドウの概略を説明します。プリンタ管理ユーティリティを使って実現する機能の手順についてはプリンターのユーザーズマニュアル、またはプリンターに添付されているCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書をご覧ください。

ヒント

「プリンター覧」のウィンドウでは「ツリービュー」の部分が表示されず機能も一部制限されます。（管理者の機能は表示されません）

メニュー

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態を選択しているツリービューによって表示内容は異なります。

ツリービュー
ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

- 利用可能なプリンタ：
  お使いのコンピューターにインストールされているすべてのプリンターです。
- ネットワーク共有プリンタ：
  ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
- NECプリントサーバ：
  イーサネットコネクターを標準装備したNEC製のプリンター、またはNEC製のLANボード・LANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

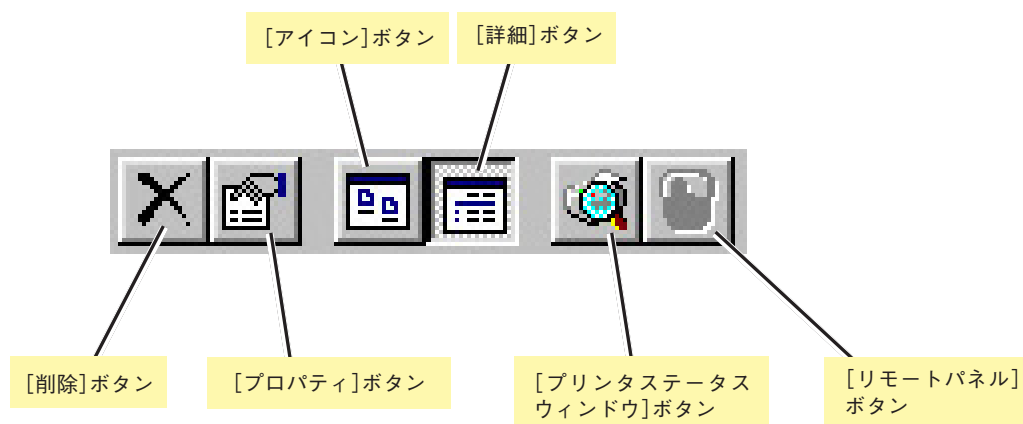
リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況などをリストで表示します。

ステータスバー

ヒント

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

ツールバー

プリンタ管理ユーティリティはツールバーとメニューを使ってネットワーク内のプリンターを設定・管理します。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

[削除]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーを削除します。

[プロパティ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタードライバーのプロパティシートが開きます。

[アイコン]ボタン

リストビューのプリンター一覧をアイコンで表示します。

[詳細]ボタン

リストビューのプリンター一覧を詳細なリストで表示します。

[プリンタステータスウィンドウ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプリンタステータスウィンドウを表示させます。

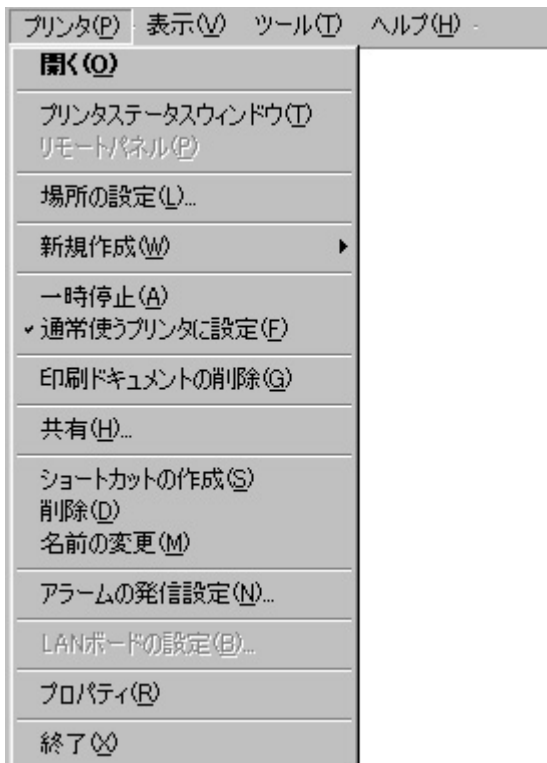
[リモートパネル]ボタン

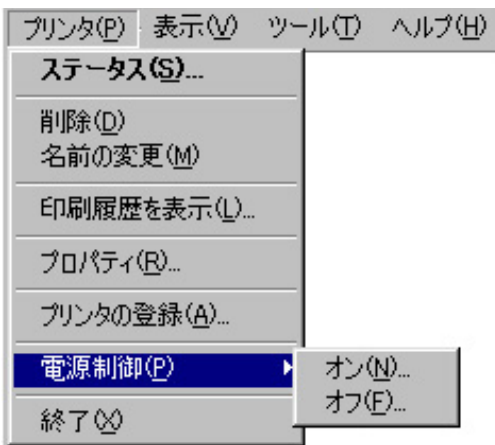
Color MultiWriter 9200Cでは無効です。

メニュー

メニューの表示項目、順番はそれぞれのOSの環境、プリンターの接続方法によって変わります。以下はWindows 98の表示例です。

［プリンタ］メニュー

選択されているプリンターに対して有効なコマンドが表示されます。

利用可能なプリンタを選択した場合

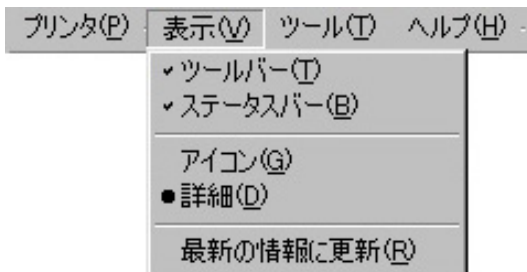
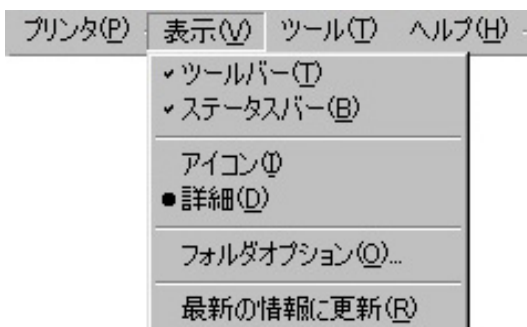
- **開く**
  プリンタードライバーを開きます。
- **プリンタステータスウィンドウ**
  プリンタステータスウィンドウを開きます。
- **場所の設定（Windows 98/95のみ）**
  プリンターの設置場所を設定します。設定された場所はプリンターの状況確認や印刷終了通知を受け取ったときに参照できます。
- **新規作成**
  プリンターを追加し、利用できるようにします。通常のプリンターが作成できます。
- **一時停止**
  印刷を一時停止します。
- **通常使うプリンタに設定**
  通常使うプリンターに設定します。
- **印刷ドキュメントの削除**
  印刷中のジョブを削除します。
- **共有**
  プリンターの共有プロパティを表示します。
- **ショートカットの作成**
  プリンターのショートカットを作成します。
- **削除**
  プリンタードライバーを削除します。
- **名前の変更**
  プリンターの名前を変更します。
- **アラームの発信設定**
  メール通知の設定を行います。
- **LANボードの設定**
  プリンターに接続されているLANボード/アダプターのプロパティを表示します。LANプリンターを選択した場合に表示されます。
- **プロパティ**
  プリンターのプロパティシートを表示します。
- **終了**
  プリンタ管理ユーティリティを終了します。

NECプリントサーバを選択した場合

ネットワーク関連の設定

ツリービューで[NEC プリントサーバ]を選択し、さらにリストビューでプリンターを選択した場合に表示されます。

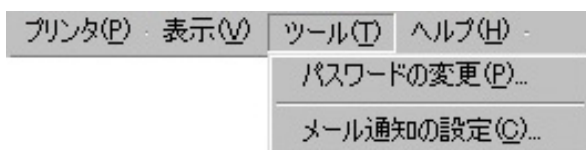
- **ステータス**
  プリンターのステータスダイアログを表示します。
- **削除**
  プリンタードライバーを削除します。
- **名前の変更**
  プリンターの名前を変更します。
- **印刷履歴を表示**
  プリンターの印刷履歴を表示します。
- **プロパティ**
  プリンターのプロパティシートを表示します。
- **プリンタの登録**
  新しいプリンターを登録します。
- **電源制御**
  プリンターの電源をリモートオン/オフします。
- **終了**
  プリンタ管理ユーティリティを終了します。

[表示]メニュー

ウィンドウのデザインを変更するコマンドが表示されます。

利用可能なプリンターを選択した場合

NECプリントサーバを選択した場合

- **ツールバー**
  ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
- **ステータスバー**
  ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
- **アイコン**
  プリンターをアイコンで表示します。
- **詳細**
  プリンターを詳細なリストで表示します。
- **フォルダオプション**
  [NECプリントサーバのオプション]ダイアログボックスを表示し、ステータスの更新周期や表示項目を設定します。
- **最新の情報に更新**
  各項目を最新の情報に更新します。

［ツール］メニュー

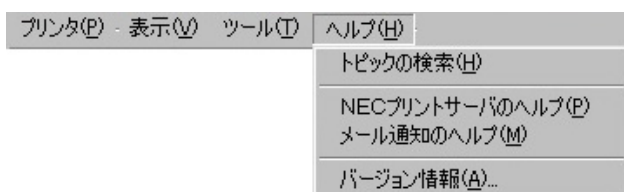
プリンタ管理ユーティリティの設定を行うコマンドが表示されます。

- **パスワードの変更**

  管理者用パスワードを変更します。

- **メール通知の設定**

  ［メール通知の設定］ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。

［ヘルプ］メニュー

ヘルプコマンドが表示されます。

- **トピックの検索**

  「プリンタ管理ユーティリティ」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **NECプリントサーバのヘルプ**

  「NECプリントサーバ」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **メール通知のヘルプ**

  「メール通知」のヘルプが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

- **バージョン情報**

  プリンタ管理ユーティリティ、プリンタ一覧のバージョンを表示します。

制御コード

この章では制御コードについて説明します。
制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
機能を拡張した制御コードについては別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」を参照してください。「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードについては「機能拡張制御コード」で細かく説明しています。

制御コード一覧

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。

E：201PLエミュレーションモード

P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

制御コードの詳細については、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5.	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1〜8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9〜25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS 04 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS Ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 160.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 240.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XX0	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C 0	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC 0	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC $	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC ：	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機　能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC ＊	ビットイメージ選択
ESC ＊	ビットイメージリピート
ESC ?	ビットイメージ変換
ESC @	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS 07 S1 FS 07 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS` $p_1, p_2, p_3, p_4, p_5, p_6, p_7, d_1 d_2 d_3 d_4 \cdot\cdot\cdot$	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 両面印刷設定	FS 05f FS f $c_1 c_2 c_3 c_4 c_5$ FS '	○ ○ ○	× ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1 -004	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS 06 F2-$n_1 n_2 n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位設定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	AV	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸短形描画	角丸の矩形の描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
または
LPRINT  CHR$(28); "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1の範囲は0〜100が有効です。
- p_1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、$p1$=100で白）
- p_1省略時およびp_1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

チェック

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0〜100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
または
LPRINT CHR$(28);"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT    CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT    CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001〜9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001〜9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

チェック

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
```

または

```
LPRINT  CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイト文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 ･･･ d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R A M	登録 クリア 印刷文字選択

- c_2c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式/キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1は文字の高さを表します。p_1はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_2	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	—
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc₃=Pのときは　$p_2+p_3+p_4 \leqq 24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 60$　(600dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1～24	1～40	1～60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_1～p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。 使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1～d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1 \times p_4 \div 8$とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません(パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される)。

- 本装置では、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

形　式　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 ···

- p_1はバーコードの種類を設定します。

<201PLエミュレーションモード>

p_1		バーコードの種類
0	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
0	2	NW-7
0	3	JAN
0	4	CODE 39
0	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
0	6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンターモード>

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）

- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4＝30のみ有効

- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>

  0≦p_5≦999（160dpi）

  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

  <ページプリンターモード>

  指定範囲：

  10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。

  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効なp_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。

  <201PLエミュレーション>

  省略してください。（160dpi）

  <ページプリンターモード>

  指定：p_7＝400（400dpi）、p_7＝600（600dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクター、またはスタート／ストップキャラクター（p_1＝1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

チェック

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  - ◇　縦横拡大指定（FS m）
  - ◇　網かけ、反転（FS n）
  - ◇　アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  - ◇　縦方向オフセット（FS t）
  - ◇　固定ドットスペース（FS w）

記述例

p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h60);"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1＝1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
  - ◇ バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - ◇ スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。
    記述例　スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
    LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

- p_1＝2のとき（NW-7）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ー $. ／ : +
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝3のとき（JAN）
  - ◇ p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - ◇ p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ JAN標準でデータキャラクターの1バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - ◇ レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

- p_1＝4のとき（CODE-39）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ー $. ／ + % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1＝6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - ◇ p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - ◇ p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - ◇ データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - ◇ 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - ◇ データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形 式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
```

または

```
LPRINT  CHR$(28);"u1,2.";
```

ページ制御コード

縮小印字の設定　FS Ø5f

形　式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

● c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

● c_4で縮小基準位置を設定します。
設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

● すべての文字に対して有効です。
● 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
● 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
● プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
● 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);
        CHR$(&h66); "080L"
```

または

```
LPRINT  CHR$(28); "05f"; "080L"
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式

FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- c_2～c_5は用紙方向、ホッパー、用紙サイズ、縮小／拡大モードを設定します。本プリンターではMP指定、手差し指定、封筒指定、往復はがき指定、拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。
- トレーモード時は「MØ」指定にてトレー給紙となります。

記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

追加パラメーター

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
M	Ø			手差し指定
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

両面印刷設定　FS '

両面印刷を設定します。

形　式

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2 以降のパラメーターは無効になります。
- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leq p_2 \leq 20$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C); CHR$(&h27);  "B,F,1,10.";
または
LPRINT  CHR$(28); " ' "; "B,F,1,10.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi

- d_1〜d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定する。

形　式

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160	i	1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	400		1/400インチ
1	600		1/600インチ
1	720		1/720インチ
1	1200		1/1200インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。
  ① POWER ON時
  ② 操作パネルでリセットが実行されたとき
  ③ ソフトウエアリセットを受けたとき
  ④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS Ø6F1-ØØ4

形　式　FS Ø 6 F 1 − Ø Ø 4

- 1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。

- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。また、OCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。

- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

  ① アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
  このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。また、ボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

  ② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します（詳細はユーザーズマニュアル参照）。

  なお、OCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。

- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。

- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　　FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコード等のバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来のサポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

カスタマーバーコードのキャラクター指定

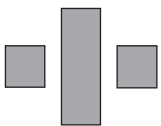
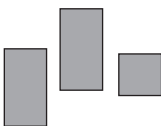
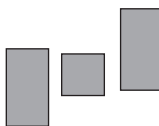
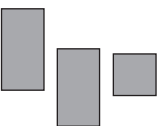
カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

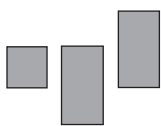
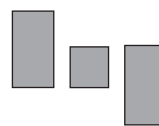
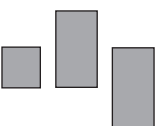
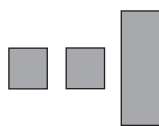
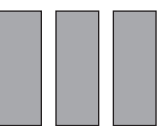
数字（‘0’～‘9’）　：2330h～2339h（数字の‘0’～‘9’）
ハイフン　：215Dh（マイナス記号‘－’）
英字用制御コード（CC1～CC3）：2361h～2363h（小文字アルファベットの‘a’～‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）：2364h～2368h（小文字アルファベットの‘d’～‘h’）
スタートコード（STC）　：2163h（不等号‘<’）
ストップコード（SPC）　：2164h（不等号‘>’）

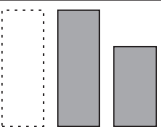
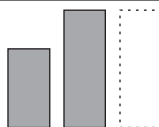
上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定
郵政省のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

● 数字（‘0’～‘9’）

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　4	1　1　4	1　3　2	3　1　2	1　2　3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　1	3　2　1	2　1　3	2　3　1	4　1　1

● ハイフン

キャラクター	－
文字コード	－ (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4　1　4

● 英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3　2　4	3　4　2	2　3　4

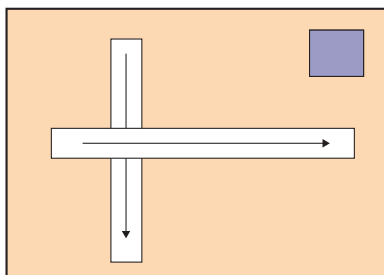
● 予備用制御コード

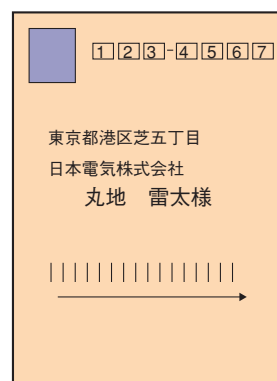
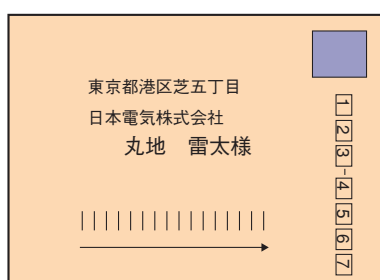
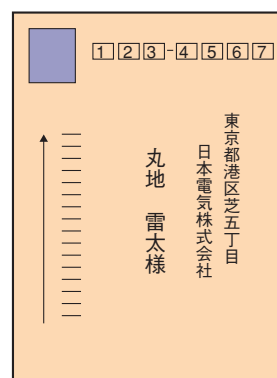
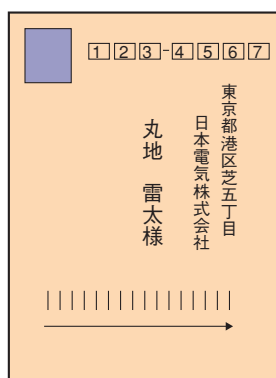
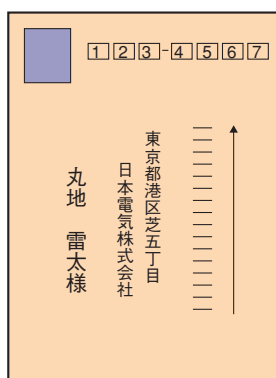
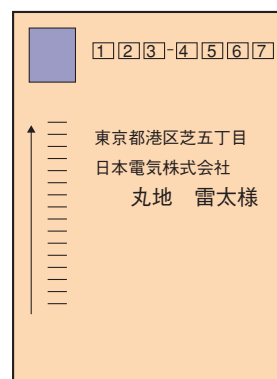
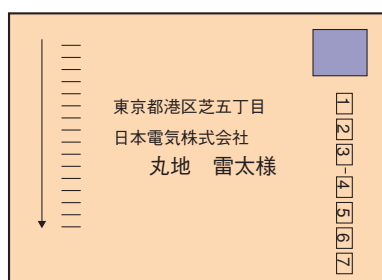
キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4　3　2	2　4　3	4　2　3	4　4　1	1　1　1

● スタート/ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	< (2163h)	> (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1　3	3　1

備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

郵政省の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(上)、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(下)およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして(10ポイントの場合、a/10=1)、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

aポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

9ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

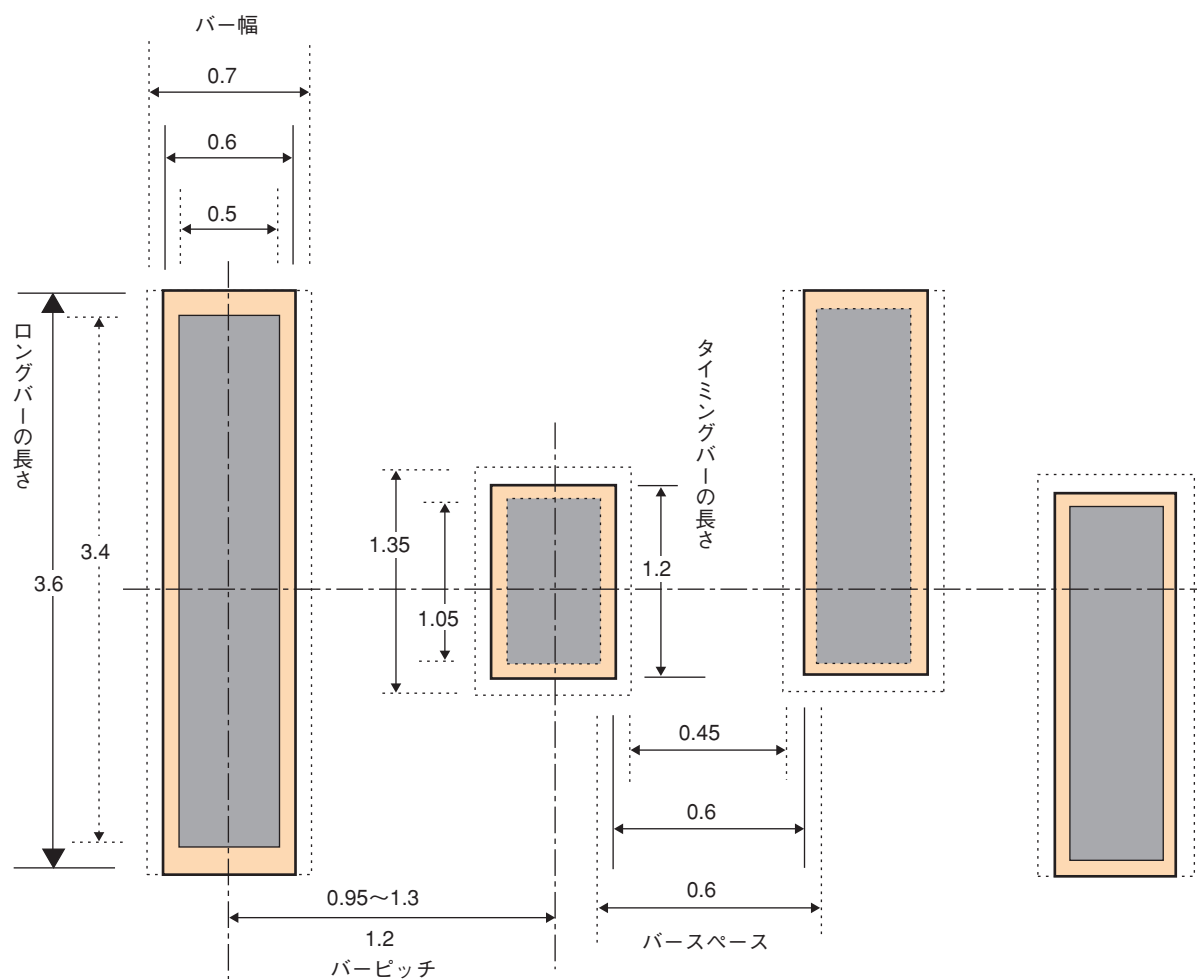
10ポイント	比率	基準寸法(mm)	許容範囲(mm)
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定(ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース)が許容範囲に収まらなければなりません。

（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法(10p相当)

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し(数値はゴシック体で表記)、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

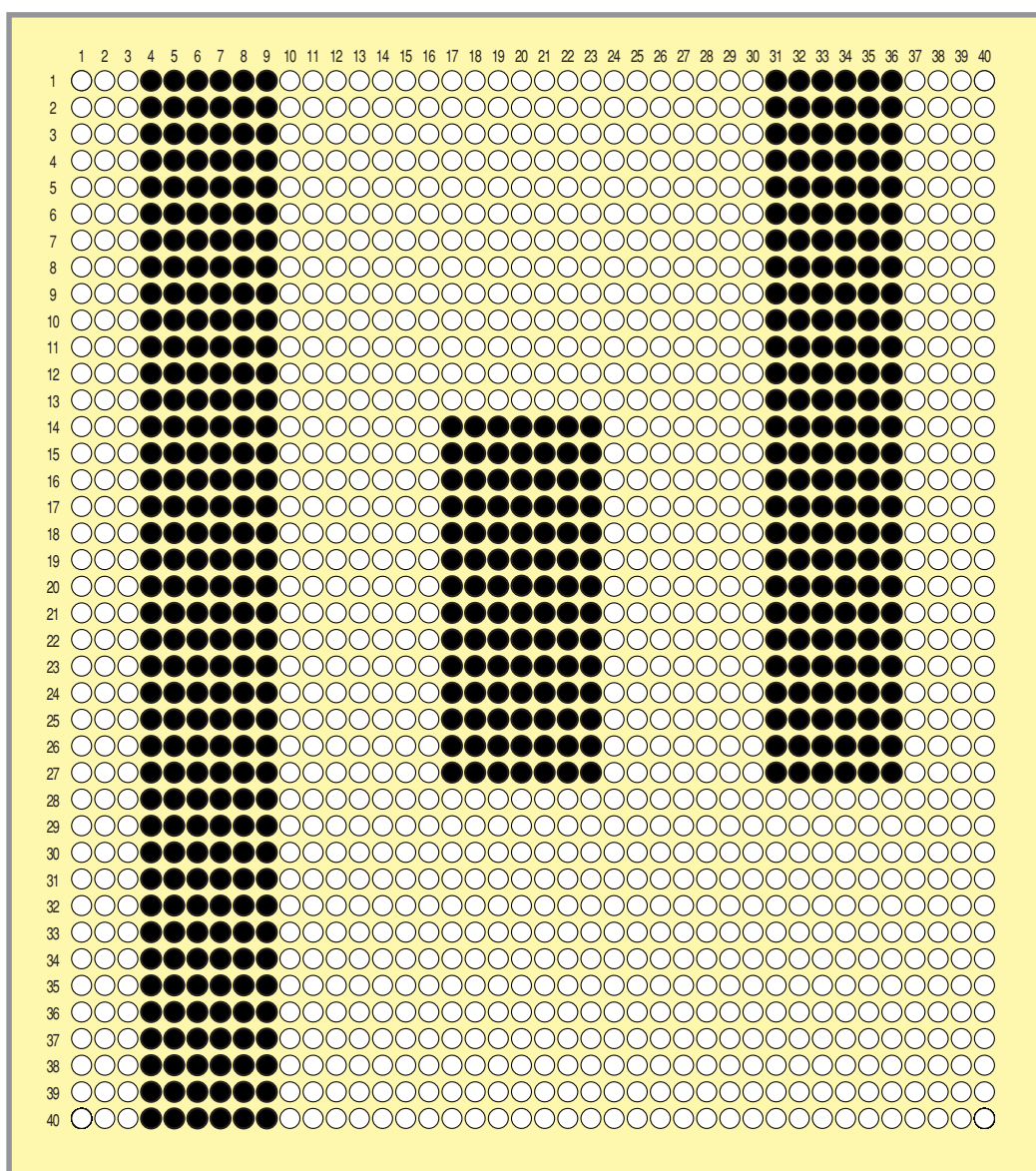
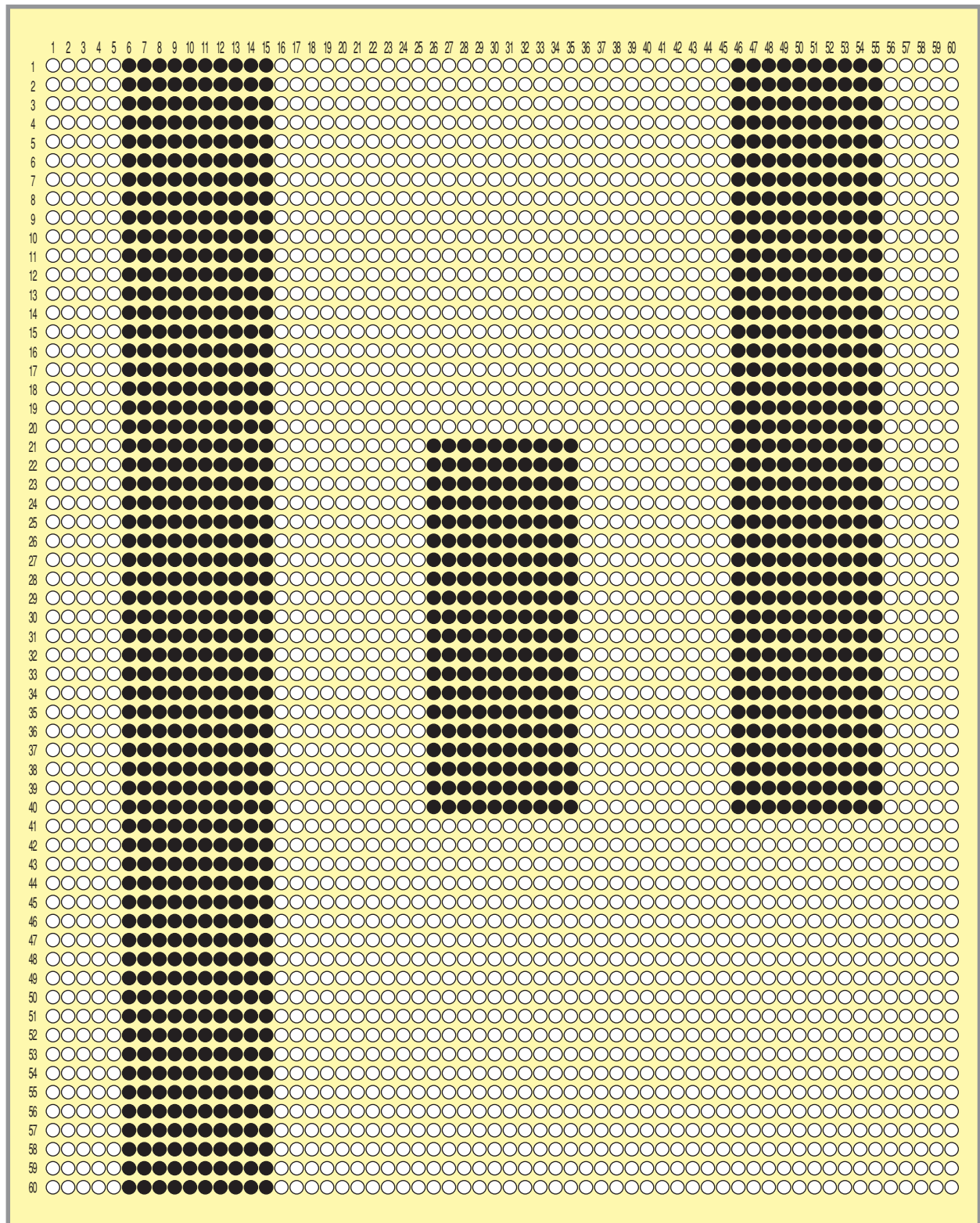
レーザープリンター等ドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記します。

マトリックスサイズ	横7分割 W, B, W, B, W, B, W	縦3分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について次に参考例を挙げます。

〈参考例1〉　40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット：	スターコード＋	新郵便番号＋	住所表示番号＋	チェックデジット＋	ストップコード
バーコード桁数：	（1）	（7）	（13）	（1）	（1）

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。
各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定 FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 − c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
        CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
または
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 , θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0゜とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば -1゜は359゜とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。

400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

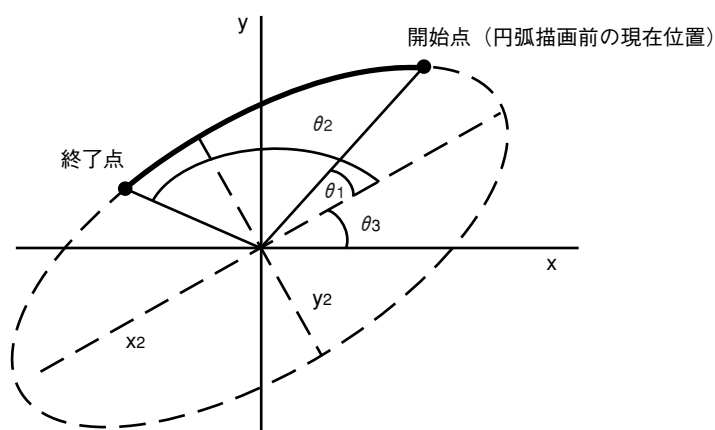
記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30゜回転させて描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30;";
または
LPRINT  "EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , $θ_1$, $θ_2$, $θ_3$;

E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , $θ_1$, $θ_2$, $θ_3$;

- (x_1, y_1)は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- $θ_1$と$θ_2$はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0～359（度単位）が有効です。
  $θ_2$が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。$θ_1$は省略できません。
- $θ_3$は楕円弧の回転角度を示します。$θ_3$で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  $θ_3$が省略された場合、回転なしと解釈されます。

- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点(100,100)、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15゜、終了角度120゜の楕円弧を反時計方向に30゜回転させて描画するとき

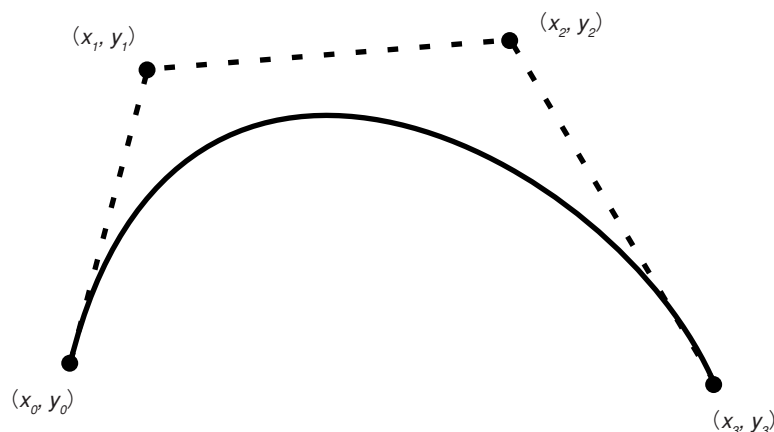
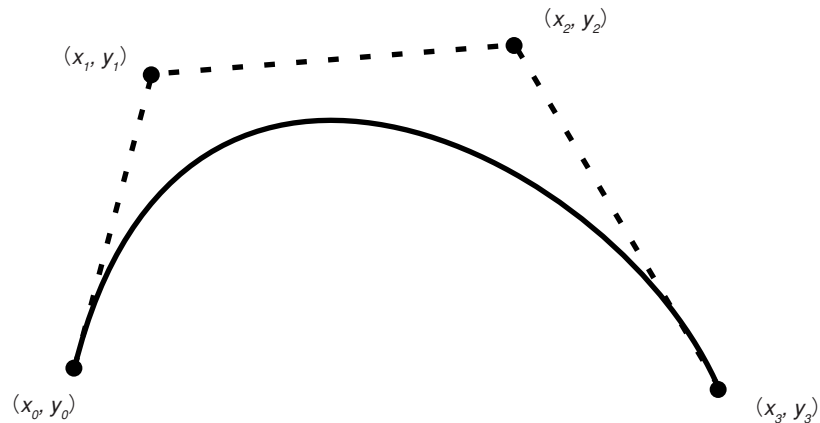
```
LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画(絶対座標モード)　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形　式　B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 . . . , x_n , y_n ;

- 現在の座標を(x_0, y_0)として(x_0, y_0)、(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```
または
```
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード）　BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT  "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定　SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n1, n2, n3	プリンター単位
1,160,0	1/160インチ
1,200,0	1/200インチ
1,240,0	1/240インチ
1,400,0	1/400インチ
1,600,0	1/600インチ
1,1200,0	1/1200インチ
1,720,0	1/720インチ
1,100,0	1/100mm

- プリンター単位の初期設定は1/240インチです。初期化動作(電源ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他)およびイニシャライズ(IN)制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画(FL, EL)や閉領域塗りつぶし描画(PI)で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形　式

- n_1, n_2は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1, n_2の設定範囲は0(黒ベタ)から100(白)までです。(初期値は0です)
- n_1, n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
  @ 初期化動作(電源ON、リセット動作など)
  A イニシャライズコマンド(IN)実行
  B 初期化を伴うコマンド(RC、SU、DF)の実行
  C 塗りつぶしパターン選択(PP)の実行
  まで有効です。

- 塗りつぶしパターン選択コマンド(PP)が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし(PI)の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45゜です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

(例)　パラメーターで70を指定するとき
　70 × 63/100 ＝ 44.1
　選択されるパターンはパターン番号44となります。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64諧調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0(黒)に設定するとき

```
LPRINT  CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0;";
または
LPRINT "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

楕円弧の描画　AV

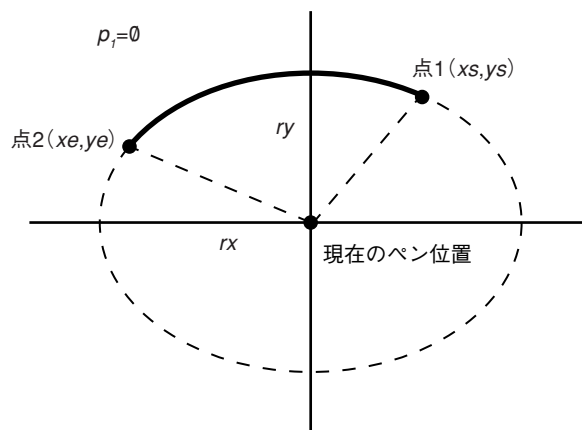
矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs*.............. 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*.............. 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画する。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h41); CHR$(&h56); rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
```

または

```
LPRINT  " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

弓形の描画　CV

矩形領域に内接する惰円弧を基に弓形を描画する。

形　式

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの惰円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする惰円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、惰円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の惰円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h43); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

または

```
LPRINT  "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

扇形描画

扇形の描画　FV

矩形領域に内接する惰円弧を基に扇形を描画する。

形　式

F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;

パラメータ

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの惰円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする惰円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、惰円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の惰円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h46); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

または

```
LPRINT  "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

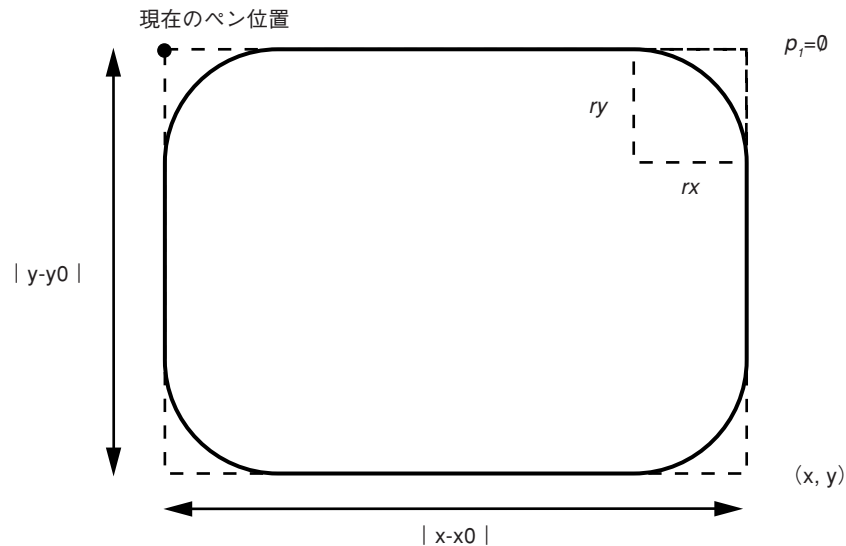
角丸矩形描画

角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

パラメータ

① x .... 矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* .... 矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* .... 角丸のx半径
④ *ry* .... 角丸のy半径
⑤ p_1 .... 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭十塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h52); CHR$(&h42); " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT   " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

技術情報

使用できるコンピューターとプリンターケーブル

次ページの表をご覧になり、使用するコンピューターが、Color MultiWriter 9200Cを正常に動作できる機種かどうかを確認してください。また、Color MultiWriter 9200Cにはプリンターケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルは、次ページの表で確認してください。

コンピューター		プリンターケーブル
PC98-NXシリーズ（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-CA-U02*3
	IBM、富士通、東芝、Compaq、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ*5	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL・RL*5	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ*5 SV-98シリーズ	PC-CA202*4 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*4 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*4 PC-CA204*2

*1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*3　USBプリンタケーブルに関する情報については情報サービス窓口より提供していますので、ご利用ください(ユーザーズマニュアル参照)。
*4　ケーブルの長さは1.5m。
*5　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

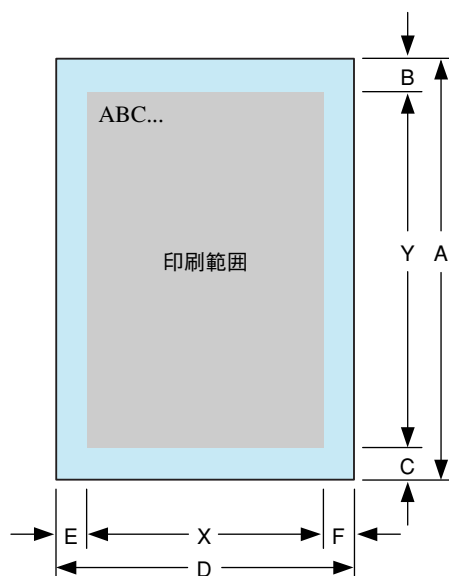
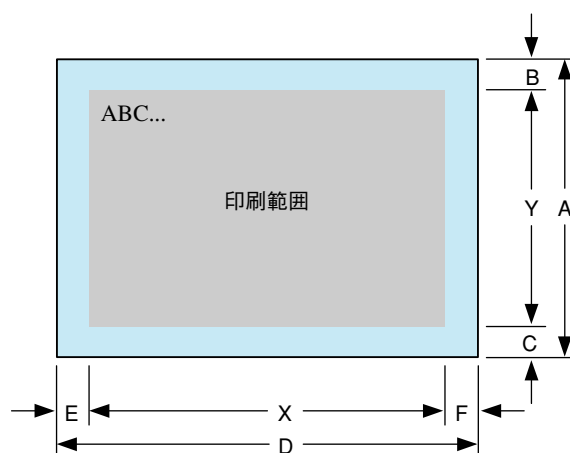
チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentは、プリンタステータスウィンドウの表示に加えて、音声でメッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのは、PCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかは、コンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。
- パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器などを使用すると、プリンターの機能の一部、または全部が正常に動作しない場合があります。

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

- ポートレート

- ランドスケープ

標準印刷範囲

以下の印刷範囲は標準、NPDLコマンドでの印刷範囲です。Windowsドライバーからの印刷を行う場合は、Windowsドライバーの印刷範囲に従い、余白5mmで印刷を行います。

● ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	453	5.00	5.00*5	4224	105	328	5.00*5	5.00	3024	126	84
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	78	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	78	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	78	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	78	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
	A4(80)	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	279.4	5.00	5.00	2544	63	215.9	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1303	32	148	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24
リーガル*5	リーガル	355.6	5.00	5.00*5	3264	99	215.9	500*5	500	1944	83	55
レジャー*5	レジャー	431.8	5.00	5.00*5	3984	99	279.4	5.00*5	5.00	2544	106	70

*1 解像度240dpiの場合。
*2 改行ピッチが6LPIの場合。
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4 10.8ポイントのフォント使用時。
*5 特A3、リーガル、レジャーはNPDLのサイズ指定コマンドでは指定できません。特A3、リーガル、レジャーをホッパー、またはトレーにセットし、メニューモードによる用紙サイズ指定を有効にした状態で印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

● ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	328	5.00	5.00	3024	75	453	5.00	5.00	4224	176	117
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
	A4(80)	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	215.9	4.80	8.00	1920	48	279.4	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1796	21	200	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59
リーガル*5	リーガル	215.9	5.00	5.00	1944	48	355.6	5.00	5.00	3264	136	90
レジャー*5	レジャー	279.4	5.00	5.00	2544	63	431.8	5.00	5.00	3984	166	110

*1　解像度が240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。
*5　特A3、リーガル、レジャーの用紙をホッパー、またはトレーにセットした状態で用紙サイズを指定しないで印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

PC-PTOS環境（Ver.1.0以上）

Windowsドライバーから印刷する場合は、Windowsドライバーの印刷範囲に従い、余白5mmで印刷を行います。

● ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	453	5.0	5.0	4224	105	328	5.0	5..0	3024	126	84
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	15.58	7.63	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	16.01	8.37	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	8.07	3320	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	7.63	3320	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	31.86	3320	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	7.54	8.37	3320	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	12.18	3320	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	17.91	2680	67	297	5.00	14.61	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	5.00	7.52	1920	80	53
	B4	364	8.60	15.04	2680	67	257	10.54	8.65	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.00	5.16	1920	80	53
	A4	297	5.00	8.37	2680	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	11.97	2680	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
	A4(80)	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
B5	B4	364	11.35	8.90	2320	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	7.10	2320	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	6.47	2320	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	6.68	3272	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	3.10	840	35	23
レター	レター	279.4	5.00	5.76	2544	63	215.9	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1303	32	148	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24
リーガル*5	リーガル	355.6	5.0	5.0*5	3264	81	215.9	5.0*5	5.0	1944	83	55
レジャー*5	レジャー	431.8	5.0	5.0*5	3984	99	279.4	5.0*5	5.0	2544	106	70

*1 解像度240dpiの場合。
*2 改行ピッチが6LPIの場合。
*3 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4 10.8ポイントのフォント使用時。
*5 特A3、リーガル、レジャーの用紙をホッパー、またはトレーにセットした状態で用紙サイズを指定しないで印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

● ランドスケープ

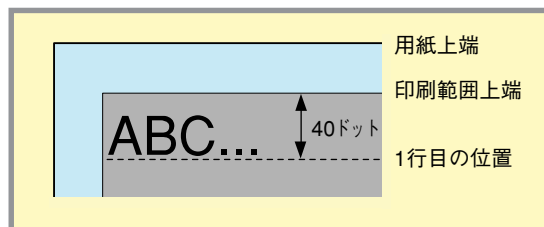
データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
特A3*5	A3ノビ	328	5.00	5.00	3024	75	453	5.00	5.00	4224	176	117
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	7.27	11.39	2712	67	297	16.85	7.52	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	6.17	3336	139	92
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	5.94	3336	139	92
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	30.80	3336	139	92
	A4(4/5)	210	5.57	11.39	2280	57	297	7.01	7.52	3336	139	92
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	8.58	3336	139	92
A4	A3	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	A3(80)	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	B4	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	B4(80)	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	A4	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	A4(80)	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	B5	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
	B5(80)	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
A4×2	A4	210	9.49	11.39	2680	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
	A4(80)	210	7.27	11.39	2712	-	297	12.62	7.52	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	9.27	1600	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.95	1600	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.85	1600	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.43	8.85	2320	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	45.63	3336	139	92
	A4	210	12.35	11.39	2640	66	297	30.82	30.80	3336	139	92
ハガキ	ハガキ	100	5.64	5.46	840	21	148	5.00	3.30	1320	55	36
レター	レター	215.9	4.80	8.00	1920	48	279.4	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1796	21	200	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59
リーガル*5	リーガル	215.9	5.00	5.00	1944	48	355.6	5.00	5.00	3264	136	90
レジャー*5	レジャー	279.4	5.00	5.00	2544	63	431.8	5.00	5.00	3984	166	110

*1　解像度が240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。
*5　特A3、リーガル、レジャーの用紙をホッパー、またはトレーにセットした状態で用紙サイズを指定しないで印刷した場合の印刷範囲を参考値として記載しています。

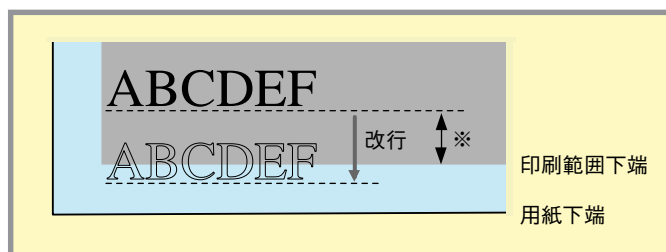
補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は

  400dpi：　240dpiのドット数を5/3倍にした値
  600dpi：　240dpiのドット数を5/2倍にした値

  になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。

  ◇ 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39) (240dpi)を指定したのと同じ位置に印刷されます。

  ◇ 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  ◇ 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。

  計算に用いる値は右のとおりです。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

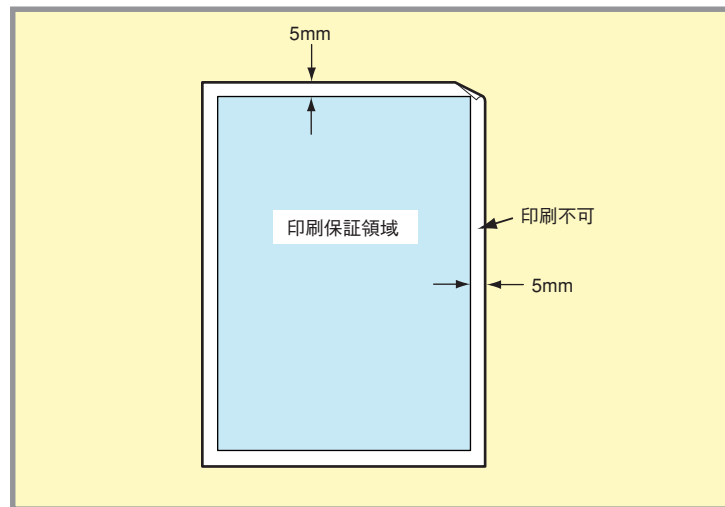
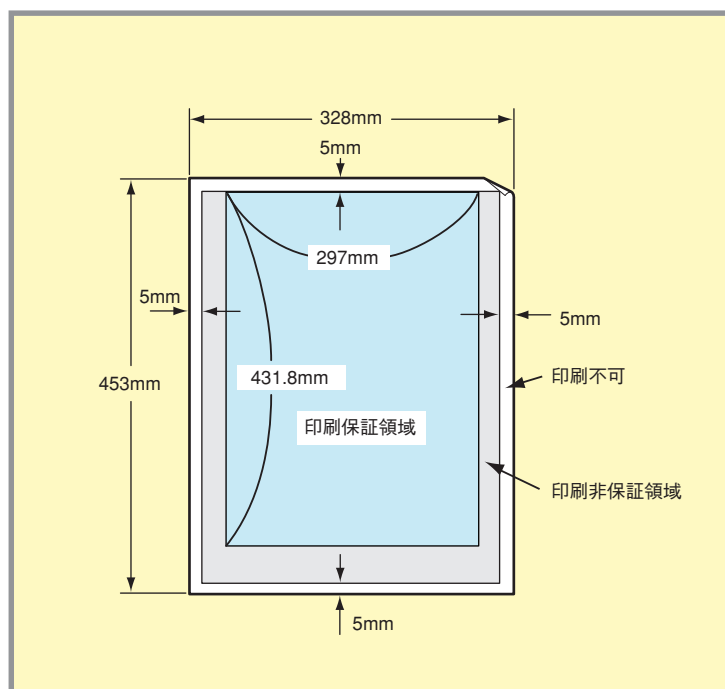
  ◇ 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。

  ◇ 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。

  ◇ 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

- 添付プリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmにできます。

印刷保証領域

A3以下の用紙の場合

特A3用紙の場合

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙(特A3、A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、はがき、往復はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。Color MultiWriter 9200Cは添付のプリンタードライバーが使用するWindows専用言語では、90mm×139.7mm〜328mm×453.0mmまでの用紙に対応しています。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。ただし、NPDLコマンドで対応している定形外用紙は、はがき(100mm×148mm)〜A3(297mm×420mm)までです。

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。
また、対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定型紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- NPDLモードでご使用の場合には、メニューモードの「用紙メニュー」で「トレー定形外用紙」を「ON」にする必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、トレーを使用してください。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。操作パネルの[トレー]スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

印刷範囲が定型外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

定形外用紙はホッパーからは給紙できません。

余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

A3サイズ以上の用紙を使用する場合には、印刷範囲は、上下左右とも5mm以上の余白、または印刷範囲が297mm×431.8mmのどちらか小さい方になります。ご使用の用紙に合わせて印刷範囲を設定してください。

印刷位置について

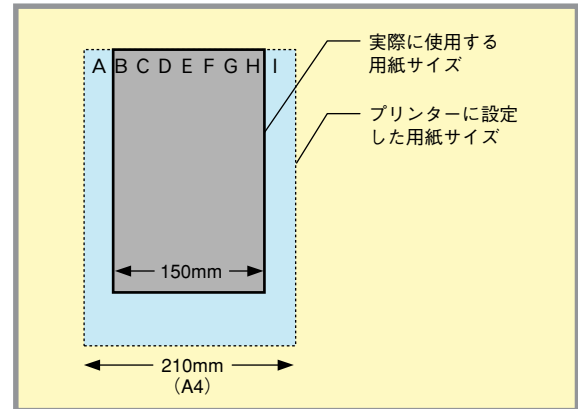
次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は、主にNPDLの行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

● ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

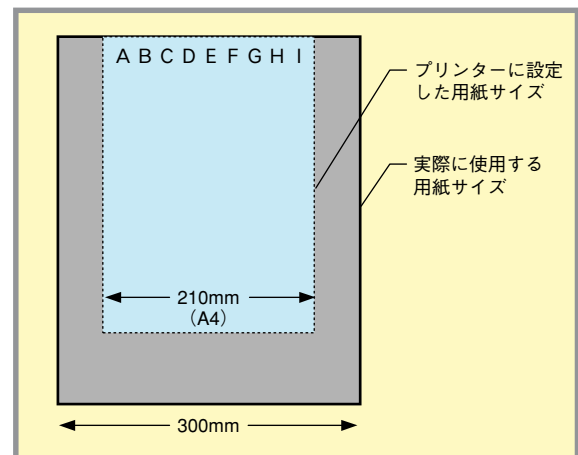
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

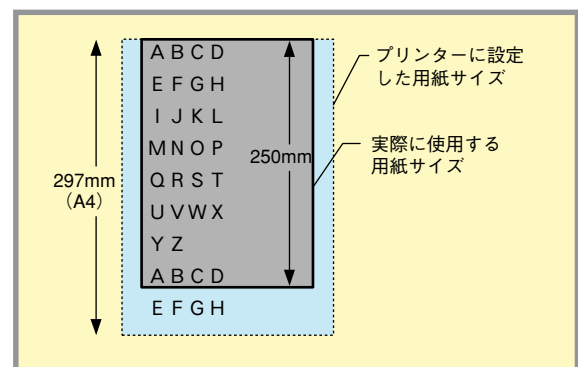
必要なスペース＝ $\frac{A-B}{2}$

A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅

● ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

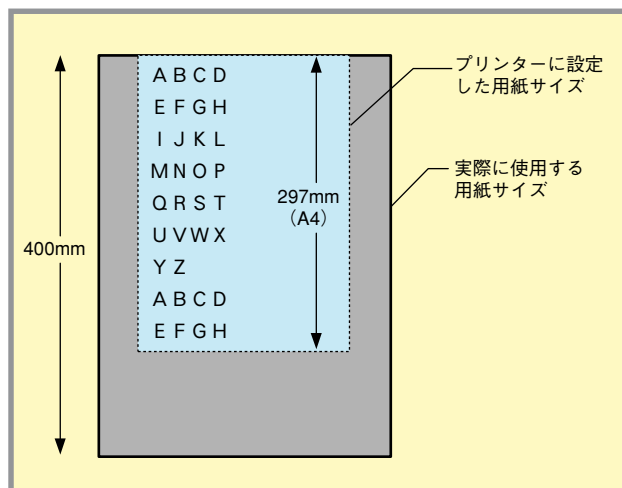
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、さらに大きいものに変更してください。

● ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

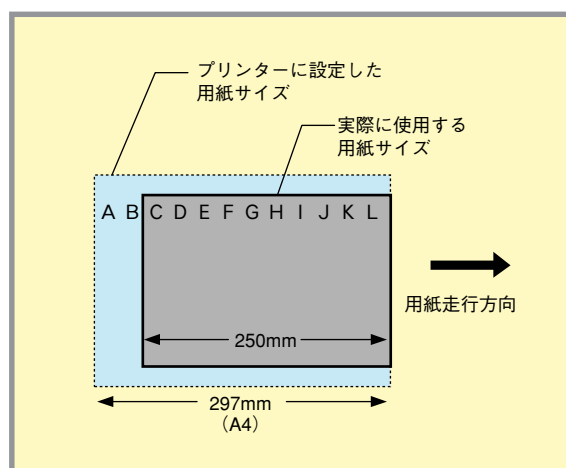
このような場合には、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

● ポートレートの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

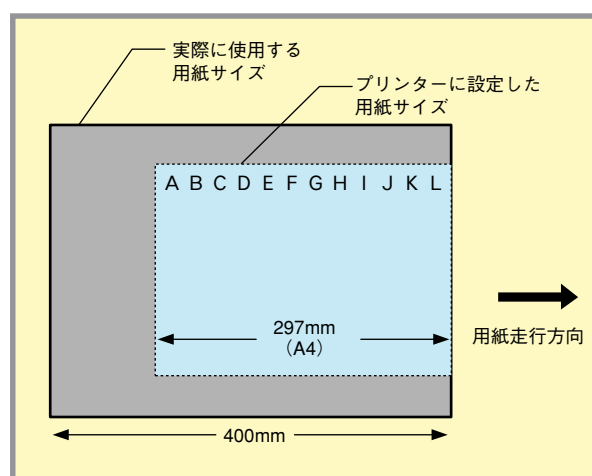
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

● ランドスケープの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端（行の先頭）の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース＝A―B
　A：プリンターに設定されている用紙の幅
　B：実際に使用する用紙の幅

● ランドスケープの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

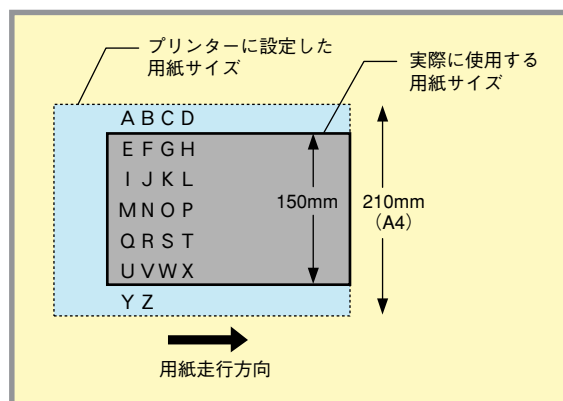
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

● ランドスケープの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

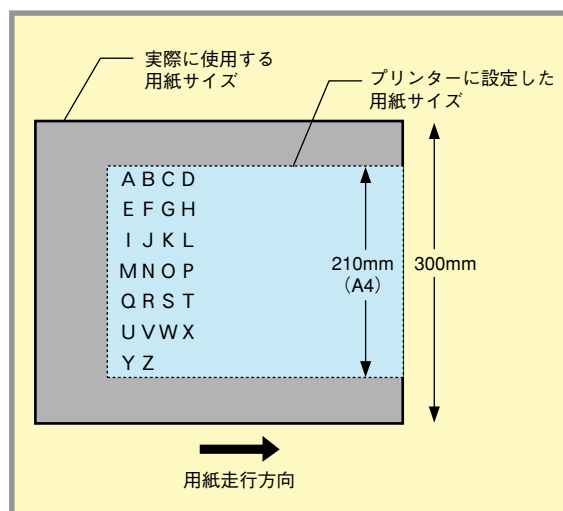
この場合には各ページの先頭に適当な量の余白（改行）をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$必要なスペース= \frac{C-D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

● ランドスケープの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

80桁モードについて
本プリンターの印刷可能桁数は78桁（A4用紙、パイカモード時）です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。
このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます（A4ポートレートの場合のみ可能です）。設定は「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  → 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット(ESC c1)を実行したとき
  → 印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
  → VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット(ESC c8)を実行したとき
  → VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113　A4： 078（80桁モード時 080）　A5：053 B4：095　B5： 067　レター：080　はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター: 63行　はがき: 33行			変化せず	
	ボトム領域	なし			変化せず	
	VTセット（CH2）	A3:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目 A4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目 A5:第7、13、19、25、31、37、43行目 B4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目 B5:第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 はがき:第7、13、19、25、31行目			変化せず	
	VTセット(CH3～CH6)	クリア			変化せず	
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファ		クリア		クリアせず		
ページバッファ		クリア		クリアせず		
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンタ）				
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
アンダーライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず		
	縮小モード	解除		変化せず		
コピー枚数	コード (FSx)	1 枚		メニュー設定に従う		
	操作パネル	1 枚		変化せず		
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		（X，Y）＝（0，0）				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンター単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P_1P_2の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断ち切り型				
	接続タイプ	マイタ接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	（X，Y）＝（0，0）				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号1				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P1	（X，Y）＝（0，0）				
	P2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
パス構築モード		解除				
パスデータ		廃棄				
ホッパー指定		メニュー設定に従う（ホッパー1/ホッパー2/ホッパー3）		変化せず		
ホッパー／トレー給紙		ホッパー給紙		変化せず		
セントロ切り替え		準備（前後Ready）		以前の状態を継続		
両面印刷		メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）		変化せず		

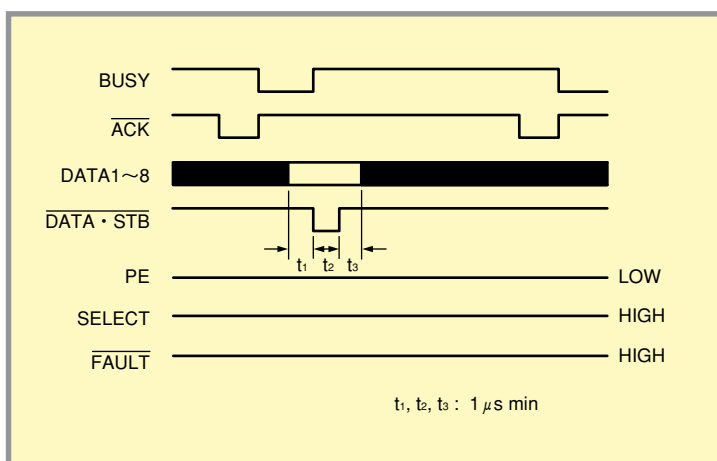
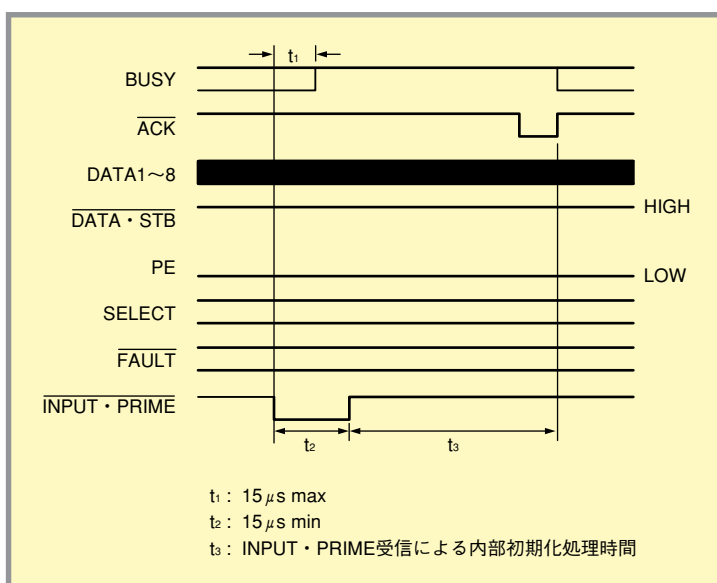
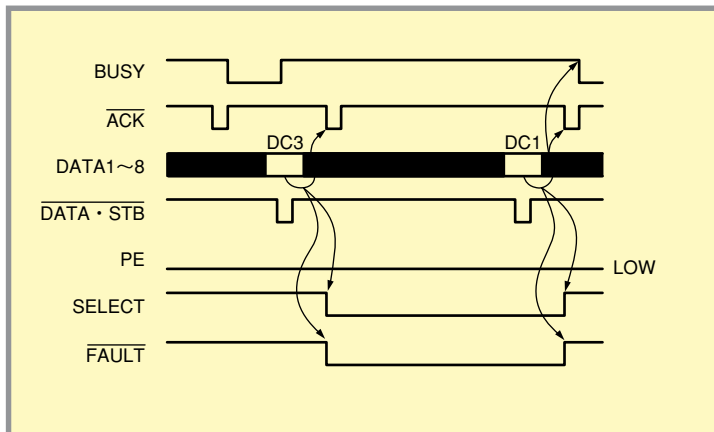
インターフェース

インターフェース信号の機能

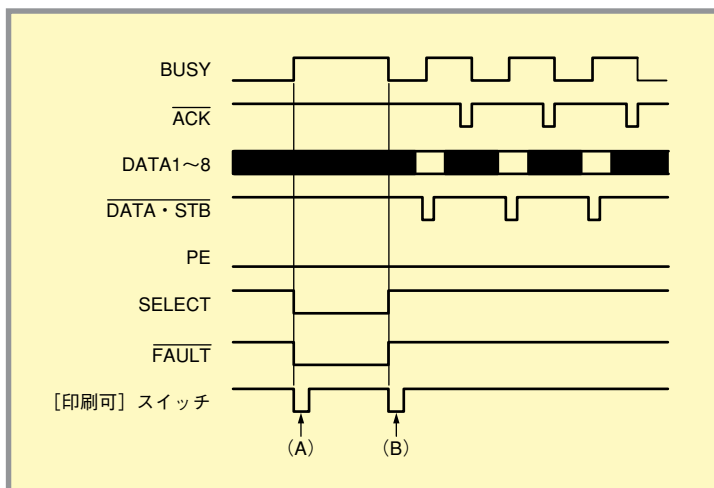
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA・STB	PR←PC	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。 DATA1～8 DATA・STB BUSY 1μs min 1μs min 1μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。 論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA・STBの前後1μsの範囲でDATA 1～8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 ［補足］ 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 ● 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 ● データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 ［セレクトになる条件］ ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 ［ディセレクトになる条件］ ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE＝1のとき。 ● FAULT＝0のとき。
14～15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間OFFとなる。
19～30	GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT・PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。（本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること） ● SELECT＝0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

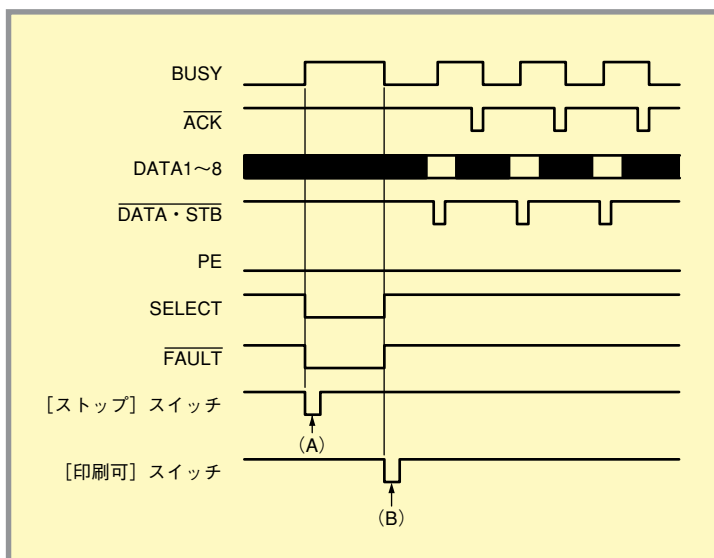
● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT･PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇ DC1、DC3の処理は受信バッファから読み出された後に実行される。

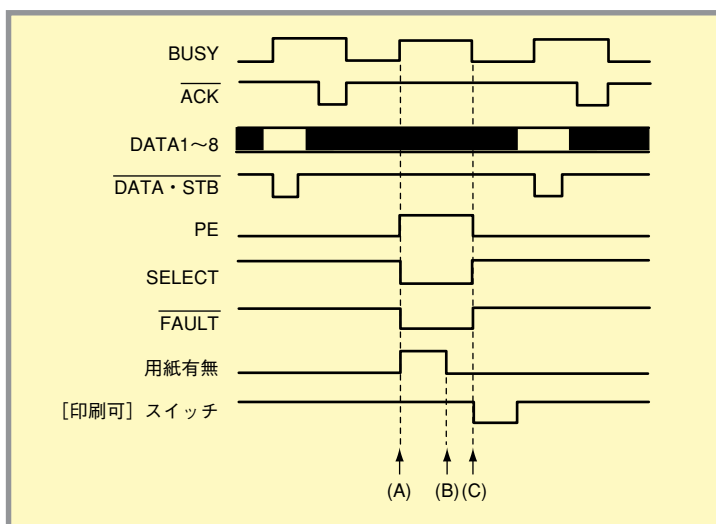
◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、ただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、セレクト状態になる。

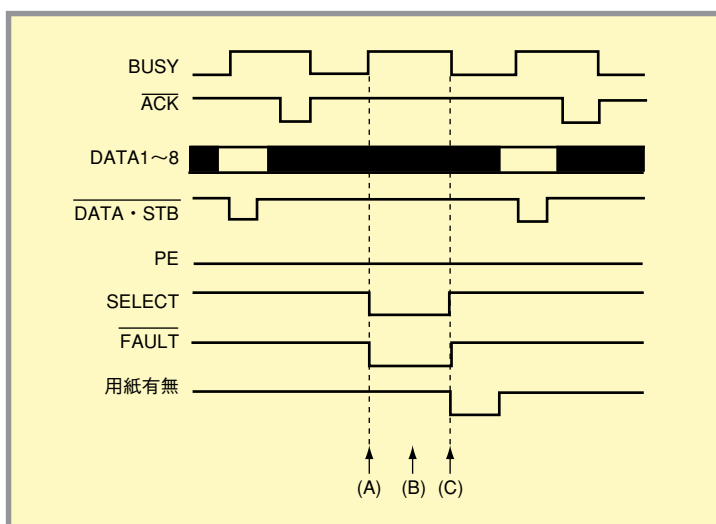
● [ストップ]スイッチによる一時停止

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、ただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すと、セレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

(A)　印刷データ受信後、用紙なしを検出すると、ただちににディセレクト状態になる。

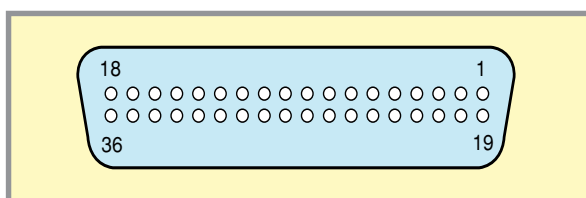
(B)　用紙をセットする。

(C)　用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

(A)　用紙ジャム発生状態

(B)　用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

(C)　［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1～8 （背面の インターフェース）	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS244相当品
DATA 1～8 （前面の インターフェース）	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS244相当品
$\overline{\text{DATA・STB}}$ $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT DCN	LS240相当品 220pF

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか（○）内蔵されていないか（×）を示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号 96種（スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

2バイト系文字

JIS X6226-1978準拠（JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能）

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号 96種（スペースを含む）	○	○
英数字 62種	○	○
ひらがな 83種	○	○
カタカナ 86種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種（スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字 2965種	○	○
JIS第二水準漢字 3384種	○	○

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27～1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

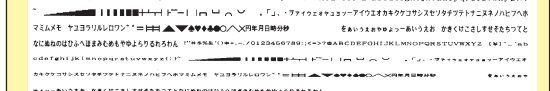
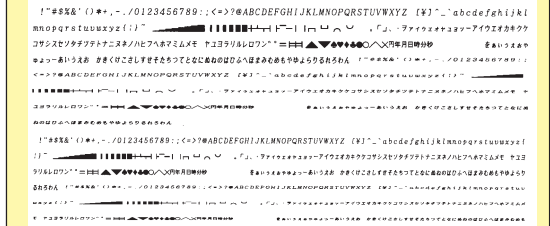
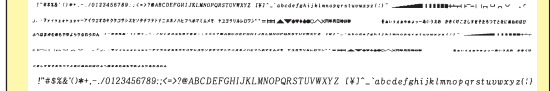
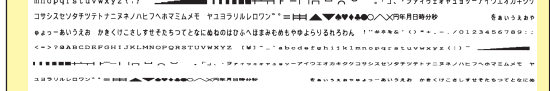
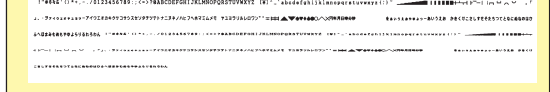
*1 正確には7.2ポイントです。
*2 正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*	3.39×B*
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*	1.69×B*
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

*　プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15～37ドット（400dpi）、23～55ドット（600dpi）
B：0.95～2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

連続印刷

連続印刷（テスト印刷）では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

←1バイト系　標準　パイカ文字

←1バイト系　標準　エリート文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字

←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　パイカ文字

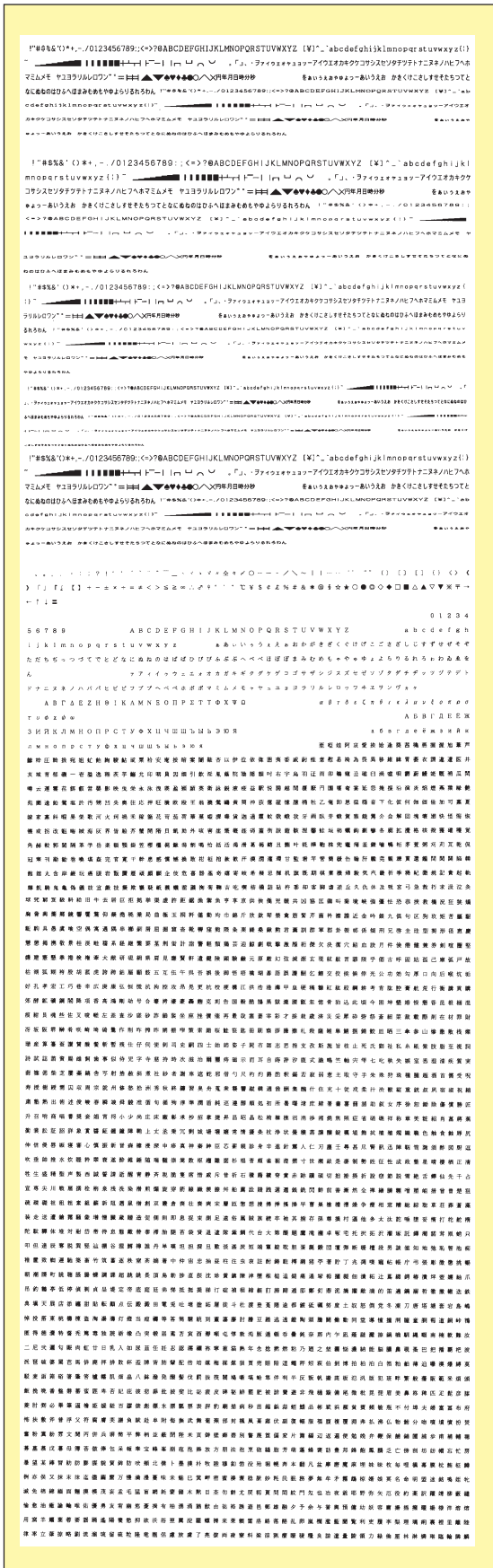
←1バイト系　イタリック　エリート文字

←1バイト系　イタリック　コンデンス文字

←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字

←1バイト系　クーリエ　パイカ文字

←1バイト系　クーリエ　エリート文字

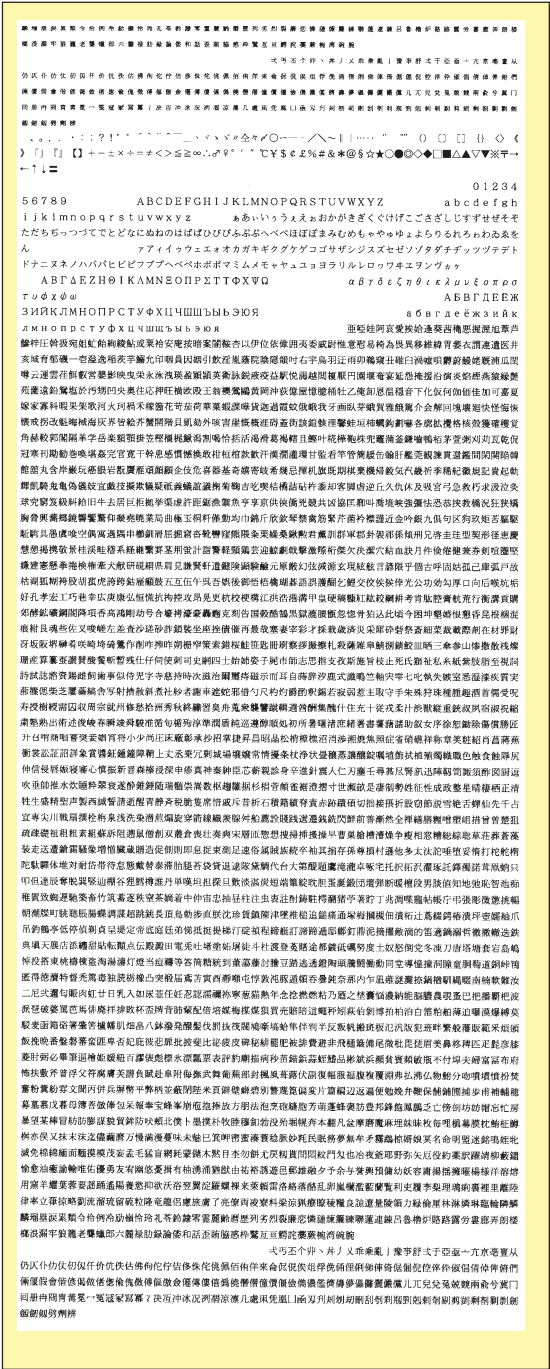
←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字

←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　パイカ文字

←1バイト系　ゴシック　エリート文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字

←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（7ポイント）

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（7ポイント）

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（10.5ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次に工場設定時のステータス印刷の結果例を示します。

＊＊　プリンタ設定環境　＊＊

Ｖｅｒｓｉｏｎ
エンジン　　：０００００　00000000
コントローラ：００．００

オプション
無し

給紙構成
ホッパ１：Ａ４　（Ａ３、Ａ４、Ｂ４、Ｂ５、レター、リーガル、レジャー）
トレー　：Ａ４　（特Ａ３、Ａ３、Ａ４、Ａ５、Ｂ４、Ｂ５、レター、はがき、リーガル、レジャー、封筒、往復はがき）

動作モード
サポート言語：ＮＰＤＬ　ＮＭＰＳ－Ｃ
後部インタフェース：ＮＰＤＬ
ネットワークインタフェース：ＮＰＤＬ

メモリ
メモリ容量　　：６４ＭＢ

メモリスイッチ設定

	12345678		12345678		12345678		12345678
ＭＳＷ　１	:00000000	ＭＳＷ　２	:00000000	ＭＳＷ　３	:00000000	ＭＳＷ　４	:00000000
ＭＳＷ　５	:00000000	ＭＳＷ　６	:00000000	ＭＳＷ　７	:00000000	ＭＳＷ　８	:00000000
ＭＳＷ　９	:00000000	ＭＳＷ１０	:00000000				

1バイト系内蔵フォント
Standard　　:PICA　ELITE　CONDENSE　PROPORTIONAL
Italic　　*:PICA　ELITE　CONDENSE　PROPORTIONAL*
Courier　　:PICA　ELITE　CONDENSE　PROPORONAL
Gothic　　:PICA　ELITE　CONDENSE　PROPORONAL

２バイト系内蔵フォント

書体番号	ファイル名	フォント名
０３１	ＮＭＩ３＿ＣＦ	ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅ明朝体－Ｌ
２５１	ＮＧＯ５＿ＣＦ	ＦｏｎｔＡｖｅｎｕｅゴシック体－Ｍ

コンフィグレーションページ

「テストメニュー」の「ネットワーク1ジッコウ」を選択すると、以下のような内蔵NICのコンフィグレーションページを印刷します。

```
NEC Network Interface Configuration Page

    <Network Information>

        F/W Version                  :    01.01 00017.0005250921
        ID Number                    :    NFE-29004D
        Printer Name                 :    NFE-29004D
        MAC Address                  :    00:00:00:00:00:00
        H/W Description              :    NEC NetworkPrinter7000C0
        10Base/100Base               :    "Auto (10Base)"
        Half/Full Duplex             :    "Auto (Half Duplex)"
        Printing Log                 :    "Off"

    <Self-Diagnosis>

        Link Test                    :    "OK"
        Network Status               :    "OK"

    <TCP/IP>

        IP Address                   :    000.000.000.000
        Subnet Mask                  :    255.255.255.  0
        Gateway Address              :    000.000.000.000
        Auto IP Address              :    "Off"
        Max. Number of Session       :    64
        Session Timeout [sec]        :    120
        Keep Alive                   :    "On"
        FTP Timeout [min]            :    10
        DHCP                         :    "Off"
        e-Mail Service               :    "Off"
        Current Active Session       :    0
```

文字コード表

本プリンターは、NPDLコマンドを利用することにより、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。ただし、Windowsドライバーから印刷する場合は、Windows上のTrue Type Fontを利用して印刷されます。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
00										HT	LF	VT	FF	CR			注 15	注 16
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US		
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/		
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_		
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o		
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12			
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13	
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯		
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	注 14	
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ		
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ		
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜		
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13	
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒										

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
00										HT	LF	VT	FF	CR			注 15	注 16
10										EM		ESC	FS	GS	RS	US		
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/		
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_		
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o		
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12			
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13	
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯		
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ	注 14	
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ		
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま		
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜		
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13	
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒										

注1～12　各国特殊文字が入ります(メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。)
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC $で指定)の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により変更できます。

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- 全角漢字のコード表は、CD-ROMのMANUALディレクトリにある「KANJI.TXT」ファイルをWindowsに添付のメモ帳などで開いてプリンターに印刷してください。（一般のアプリケーションを使用される場合には、フォントをプリンターフォントである「明朝」または「ゴシック」にして印刷してください。）
本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1978年版／JIS 1983年版およびJIS 1990年版の切り替えることもできますが、Windows環境から印刷するとWindowsの設定に従います。ただし、デザイン処理などの都合により、Windows上の字形と一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイ表示の一覧を以下の表に示します。

ディスプレイ表示一覧(1/3)

表示の種類		表 示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ XXX XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		トレー XXX XXX	トレー給紙を選択しています。
		ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ3 XXX XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
	用紙サイズに関する表示	XXX トクA3 XXX	A3ノビサイズの用紙を選択しています（トレー、または特A3ホッパー使用時）。
		XXX A3 XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX B4 XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX A4 XXX	A4サイズの用紙を選択しています。
		XXX B5 XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX A5 XXX	A5サイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX LT XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX リーガル XXX	リーガルサイズの用紙を選択しています。
		XXX レジャー XXX	レジャーサイズの用紙を選択しています。
		XXX ハガキ XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX ハガキX2 XXX	往復はがきサイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX フウトウ XXX	封筒サイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX テイケイガイ XXX	定形外用紙を選択しています（トレー使用時）。
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4 ×2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B4→B5 XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5 ×2 XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。

＊ オプションの増設ホッパーを取り付けている場合のみ表示されます。

ディスプレイ表示一覧(2/3)

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	印刷方向に関する表示	XXX　XXX　 ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX　XXX　 ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。
	用紙の種類に関する表示	フツウシ　　XXX　XXX	普通紙を選択しています。
		サイセイシ　XXX　XXX	再生紙を選択しています。
		アツガミ　　XXX　XXX	厚紙を選択しています（トレー使用時）。
		アツガミウラ　XXX　XXX	厚紙（裏）を選択しています（トレー使用時）。
		ハガキ　XXX　XXX	はがきを選択しています（トレー使用時）。
		ハガキウラ　XXX　XXX	はがき（裏）を選択しています（トレー使用時）。
		ラベル　　　XXX　XXX	ラベルを選択しています（トレー使用時）。
		OHP　　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（トレー使用時）。
		フウトウ　　XXX　XXX	封筒を選択しています（トレー使用時）。
		コートシ　　XXX　XXX	コート紙を選択しています（トレー使用時）。
ステータス表示		コピー　XX　マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップ　チュウデス	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデン1　チュウ	プリンターは節電モード1に入っています。
		セツデン2　チュウ	プリンターは節電モード2に入っています。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセットを実行します。
アラーム表示		ホッパ　XXX　ホキュウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。
		トレー　XX　セット	コンピューターから印刷データを受信しましたが、トレーに用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの用紙をトレーにセットしてください。
		72　カバーオープン XX	カバーが開いています。ディスプレイ下段に開いているカバー名が表示されます。
		73　ショウモウヒンミソウチャク XXX	消耗品が装着されていません。ディスプレイ下段に装着されていない消耗品名が表示されます。
		74　カミヅマリ XXX	紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー　XX	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。XXの箇所にエラーが発生しているホッパー、またはトレーが表示されます。
		76　ショウモウヒンカクニン XXX	消耗品の残量があとわずかです。ディスプレイ下段に残量の少ない消耗品名が表示されます。
		77　テイキコウカン XXX	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。ディスプレイ下段に対象の部品名が表示されます。
		79　キュウシイジョウ XXX　ハ　ツカエマセン	給紙機構部に異常が発生しました。
		82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	データを印刷するためのメモリーが不足しています。
		83　インサツカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
		84　フォーム　オーバーXXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。

ディスプレイ表示一覧(3/3)

表示の種類	表　示	表示の意味
アラーム表示	85　ショウモウヒンジュミョウ XXX	消耗品の交換時期です。ディスプレイ下段に該当の消耗品名が表示されます。
	87　ドラムカートリッジ エラー　コウカンシテクダサイ	ドラムカートリッジが異常です。
	88　OHPセットエラー タダシクセットシテクダサイ	OHPシートが正しくセットされていない、または使用できないOHPシートがセットされています。
	51　　　コール　51	オプションの両面印刷ユニットの接続不良です。
	01　　　コール　01 ～61　　　コール　61 この他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。	

索引

記号

A

B

C

D

E

F

I

L

N

O

P

S

U

V

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

ミ

メ

モ

ヨ

ラ

リ

レ